SONY

パーソナルITテレビ　IDT-LF1E

SONY

4-084-848-**01** (1)

airboard

〈ブロードバンド対応〉
パーソナルITテレビ　IDT-LF1E　取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEMORY STICK ™

LocationFree

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6〜12ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。172ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

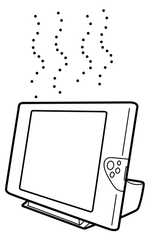
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたり、キャビネットを破損したとき**



→

❶ ベースステーションの電源プラグをコンセントから抜く

❷ モニターの電源を切り、バッテリーを取りはずす
モニターに別売りのACパワーアダプターが差し込まれているときは、ACパワーアダプターも抜く

❸ お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

電波障害自主規制について

この機器は2.4GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器の使用上の注意

この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、エアボード カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

2. 4D S 2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20mです。

無線チャンネルの変更について詳しくは、「手動でワイヤレスチャンネルを変更する」（☞157ページ）をご覧ください。

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会　TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

Li-ion

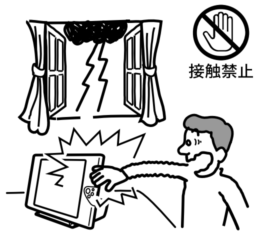
目次

⚠警告 

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

雷が鳴りだしたら、本機や付属品に触れない

感電の原因となります。



本機は国内専用です

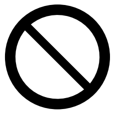
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



指示

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

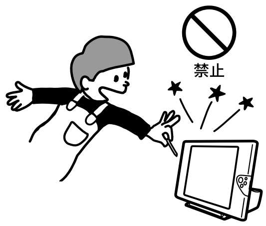
上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにベースステーションの電源プラグをコンセントから抜き、モニターの電源を切って、エアボード カスタマーサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。



内部を開けない

火災や感電、けがの原因となります。
また、本機は、（財）テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明および（財）電気通信端末機器審査協会の技術的条件適合認定を受けた製品であり、容易に開けられない構造になっています。
内部の点検や修理は、エアボード カスタマーサポートセンターにご依頼ください。



分解禁止

イーサネットケーブルや電源プラグのコードの配置に注意する

本機に取り付けるイーサネットケーブルや電源プラグのコードが、ふだん人が歩く場所にはみ出ていると、足をひっかけるなどしてけがの原因になったり、本機の損傷の原因になります。コードの配置には充分注意してください。



指示

電源プラグやACパワーアダプターのコードを振り回さない

人やガラスなどに当たってけがをすることがあります。

禁止

お子さまの手の届かない場所に設置する

はずれたつまみを飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり危険です。

指示

安定した場所に設置する

モニターやベースステーションは、ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

指示

本機を病院内に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

禁止

ペースメーカーなどの近くで使用しない

ペースメーカーなどの医療電気機器を使用中に、エアボードを間近まで近づけないでください。医療電気機器が誤動作する可能性があります。

禁止

モニターのスタンド部分を持って運ばない

スタンドがモニターからはずれてけがの原因となることがあります。

禁止

タッチペンで目などを突かない

けがの原因となります。

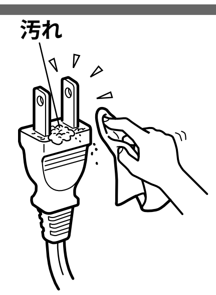
禁止

バッテリーの交換は安定した場所で行う

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

電源プラグや充電端子は定期的にお手入れを



電源プラグとコンセントの間や、充電端子に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

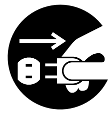
自動車の中では使わない

本機は車載仕様ではありません。


注意

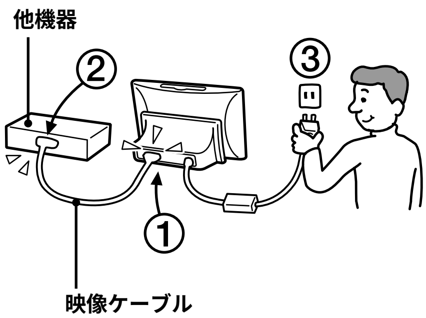
お手入れの際、電源プラグを抜き、バッテリーを取りはずす

電源プラグを差し込んだままお手入れをしたり、バッテリーをモニターに取り付けたままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

電源プラグは、他機器との接続が終わってからつなぐ

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。
また、他機器との接続が終わったあとで、電源プラグの電源コードを壁のコンセントに差してください。（右図の順参照）



電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは右図の③②①の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

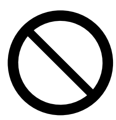
モニターをベースステーションに無理に設置しない

コネクターが壊れる原因となることがあります。


注意

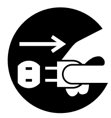
指定のACパワーアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。


禁止

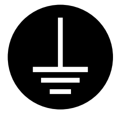
ベースステーションを移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。


プラグをコンセントから抜く

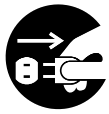
アース線を接続する

アース線を接続しないと感電の原因となることがあります。アース線を取り付けることができない場合は、販売店にご相談ください。



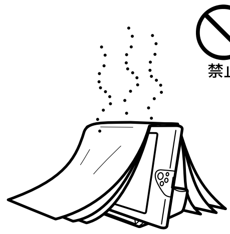
旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本体やACパワーアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

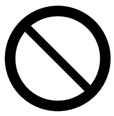




⚠警告　下記の注意事項を守らないと**健康を害する**おそれがあります。

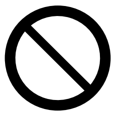
液晶画面を長時間続けて見ない

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



長時間使いすぎない

長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。



⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。**

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

注意

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

注意

ぬれた手で電源プラグ、ACパワーアダプター及び本体にさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

タッチペンで液晶画面を強く押しすぎない

液晶画面が壊れる原因となることがあります。

注意

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。

禁止

通電中の製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

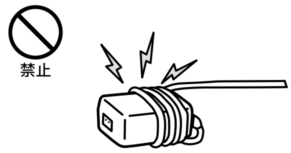
耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

注意



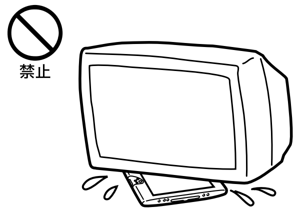
ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。



液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面（表示部）はガラスでできています。モニターをひねる、落とす、モニターに肘をつく、重いものを載せるなどすると、液晶画面が割れてけがの原因となることがあります。



硬い物質で液晶画面を操作したり、強打しない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

禁止

ベースステーションのモニター接続端子に金属物や金属片等が触れないようにする

ショートによる火災や故障の原因となることがあります。

禁止

バッテリーについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 本体に付属または指定された別売りのバッテリー以外は使用しないでください。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。

⚠警告

バッテリーを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の裏面やACパワーアダプターが熱くなることがあります

- 本機の動作時や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。
- 本機は使用状況により熱くなることがあります。モニターは、長時間ひざの上などにおいてご使用にならないでください。

本体やACパワーアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACパワーアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、エアボード カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

Chapter 1
はじめに

本機の使いかた

本機を操作するに当たって、106ページ～113ページを読んで、まず本機の接続を行ってください。次に、118ページ～125ページを読んで、テレビの設定を行ってください。インターネット、メールの設定は、利用する回線事業者やプロバイダによって異なります。

Step 1

接続する

テレビアンテナやイーサネットケーブル、電源コードを接続します

（☞106ページ～113ページ）

Step 2

テレビの設定をする

テレビのチャンネル設定などを行います

（☞118ページ～125ページ）

Step 3

インターネット、メールの設定をする

（☞128ページ～148ページ）

インターネットやメールをしない場合、「インターネットとメールの設定」は必要ありません。

Step 4

使う

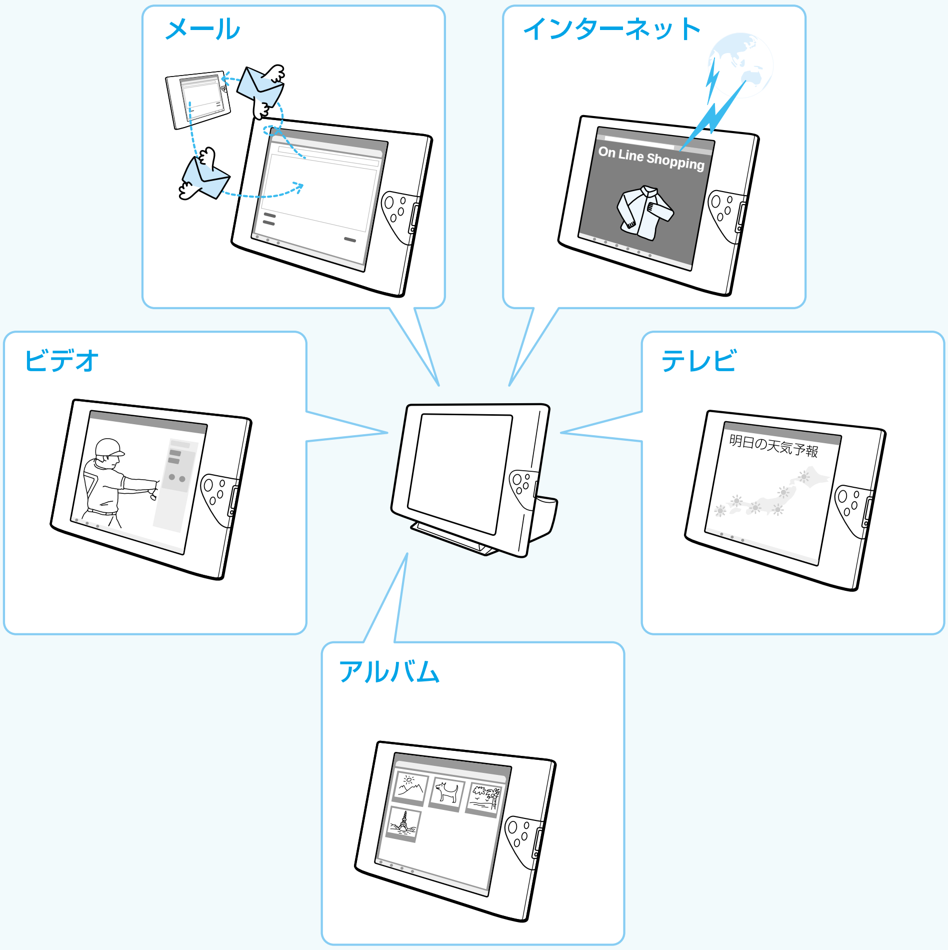
（☞15ページ～104ページ）

お使いになる機能に合わせてご覧ください。主な機能は以下のページに記載されています。
なお、本書の巻末には区点コード表などの付録情報もありますので必要に応じて参照してください。

- テレビを見る（☞28ページ～36ページ）
- ビデオなどの外部入力機器の映像を見る（☞38ページ～47ページ）
- インターネットを楽しむ（☞50ページ～57ページ）
- メールを楽しむ（☞60ページ～76ページ）
- アルバムを使う（☞78ページ～81ページ）

こんなことができます

本機は、テレビを見ることができるほか、インターネットを楽しんだり、メールを送ることができるパーソナルITテレビです。メールで受け取った画像や、デジタルスチルカメラで“メモリースティック”に保存した画像を一覧表示することもできます。



本機のキーボードには予測入力（POBox*）機能があります。この予測入力（POBox）機能とは、入力した単語から予測される次の単語を一覧表示したり、単語から文脈を予測していく機能であり、キーボードを打つ回数が減り便利です。
また、外部機器をつないで本機のリモコンで操作したり、別売りの“メモリースティック”を使ってインターネットやメールの設定を記録して、その“メモリースティック”を本機に挿入することで本機のメールを自分専用のメール（ミーメール）に置き換えることもできます。
本機はモニターとベースステーションから構成されています。モニターとベースステーションはワイヤレスで通信しており、モニターのみ持ち歩いて使うことができます。

* POBoxはPredictive Operation Based On Exampleの略です。

インターネットへの接続について

本機は、ケーブルテレビ、ADSL、ISDNなどの方法を使ってインターネットに接続することができます。

高速、常時接続、料金定額制 ―ブロードバンド

ケーブルテレビ（CATV）インターネット

ケーブルテレビで使用しているケーブル（同軸ケーブル）を利用してインターネットに接続する方法です。ケーブルテレビ会社などにより異なりますが、通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。ケーブルテレビインターネットを利用するには、本機の他にケーブルモデムと呼ばれる機器が必要です。通常ケーブルモデムは、ケーブルテレビ会社にインターネット接続契約を申し込んだあとに貸し出されます。

ADSL（Asymmetric Digital Subscriber Line：非対称デジタル加入者伝送方式）

電話回線を使ってインターネットに接続する方法です。1本の電話回線を電話用とインターネット用にわけて使い、通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。ADSLを利用するには本機の他にADSLモデムとスプリッターと呼ばれる機器を用意する必要があります。詳しくはご利用のADSL事業者にお問い合わせください。

*非・常時接続、料金従量制**

ISDN（Integrated Services Digital Network：総合サービスデジタルネットワーク）

デジタル電話回線（ISDN)を使ってインターネットに接続する方法です。通常の電話回線と比べると短時間でホームページを表示できます。本機をISDN回線に接続するには、ISDN用のルーター（ダイヤルアップルーター）と呼ばれる機器が必要です。

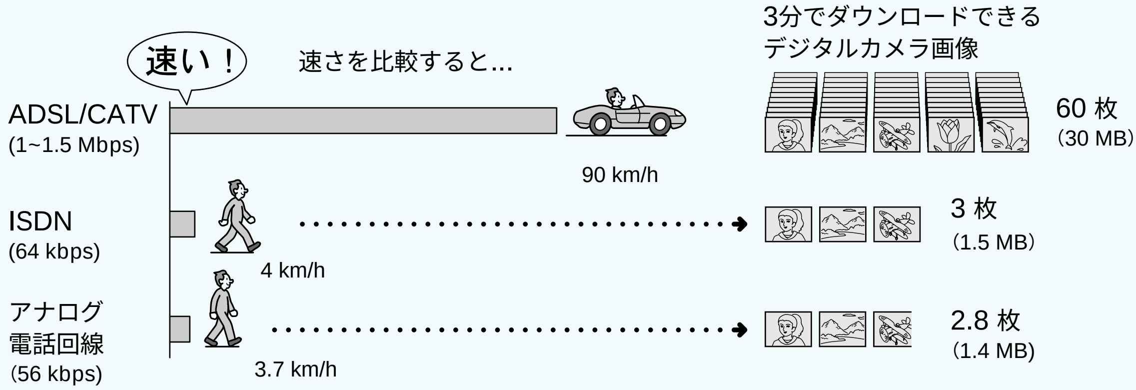
＊フレッツISDNは、回線利用料金が月額固定です。

ブロードバンドとは？

ケーブルテレビやADSLを使ったインターネットは、情報を一度に大量（高速）にやり取りすることができるため、ホームページを短時間で表示できます。このような高速なインターネット接続を総称して、ブロードバンドと呼びます。ブロードバンドを使ったインターネット接続には次のような特徴があります。

• 高速

ホームページが表示されるまでの時間が早く、快適にインターネットを楽しめます。
情報量の多い（ファイルサイズの大きい）画像も、メールですばやく送受信できます。



* イラスト中の数字は概算です。また、数値は技術的な理論値であり、回線やサーバーの状態、回線事業者によって異なります。詳しくは、回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

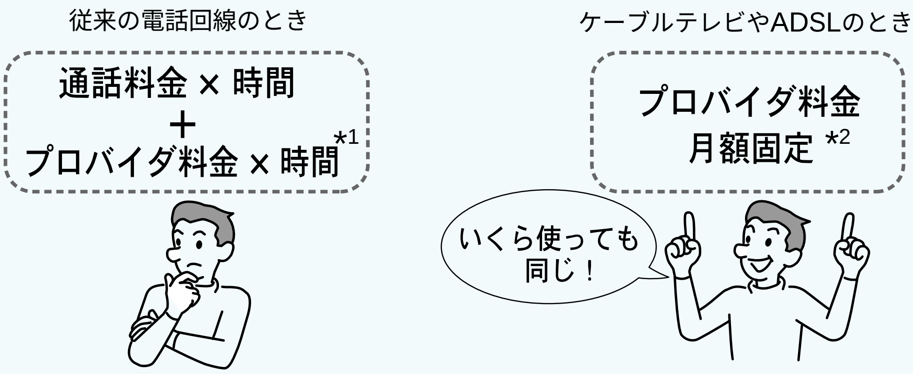
• 常時接続

電話回線のようにインターネットに接続するたびに、回線をつなげたり切ったりする必要がありません。プロバイダに接続するまでの待ち時間もなく、いつでもインターネットが楽しめます。



• 料金定額制

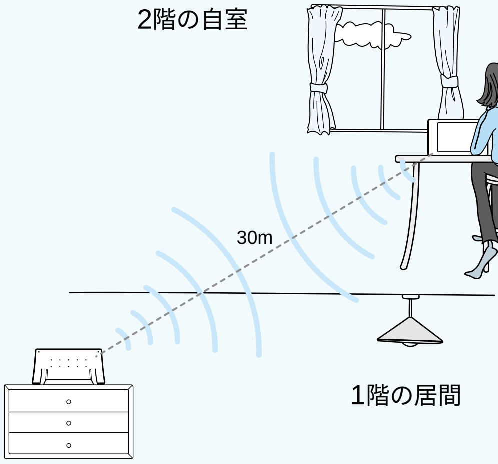
料金は月額定額制ですので、電話料金を気にすることなく、一日中インターネットを楽しめます。



*1 プロバイダによっては、定額制の場合もあります。
*2 ADSLをご利用の場合、プロバイダ料金以外にADSL回線使用料（月額固定）をADSL回線事業者から請求されることがあります。

ベースステーションとモニターの働き

本機はモニターとベースステーションで構成されています。モニターとベースステーションはワイヤレス通信によって情報をやりとりしています。ベースステーションからモニターを取りはずして、モニターのみ家の中で持ち歩いて使うことができます。このとき、モニターはベースステーションから30m以内でお使いください。使用環境により通信距離が短くなることもあります。ワイヤレス通信ができなくなると、画面上部に「圏外」と表示されます。



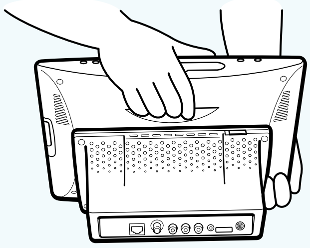
ご注意

ワイヤレス通信に関するご注意

- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。
- ベースステーションは、できるだけ床から離して安定した場所に設置してください。
- 金属などの材料を使った家具（流し台、冷蔵庫、電子レンジなど）がベースステーションとモニターの間にあると、利用可能範囲が短くなることがあります。
- 鉄筋コンクリートの壁や床、床暖房の入った床などは電波が通りにくくなりますので、利用可能範囲が短くなります。

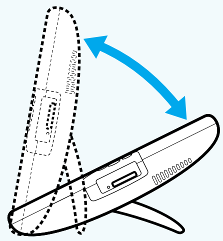
モニターの取りはずしかた

モニター裏面の手がけ部を持ってベースステーションからはずします。



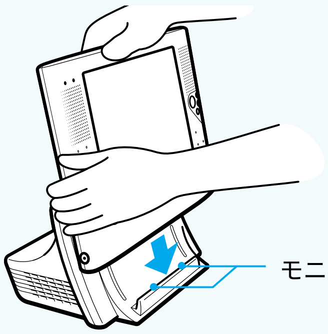
モニタースタンドの使いかた

下図のように、モニタースタンドの角度を自由に調節して使います。



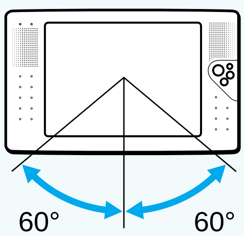
モニターの置きかた

ベースステーションのモニター接続端子にモニターを置きます。



適視角度について

モニターは真正面より左右60度以内でご覧ください。



バッテリーについて

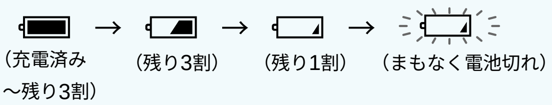
バッテリーの充電

モニターをベースステーションに置くと、自動的にバッテリーが充電され、モニター左側にある充電ランプが赤く点灯します。充電が終わると緑色に点灯します。
バッテリーの充電が完了するには、約150分かかります（付属のバッテリーの場合）。充電中も本機は使用できます。

充電状態	充電ランプの色
充電中	赤
充電完了	緑

バッテリーの使用可能時間

付属のバッテリーは、満充電状態でテレビをご覧のときは約40分、インターネットなどテレビ・ビデオ以外をご使用のときは約1時間使用できます。（テレビの音量や画面の明るさ設定など、使用状況により、使用可能時間は多少変化します。）
いずれの場合も、バッテリーが切れるおよそ1〜10分前に画面にお知らせが出ます。
また、画面上部にバッテリーの残量が表示されます。



ご注意

- バッテリーを長時間使用しないときは、本機で使い切って空の状態で保存してください。また、1年に1回程度満充電にして、本機で使い切ってから、涼しい場所で保管してください。
- バッテリーを使用できる時間が大幅に短くなった場合は、新しいバッテリーをお買い求めください。
- バッテリーの寿命は、充電放電300回程度が目安となります。充電放電を繰り返すに従って、使用できる時間が徐々に短くなります。
- バッテリーの特性によって、「まもなく電池切れ」のお知らせが出ずにバッテリーが切れて電源が切れることがあります。

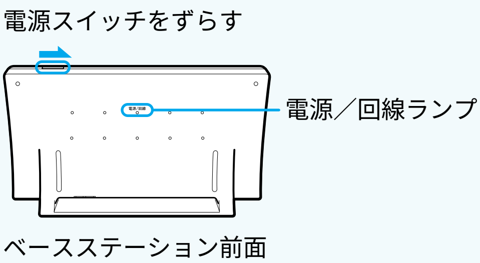
ワイヤレスで長時間お使いのときは

別売りのエアボード専用リチャージャブルバッテリーパック（L）BP-LF2、またはエアボード専用モニター用ACパワーアダプターAC-LF1Mをご使用ください。
エアボード専用リチャージャブルバッテリーパック（L）BP-LF2の場合、満充電状態でテレビをご覧のときは約2時間、インターネットなどテレビ以外をご使用のときは約3時間使用できます。

チャンネルの選びかた

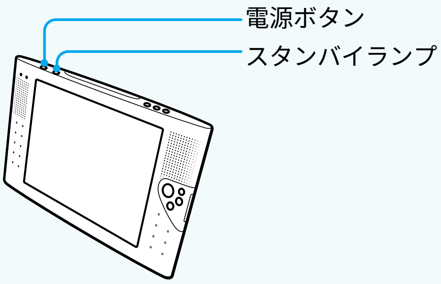
チャンネルを切り換えるには、モニター右側にある **［チャンネル＋/－ボタン］** を押すか、**［インデックスボタン］** を押して画面上に表示されるチャンネル一覧から選びます。

1　ベースステーションの電源スイッチを横にずらして、電源を入れる。



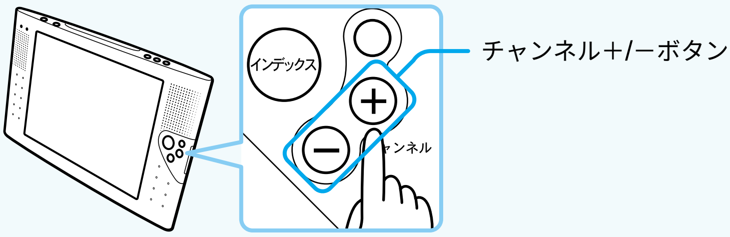
ベースステーションの電源／回線ランプが緑色に点灯します。

2　モニター上部にある［電源ボタン］を押して、電源を入れる。



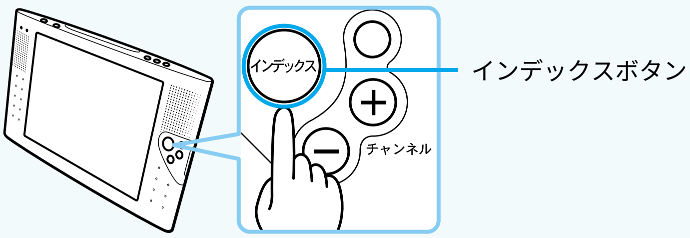
モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

3　モニター右側にある［チャンネル＋/－ボタン］をくり返し押す。



チャンネル一覧から選ぶときは（「インデックス」画面）

モニター右側にある［インデックスボタン］を押す。



「インデックス」画面が表示されます。

4　見たいチャンネルを選ぶ。（チャンネル一覧から選ぶとき）



選んだチャンネルに切り換わります。画面上部にはチャンネル名が表示されます。

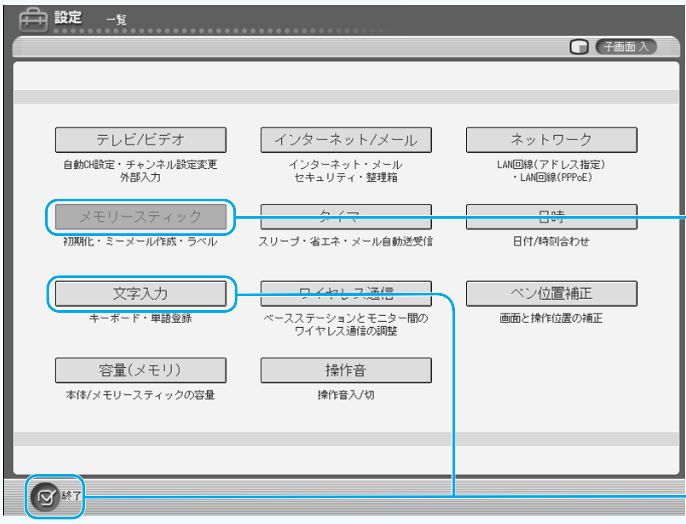
* テレビチャンネルの数や放送局名などは、設定により異なります。

画面の使いかた

本機は付属のタッチペンを使って画面に触れて操作します。ここでは、いくつかの画面を例に出しながら、画面上下部のボタンの選びかたや主なボタンの機能を説明します。

ボタンを選ぶには

付属のタッチペンで画面上のボタンを軽く押して選ぶ。
薄く表示されているボタンは選べません。



ご注意

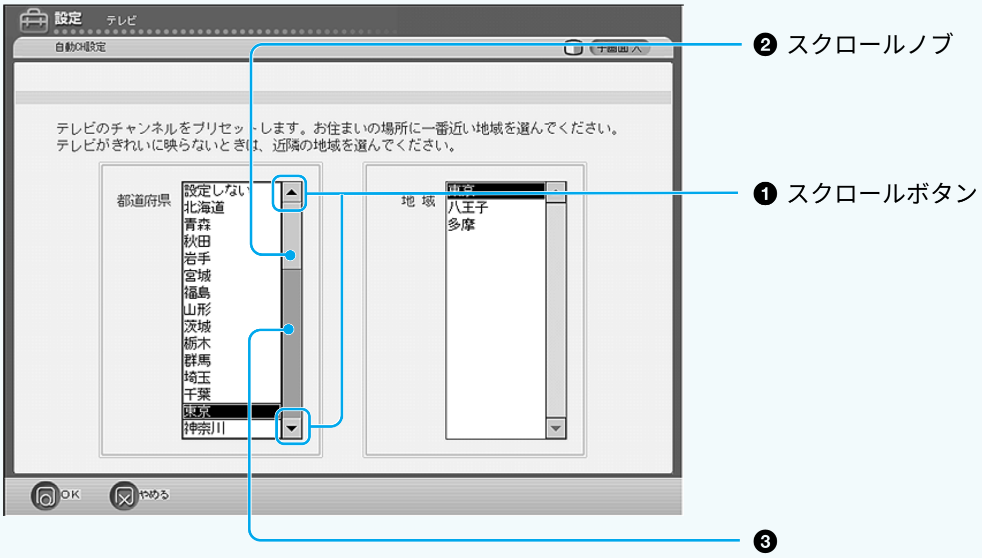
メッセージダイアログや「インデックス」画面を表示しているときはメッセージダイアログや「インデックス」画面以外の背景にあるボタンを選ぶことはできません。

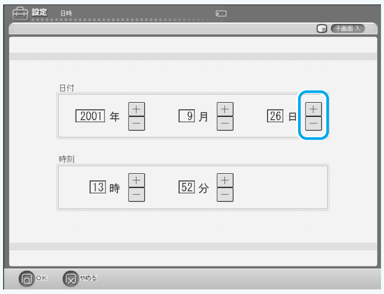
次のページにつづく

スクロールするには

縦に長い表や画面の横には「スクロールバー」が表示されます。スクロールバーを使って表示されている画面を上下に移動することを「スクロールする」といいます。
スクロールのしかたは3通りあります。

❶　▲または▼を選ぶと、表示されている画面が上または下に移動します。
❷　スクロールノブをタッチペンで押したまま上下に動かすと、表示されている画面が上または下に移動します。
❸　スクロールノブと▲または▼の間を選んでも、表示されている画面を移動できます。



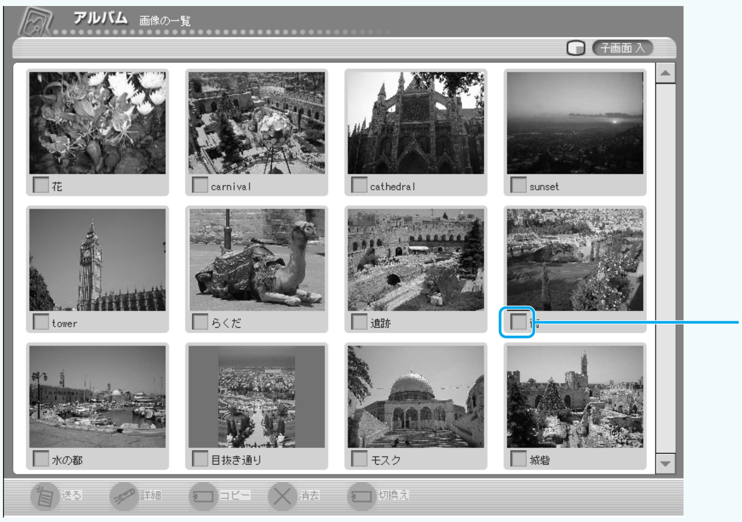


ちょっと一言

＋または－、▲または▼を押し続けると、数値や設定値を続けて増減したり、スクロールしたりできます。

チェックとは？

選びたいメールや画像、設定などの項目を指定するときに使います。選択項目の□を押して☑にします。1度チェックした項目をもう1度選ぶとチェックははずれます。また、1つだけしか指定できないときは□が●となっているので、●を押して◉にしてください。



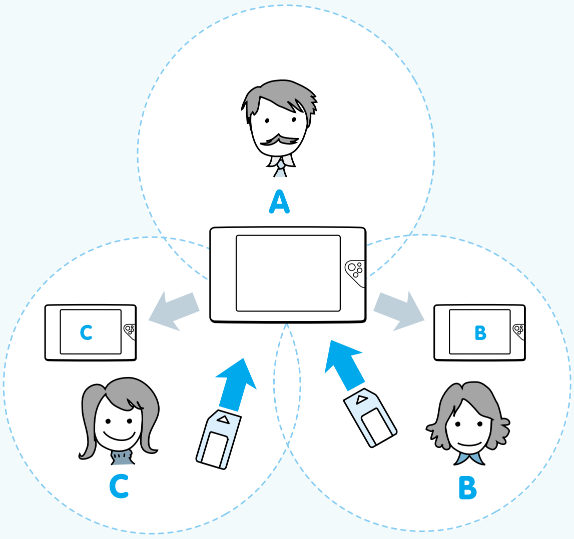
□を選ぶと、☑になります。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”(“Memory Stick”)は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間で情報をやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアとしてデータの保存にもお使いいただけます。

本機で“メモリースティック”を使う

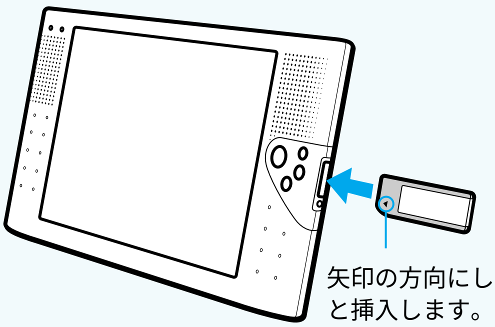
別売りの“メモリースティック”を使って、インターネットのマークを登録したり（☞55ページ）、メールの整理箱を使ってメールを分類したり（☞70ページ）、本機に保存しているアルバムの画像をコピーしたり（☞80ページ）できます。
また、自分専用のメールチャンネル［ミーメール］を作成（☞140ページ）できます。



本機と“メモリースティック”の間で情報のやりとりがあるときは、“メモリースティック”用ランプ（☞195ページ）が赤く点灯します。

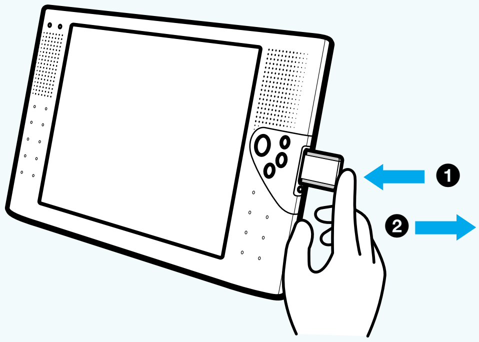
“メモリースティック”用ランプが赤く点灯しているときにバッテリーを抜いたり、“メモリースティック”を抜いたりしないでください。“メモリースティック”が破損することがあります。

“メモリースティック”を入れるには



モニター右側面にあるメモリースティックスロットに、カチッと音がするまで挿入する。

“メモリースティック”を取り出すには



“メモリースティック”を軽くモニター側に押してから（❶）、指を添えたまま取り出す（❷）。

“メモリースティック”の内容を表示している画面について



次のページにつづく

"メモリースティック"の内容を表示している画面の左上にが表示されます。が表示されないときは画面下部にある **[切換え]** を選んでください。**[切換え]** をくり返し選ぶと、本機内を表示する画面と"メモリースティック"の内容を表示する画面が交互に入れ替わります。

"メモリースティック"の種類

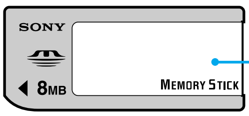
"メモリースティック"には、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した"マジックゲート メモリースティック"と、搭載していない一般の"メモリースティック"の2種類があります。

本機では、"マジックゲート メモリースティック"と一般の"メモリースティック"のどちらもご使用いただけます。

ご注意

ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

"メモリースティック"についてのご注意



ラベル貼り付け部

ラベルについて

- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。

取り扱いについて

- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

使用場所について

以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。

－高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所

－直射日光のあたる場所

－湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

ファイル名について

ファイル名に日本語が使われている場合、そのファイルを正しく表示できないことがあります。

他機で使用した"メモリースティック"について

他機器で使用した"メモリースティック"が本機で使用できないときは、「"メモリースティック"を初期化する」（☞155ページ）で"メモリースティック"を初期化（フォーマット）してください。初期化すると"メモリースティック"に記録されているデータはすべて削除されますので、ご注意ください。

著作権保護技術:マジックゲートについて

マジックゲートは、"マジックゲート メモリースティック"に記録するデータの暗号化と、"マジックゲート メモリースティック"対応機器の相互認証の2つの技術を用いて、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐ技術です。

マジックゲートは、"メモリースティック"と機器の両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。

デジタル音楽データを記録しようとすると、"マジックゲート メモリースティック"と機器が「マジックゲートに対応しているか」を相互に確認します。お互いにマジックゲートに対応していることが確認された場合のみ、データを"マジックゲート メモリースティック"へ記録できます。データは記録時に暗号化されます。

記録されたデータを再生するときも同じように、"マジックゲート メモリースティック"と機器が相互に確認し、認証された場合のみ再生できます。

著作権について

あなたが録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

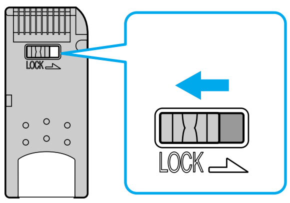
記録されているデータの保護について

大切な記録を誤って消してしまうことのないように、“メモリースティック”には、誤消去防止スイッチがついています。

記録可能

誤消去防止スイッチを左にスライドさせる。

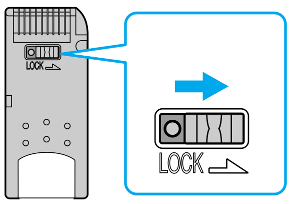
“メモリースティック” 裏



記録禁止

誤消去防止スイッチを右にスライドさせる。データを見ることはできますが、新たに記録することはできません。

“メモリースティック” 裏



データについて

- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、画像やメールなどデータの記録や編集、消去ができなくなります。本体のデータを“メモリースティック”へ移動やコピーをしたり、“メモリースティック”内のデータを消去する場合は、「LOCK」をはずしてください。また［ミーメール］でメールの作成や送受信をするときも、「LOCK」をはずしてください。
- 以下のような場合、“メモリースティック”を抜き差ししたり、本機の電源を切るようなことは、絶対にやめてください。
  - –“メモリースティック”のアクセスランプが赤く点灯しているとき
  - –メールなどのデータを“メモリースティック”に移動しているとき
  - –画像やメールなどのデータを“メモリースティック”にコピーしているとき
  - –“メモリースティック”内のデータを消去しているとき
  - –［ミーメール］で、メールの作成や送受信をしているとき
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - –読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - –静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンなどを使って他の“メモリースティック”やハードディスクにコピーし、保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

Chapter 2
テレビ

テレビチャンネルの画面の各部の名前

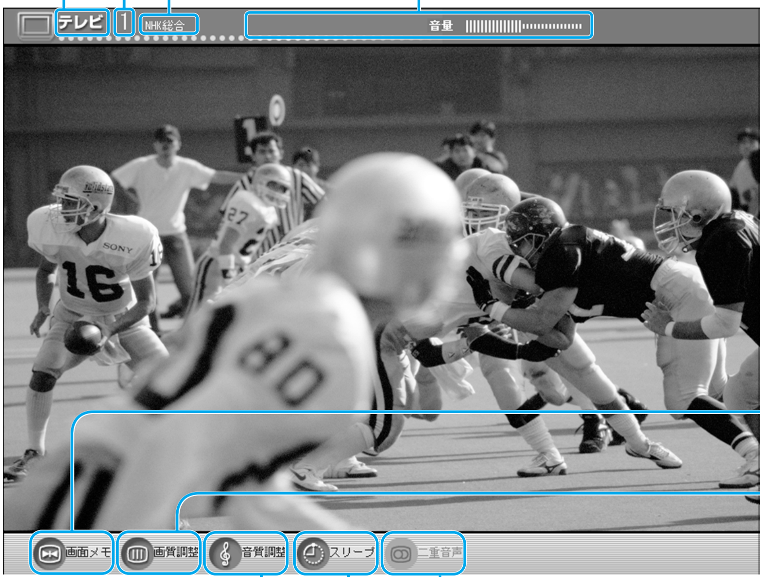
ここでは、テレビチャンネルの主なボタンについて説明します。
各ボタンの詳しい使いかたについてはかっこ内のページをご覧ください。

チャンネル名

テレビのチャンネル表示

放送局名

- 二重音声放送のときは、「主」/「副」/「主／副」のいずれかが表示されます
- 音量を調節すると、音量が表示されます



画面メモ：画面を停止します（☞34ページ）

画質調整：画質を調整します（☞32ページ）

二重音声：音声を切り換えます（二重音声放送時のみ表示）（☞30ページ）

スリープ：自動的に電源を切る時間を設定します（☞35ページ）

音質調整：音質を調整します（☞33ページ）

画面の上下部を表示するには

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
以下のいずれかの操作を行うと、再度表示できます。
－画面に触れる
－音量を調節する
－“メモリースティック”を挿入する、または抜く
－別売りのモニター用ACパワーアダプターをつなぐ、または抜く

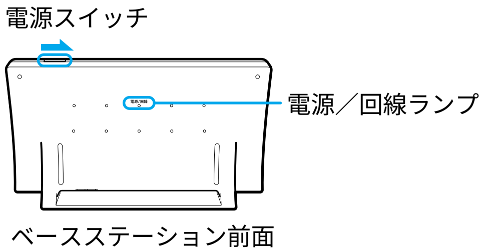
ちょっと一言

モニターが圏外にあるときや消音中、またはPPPoE（☞132ページ）を使ってインターネット接続中は、画面上下部は常に表示されています。

テレビを見る

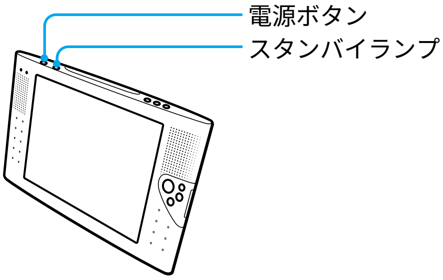
ここでは、テレビを見る方法を説明します。

1 ベースステーションの電源を入れる。



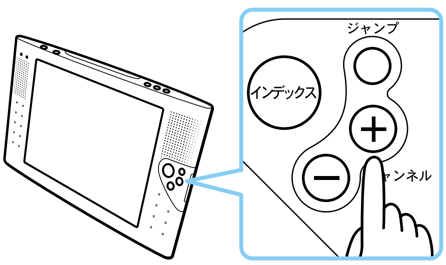
ベースステーションの電源／回線ランプが緑色に点灯します。

2 モニター上部にある［電源ボタン］を押して、電源を入れる。



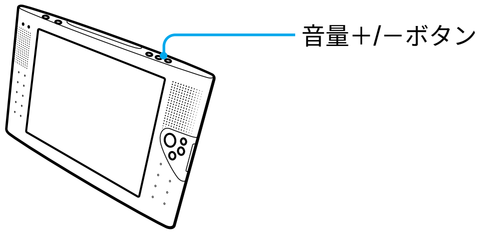
モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

3 モニター右側にある［チャンネル＋/−ボタン］を押して、見たいテレビチャンネルを選ぶ。



選んだチャンネルが表示されます。

4 モニター上部にある［音量＋/−ボタン］を押して、音量を調節する。



音を消すには

モニター上部にある**［消音ボタン］**を押す。画面上部に 消音 が表示され、点滅します。

再度音を出すには

もう1度**［消音ボタン］**を押すか、モニター上部にある**［音量＋ボタン］**を押す。消音 が消え、音が出ます。

前のチャンネルを見るには

モニター右側にある**［ジャンプボタン］**を押す。1つ前に見たチャンネルが表示されます。設定画面はチャンネルに含まれません。

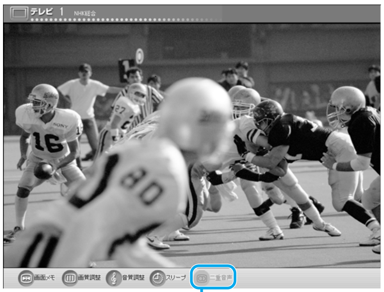
モニターの電源を切るには

モニター上部にある**［電源ボタン］**を押すと、スタンバイランプが消灯します。
メール自動送受信を設定しているときは、スタンバイ状態になりスタンバイランプが赤く点灯します。

音声を切り換える（二重音声）

二か国語放送など二重音声放送のときに、
聞きたい音声を選べます。

二重音声をくり返し押す。



二重音声

押すたびに、「主」→「副」→「主／副」→「主」の順に切り換わります。

ちょっと一言

ステレオ放送のときは、「ステレオ」と表示されます。

子画面で見る

インターネットチャンネル、メールチャンネル、アルバムチャンネルをご覧になっているとき、または設定画面にて操作を行っているとき、子画面を使って以下の画面を表示できます。
－ テレビチャンネル
－ ビデオチャンネル

子画面を表示する

子画面 入 を選ぶ。



画面右下に子画面が表示されます。最初に子画面表示されるチャンネルは、テレビチャンネルまたはビデオチャンネルで最後に表示したチャンネルです。



画面右上に子画面のチャンネル表示が表示されます。 － または ＋ を選んで子画面のチャンネルを変更できます。

子画面を画面全体に拡大して表示するには

画面右上にある **［全画面］** を選ぶ。子画面表示されていたテレビチャンネルまたはビデオチャンネルに切り換わります。

子画面を消すには

画面右上にある **［子画面 切］** を選ぶ。
子画面が消えます。

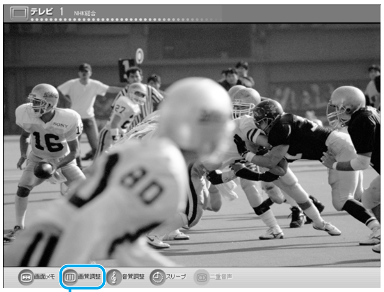
ご注意

- 外部入力機器が本機につながっていなかったり、外部入力機器の電源が入っていないときに子画面でビデオチャンネルを表示すると、子画面には何も表示されず、黒い画面が表示されます。
- 子画面が表示されている下（奥）にインターネットのホームページのリンクなどがあるときに子画面を選ぶと、その下（奥）のインターネットのホームページのリンクなどが押されたことになり、そのインターネットのホームページのリンクの操作が実行されます。

画質を調整する

テレビとビデオの画質を同時に調整します。

1 画質調整 を選ぶ。



画質調整

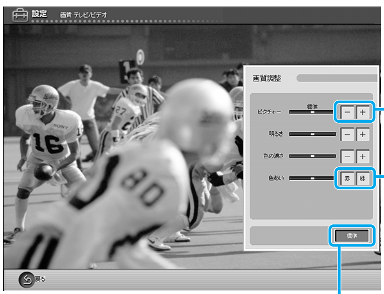
「設定 画質 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

2 画面を見ながら、各項目のレベルを調整する。

－ または ＋、赤 または 緑 を選んで調整します。

標準 を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。

－/＋



標準　赤/緑

設定項目	[－] を選ぶと	[＋] を選ぶと
ピクチャー	明暗の差が弱くなる	明暗の差が強くなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	淡くなる	濃くなる

設定項目	[赤] を選ぶと	[緑] を選ぶと
色あい	赤みがかる	緑がかる

3 戻る を選ぶ。

テレビチャンネルまたはビデオチャンネルに戻ります。

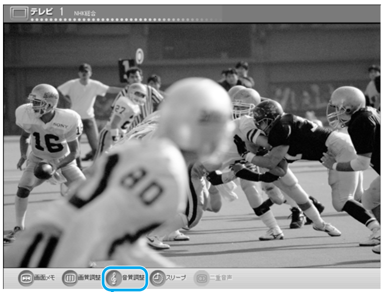
画面のバックライトの明るさを調整するには

モニター左側面にある **[☼(明るさ調整) つまみ]** を上下に動かして調整する。このとき、すべてのチャンネルの明るさが同時に調整されます。

音質を調整する

テレビとビデオの音質を同時に調整します。

1 音質調整を選ぶ。



「設定 音質 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

2 音声を聞きながら、各項目を調整する。

[−]または[＋]、[左]または[右]を選んで調整します。

[標準]を選ぶと、すべての項目が標準の設定になります。



設定項目	[−] を選ぶと	[＋] を選ぶと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる

設定項目	[左] を選ぶと	[右] を選ぶと
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる

3 戻るを選ぶ。

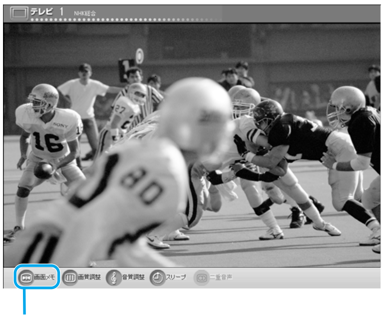
テレビチャンネルまたはビデオチャンネルに戻ります。

画面を停止する（画面メモ）

［画面メモ］を押した瞬間の画面が停止します。テレビ番組のメールアドレスやホームページのアドレスなどを書き留めるのに便利です。



を押す。



画面メモ

画面が停止します。音声は通常通り聞こえます。

画面停止中は**［画面メモ］**が**［メモ解除］**に切り換わります。

通常画面に戻るには

通常の画面に戻るには、画面下部にある**［メモ解除］**を選ぶ。

自動的に電源を切る（スリープ）

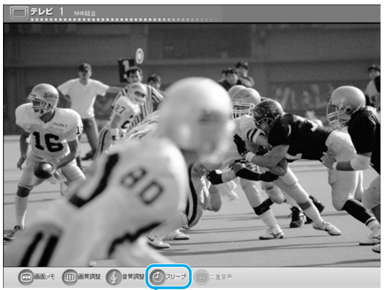
本機のモニターの電源を自動的に切るよう設定します。夜、テレビやビデオを見ながらおやすみになるときに便利です。
テレビチャンネルやビデオチャンネル以外のチャンネルを使用しているときでもスリープは働きます。

ご注意

ベースステーションの電源は切れません。

1 テレビチャンネルまたは、ビデオチャンネルを表示する。

2 スリープを選ぶ。



「設定 タイマー」画面が表示されます。

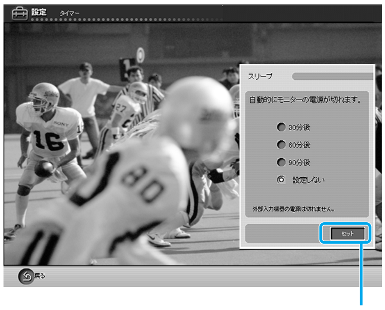
3 電源を切る時間を設定する。

「30分後」、「60分後」、または「90分後」のいずれかを選びます。



スリープを設定しないときは、「設定しない」を選びます。

4 セットを選ぶ。



スリープ設定が有効になります。

5 戻るを選ぶ。



テレビチャンネルまたは、ビデオチャンネルに戻ります。

スリープ設定時間になったら

設定時間の3分前に、「スリープにより、3分後にモニターの電源が切れます。「やめる」を選ぶとスリープを解除します。」というメッセージが表示されます。
「やめる」を選んでスリープを解除した後、再度実行したいときは、もう1度設定し直してください。

ご注意

- 「やめる」を選ばずに設定時間になったときは、そのままスリープが実行されます。
- スリープ設定時間までの時間を確認できるのは設定時間3分前のメッセージのみです。

次のページにつづく

設定画面からスリープを設定するには

1 「インデックス」画面を表示する。

2 **[設定]** を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **[タイマー]** を選ぶ。
「設定 タイマー」画面が表示されます。

4 **[スリープ]** を選ぶ。
「スリープ」画面が表示されます。

5 電源を切る時間を設定する。
「30分後」、「60分後」、または「90分後」のいずれかを選びます。
スリープを設定しないときは、「設定しない」を選びます。

6 **[セット]** を選ぶ。
スリープ設定が有効になります。

Chapter 3
ビデオ

ビデオチャンネルの画面の各部の名前

ここでは、ビデオチャンネルの主なボタンについて説明します。
各ボタンの詳しい使いかたについてはかっこ内のページをご覧ください。

チャンネル名

音量を調節すると、音量が表示されます



画面上のリモコン：つないだ機器を操作します（☞44ページ）

リモコン：リモコンを表示します（☞43ページ）

スリープ：自動的に電源を切る時間を設定します（☞35ページ）

音質調整：音質を調整します（☞33ページ）

画質調整：画質を調整します（☞32ページ）

画面メモ：画面を停止します（☞40ページ）

画面の上下部を表示するには

テレビチャンネルやビデオチャンネルに切り換えたとき、5秒ほど表示された後、消えます。
以下のいずれかの操作を行うと、再度表示できます。
－画面に触れる
－音量を調節する
－"メモリースティック"を挿入する、または抜く
－別売りのモニター用ACパワーアダプターをつなぐ、または抜く

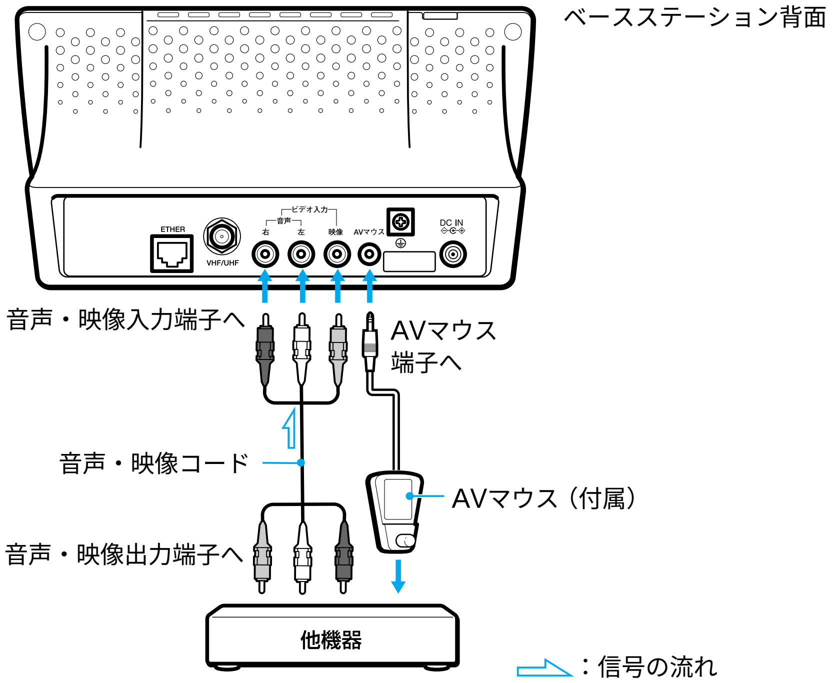
ちょっと一言

モニターが圏外にあるときや消音中、またはPPPoE（☞132ページ）を使ってインターネット接続中は、画面上下部は常に表示されています。

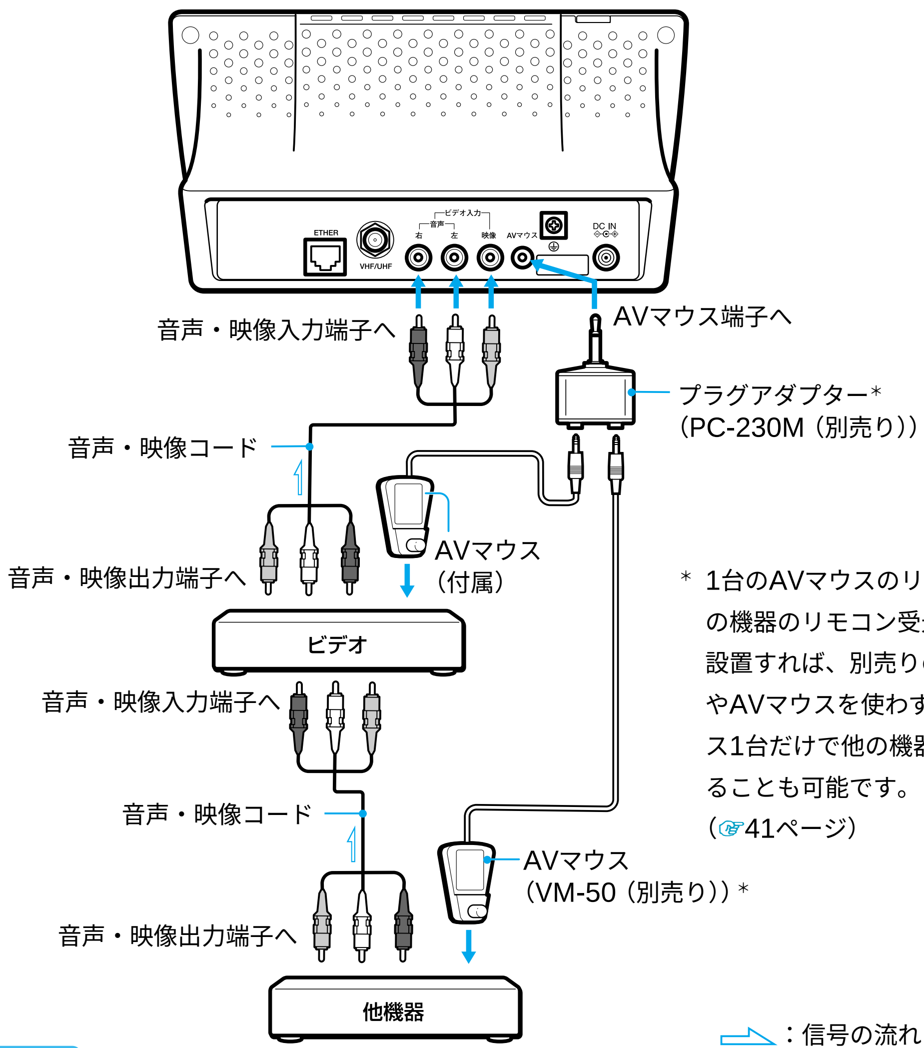
ご注意

パソコンのモニターなどに使用されているノンインターレース信号は、本機のモニターでは表示できません。

他機器をつなぐ



もう1台の外部入力機器をリモコンで操作するときのつなぎかた



＊ 1台のAVマウスのリモコン発光部が2台の機器のリモコン受光部にあたるように設置すれば、別売りのプラグアダプターやAVマウスを使わずに、付属のAVマウス1台だけで他の機器をコントロールすることも可能です。
（☞41ページ）

ご注意

- プラグアダプターを2つ以上つながないでください。正常に動作しないことがあります。
- DVDをビデオ経由で本機につないだときは、ビデオの録画防止機能（コピーガード）が働き、DVDの映像が乱れたり、暗くなったりすることがあります。DVDは本機のビデオ入力端子に直接つないでください。

つないだ機器の映像を見る

1 **ビデオチャンネルを表示する。**

2 **つないだ機器を使って操作する。**

ご注意

つないだ機器を本機で操作するためには設定が必要です。次ページの「本機のリモコンを使って操作する」の手順に従って設定してください。

画面メモを使うには

[画面メモ] を選ぶ。

画面が静止します。音声は通常通り聞こえます。

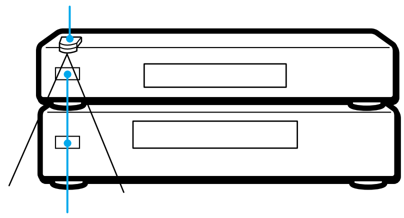
画面が静止しても、つないだ機器はそのまま動作し続けます。

通常の画面に戻るには、画面下部にある **[メモ解除]** を選ぶ。

本機のリモコンを使って操作する

ベースステーションにつないだ機器を画面上のリモコンで操作するための設定を行います。付属のAVマウスを、つないだ機器に取り付けて操作します。

1台のAVマウスで2台の機器をコントロールするときは、AVマウスと機器を以下のように配置します。

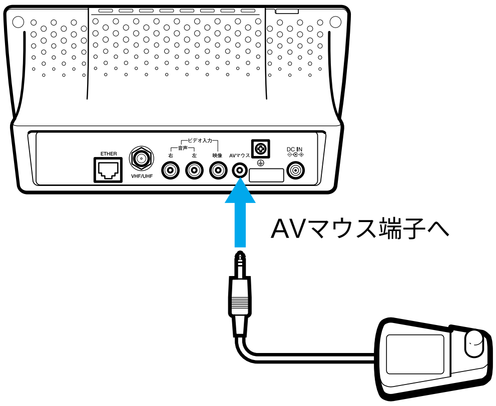


ちょっと一言

- AVマウスがつないだ機器に届かない場合は、別売りの接続コードRK-G131（3m）で延長してください。
- ソニー製ビデオなどのリモコン受光部にはⓇマークが付いています。

手順1：AVマウスをつなぐ

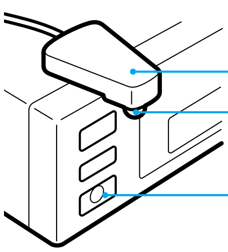
1 **付属のAVマウスをベースステーションのAVマウス端子につなぐ。**



2 **AVマウスの取り付け予定位置を決める。**

つないだ機器のリモコン受光部位置をその機器の取扱説明書で確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意
AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。



手順2：設定する

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**



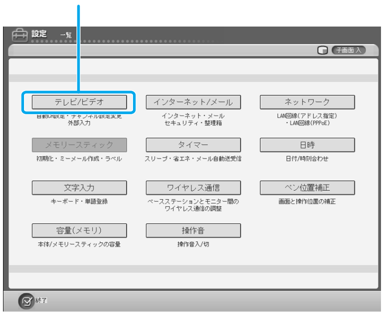
「設定 一覧」画面が表示されます。

ビデオ

次のページにつづく

3 テレビ/ビデオを選ぶ。

テレビ／ビデオ



「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

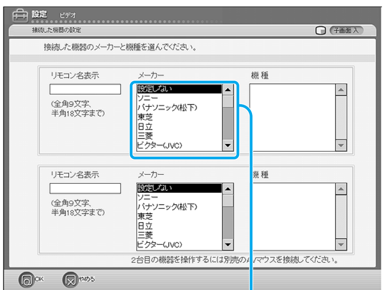
4 外部入力を選ぶ。



外部入力

「設定 ビデオ」画面が表示されます。

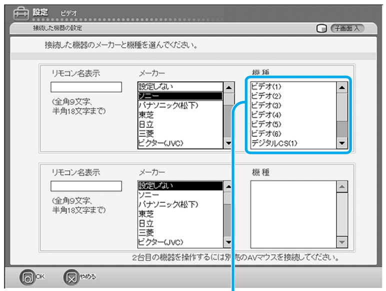
5 上部中央の「メーカー」リストの中からつないだ機器のメーカー名を選ぶ。



「メーカー」リスト

右上に「機種」リストが表示されます。

6 右上の「機種」リストの中からつないだ機器を選ぶ。



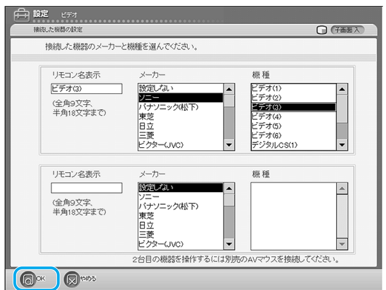
「機種」リスト

「リモコン名表示」の欄に、選んだ機種名が表示されます。リモコン名は、画面上にリモコンを表示したときに表示されます。

リモコン名を変えるには、「リモコン名表示」の下の空欄を選んで、キーボードを使って変更します。キーボードの使いかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。

外部入力機器を2台つなぐときは、ビデオ入力端子などがついている機器を1台目として接続、および設定をしてください。

7 OKを選ぶ。



OK

「設定 テレビ ビデオ」画面に戻ります。

8 終了を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

9 ビデオチャンネルを表示する。

10 リモコンを選ぶ。

11 リモコンの電源をくり返し押して、つないだ機器の電源入/切を確認する。



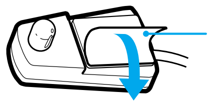
つないだ機器の電源入/切が確認できないときは、つないだ機器のメーカーまたは機種の設定が合っていない可能性があります。「設定する」の手順1（☞41ページ）からやり直してください。

それでも電源入/切が確認できないときは、本機のリモコン設定に対応していない機器です。

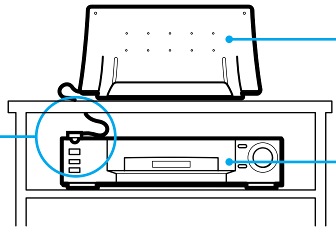
ご注意

「操作できる機器一覧」に記載されている機器でも、一部操作できない機種もあります。

12 確認ができたら、AVマウス裏面のシールをはがす。



13 「AVマウスをつなぐ」の手順2（☞41ページ）で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。



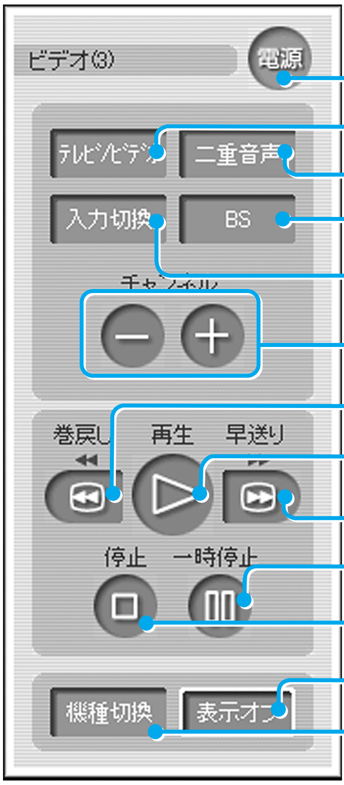
手順3：操作する

つないだ機器によって、表示されるリモコンが異なります。リモコンの使いかたについては、それぞれの表をご覧ください。画面上にリモコンが表示されていないときは、**[リモコン]** を選んでリモコンを表示してください。

ご注意

基本的には、つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、つないだ機器にない機能はボタンが画面上のリモコンに表示されていても、操作できません。

ビデオ

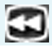


ボタン	機能
電源	ビデオの電源オン/オフ
テレビ/ビデオ	テレビ/ビデオ切換
二重音声	音声多重放送時の切換
BS	衛星放送受信
入力切換	ビデオデッキの入力切換
チャンネル－/＋	チャンネル－/＋
	巻き戻し
	再生
	早送り
	一時停止
	停止
表示オフ	リモコンの表示を消す
*機種切換	1台目←→2台目の機器切換

* 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

DVD



ボタン	機能
電源	DVDの電源オン/オフ
	巻き戻し（2倍速）
	早送り（2倍速）
	再生中にチャプターや映像を戻す
	再生中にチャプターや映像を進める
	停止
	再生
	一時停止
表示オフ	リモコンの表示を消す
*機種切換	1台目←→2台目の機器切換

* 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

デジタルCS（スカイパーフェクTV!）ケーブルテレビ



ボタン	機能
電源	デジタルCS、ケーブルテレビの電源オン/オフ
衛星切換	衛星の種類切換
二重音声	音声多重放送時の切換
0〜9	チャンネル数字ボタン
選局	このボタンを選んでからチャンネル数字ボタンを選ぶ
チャンネル−/+	デジタルCS、ケーブルテレビのチャンネル−/+
表示オフ	リモコンの表示を消す
*機種切換	1台目←→2台目の機器切換

* 2台目の機器を設定しているときのみ有効です。

2台目の機器の設定をするには

設定する前に、「もう1台の外部入力機器をリモコンで操作するときのつなぎかた」（☞39ページ）に従ってビデオなどの入力端子に2台目の機器を接続しておいてください。

1 「設定する」の手順1〜4（☞41ページ〜42ページ）を行う。

2 「設定 ビデオ」画面の中央左の「メーカー」リストの中から2台目の機器のメーカーを選ぶ。
画面右下に「機種」リストが表示されます。

3 右下の「機種」リストの中から2台目の機器を選ぶ。
「リモコン名表示」欄に選んだ機種名が表示されます。

4 「設定する」の手順7〜11（☞42ページ〜43ページ）を行う。

5 AVマウスを取り付け予定位置に固定する。

2台目の機器を操作するには

リモコンの［**機種切換**］を選んで2台目の機器のリモコンを表示する。リモコンの使いかたについて詳しくは、「操作する」のリモコンの表（☞44ページ〜45ページ）をご覧ください。

ご注意

つないだ機器に付属のリモコンと同じ使いかたをしてください。ただし、画面上のリモコンに表示されているボタンでも、つないだ機器にない機能については操作できません。

操作できる機種一覧

本機の画面上のリモコンで操作できる機種については以下の表をご覧ください。

メーカー名	機種名
ソニー	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4） ビデオ（5） ビデオ（6） デジタルCS（1） デジタルCS（2） デジタルCS（3） ケーブルテレビ DVD
愛知電子	ケーブルテレビ（1） ケーブルテレビ（2）
アイワ	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） デジタルCS（1） デジタルCS（2） デジタルCS（3）
RCA	DVD
Winersat	ケーブルテレビ
NEC	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4） デジタルCS ケーブルテレビ
KLH	DVD
サイエンティフィックアトランタ	ケーブルテレビ
三洋	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4）
シャープ	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） デジタルCS（1） デジタルCS（2） DVD
住友電気	ケーブルテレビ（1） ケーブルテレビ（2）
DXアンテナ	デジタルCS ケーブルテレビ
デンオン	DVD

メーカー名	機種名
東芝	ビデオ（1） ビデオ（2） デジタルCS（1） デジタルCS（2） ケーブルテレビ DVD
パイオニア	ビデオ ケーブルテレビ
パナソニック（松下）	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4） ビデオ（5） デジタルCS（1） デジタルCS（2） デジタルCS（3） ケーブルテレビ（1） ケーブルテレビ（2） ケーブルテレビ（3） DVD
ビクター（JVC）	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4） DVD
日立	ビデオ（1） ビデオ（2） デジタルCS（1） デジタルCS（2） デジタルCS（3） ケーブルテレビ DVD
フィリップス	ビデオ DVD
富士通	ビデオ ケーブルテレビ
フナイ	ビデオ
マスプロ	デジタルCS
三菱	ビデオ（1） ビデオ（2） ビデオ（3） ビデオ（4）
ヤマハ	DVD
ユニデン	デジタルCS
その他	ビデオ（1） ビデオ（2）

1つのメーカーに同一機種が複数ある場合（例：ビデオ（1）、ビデオ（2））はそれぞれのリモコンの信号が異なります。この場合は、同一機種名を順番に設定して、電源が入る機種を見つけてください。

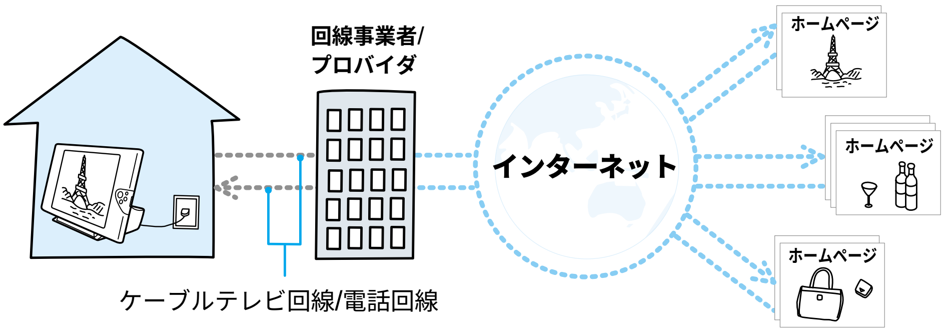
Chapter 4
インターネット

インターネットの使いかた

ここでは、インターネットの基本的な使いかたについて説明します。

インターネットとは？

インターネットとは、コンピューターなどをつなぐ、巨大な通信網です。この通信網は世界中に張り巡らされているため、インターネットにつながっているコンピューター同士であれば、位置や距離に関係なく情報を閲覧したり、発信したりできます。インターネットを利用するには電話回線やケーブルテレビ回線を通して、インターネット接続サービスを提供している会社（プロバイダや回線事業者）に接続する必要があります。詳しくは、「インターネットとメールの設定」（☞128〜148ページ）をご覧ください。
インターネットをするには回線事業者の回線使用料とプロバイダ利用料金がかかります。



ホームページとは？

インターネットを使って情報を発信している場所を「ホームページ」または「ウェブサイト」と言います。インターネットを使ってホームページを見ることで、最新のニュースを新聞やテレビよりも早く見たり、ホームページに掲載されている商品などを購入したりできます。

リンクとは？

ホームページの中の下線の引かれた青い文字や画像を選ぶと、その文字や画像に関連する別のホームページに移動することがあります。
これは、文字や画像の中に、関連するホームページが結びつけられているためです。このような文字や画像のことをリンクと言います。
リンクをたどっていくと、より多くの情報を引き出すことができ便利です。

ちょっと一言

リンクの中には、メールアドレスの情報が埋め込まれているものもあります。このようなリンクを選んだ場合、自動的にメールチャンネルの作成画面に切り換わり、そのメールアドレス宛にメールを送ることができます。

ダウンロードとは？

インターネットを通して送られてくるホームページなどの情報を本機に読み込むことです。ダウンロードすることで、最新のホームページを表示できます。

クレジットカードの情報やアンケートを求められたときのご注意

オンラインショッピングの支払い用のクレジットカード番号や、アンケートの個人情報などを記入する際には、セキュリティの確保されたホームページであるか確認しましょう。
本機では、SSLを使用しているホームページには、🔒が表示されます。

有料ホームページを見るときのご注意

プロバイダへの利用料金の他にお金がかかります。詳しくは、該当するホームページにてご確認ください。

ユーザー認証ページを見るときのご注意

ユーザー認証ページとは、IDとパスワードを入力して本人と確認されたあとに表示されるホームページです。このページを見終わった後は、必ずホームページ上の「ログアウト」ボタンを選んで、ユーザー認証ページから出てください。

画面の各部の名前

ここではインターネットチャンネルの主なボタンについて説明します。
各ボタンの詳しい使いかたについてはかっこ内のページをご覧ください。
（下記のインターネット画面は一例です。）

ホームページなどを読み込んでいるときは、このマークが動きます

チャンネル名

アドレス入力欄：現在見ているホームページのアドレスが表示されます。他のホームページを表示させるときは、ここにアドレスを入力します（☞53ページ）



接続中表示：
PPPoEで接続しているときに表示されます
ネットワークの設定を「アドレス指定」に設定しているときは何も表示されません

リンク：リンクを選択すると、関連するホームページが表示されます（☞50ページ）

履歴：過去に見たホームページのアドレスを表示します（☞54ページ）

文字を大（小）：画面上の文字の大きさを変えます

マーク：表示しているホームページのアドレスを登録します（☞55ページ）

更新：現在表示しているアドレスのホームページをダウンロードして、最新のホームページを表示します（☞52ページ）（停止：ホームページのダウンロードをやめます）

ホーム：ホームに設定したホームページを表示します（☞52ページ）

進む：次のページに進みます

戻る：1つ前のページに戻ります

接続中の画面表示と切断のしかた

インターネットへの接続のしかたによって、接続中の表示と切断のしかたが異なります。

ネットワークの設定	接続中の画面とランプの表示	切断方法
「LAN回線（PPPoE）」	モニター画面：「接続中」表示 モニターの回線ランプ：点灯 ベースステーションの電源/回線ランプ：点滅	本機の[**切断ボタン**]を押す
「LAN回線（アドレス指定）」	モニター画面：表示なし モニターの回線ランプ：点灯しない ベースステーションの電源/回線ランプ：点灯	ルーターを使っている場合はルーター側で切断する（常時接続のため、切断の必要はない）
ISDN回線（ダイヤルアップルーター使用）のとき「LAN回線（アドレス指定）」	モニター画面：表示なし モニターの回線ランプ：点灯しない ベースステーションの電源/回線ランプ：点灯	ダイヤルアップルーター側で切断する

ご注意

契約上、同時に1つの端末しかインターネットに接続できないことがあります。詳しくは回線事業者またはプロバイダに確認してください。この場合、パソコンなど別の端末をインターネットに接続したいときは、本機の[**切断ボタン**]を押して、本機のインターネット接続を切断してください。

ホームページを見る

ここでは、「ホーム」に設定したホームページを見る方法を説明します。

1 インターネットチャンネルを表示する。

2 を選ぶ。



ホーム

「ホーム」に設定したホームページが表示されます。

PPPoEを使ってインターネットに接続すると、モニター上部の回線ランプが緑色に点灯し、画面右上に「接続中」が表示されます。

画像がたくさん入っているなど、情報量の多いホームページをダウンロードするには時間がかかり、絵や文章が途切れて見えたりしますが故障ではありません。ホームページが表示されても一部絵が欠けて見えたり、文字が正しく表示されないときは、画面下部にある**[更新]**を選んでもう1度ホームページをダウンロードします。

ちょっと一言

- 最初に表示されるホームページは、前回ダウンロードした古い内容の場合があります。最新の情報に更新するには**[更新]**を選んでください。
- 本機では、Cookieを自動的に受け付けています。
- 「ホーム」に設定したホームページ以外のホームページを見るときは、「ホームページの場所（アドレス）を入力して見る」（☞53ページ）、「過去に見たホームページを見る（履歴）」（☞54ページ）、または「登録したホームページを見る」（☞56ページ）をご覧ください。

ホームページの場所（アドレス）を入力して見る

ここでは、ホームページの場所（アドレス）を入力して、好みのホームページを見る方法を説明します。

1 アドレス入力欄を選ぶ。

ここを選びます。



キーボードが表示されます。

2 別のホームページの場所（アドレス）が入力されている場合は、削除する。



ちょっと一言

ホームページのアドレスとは？

アドレスとは、インターネット上のホームページ場所を示す、住所のようなものです。URL（ユーアールエル）とも言います。本機の画面にホームページを表示するには、そのホームページのアドレスを入力する必要があります。

3 見たいホームページの場所（アドレス）を半角の英数字で入力する。

入力のしかたについて詳しくは、「英数字を入力する」（☞93ページ）をご覧ください。

4 キーボードの 入力終了 を選ぶ。



入力終了

キーボードが消え、最新のホームページの読み込みを始めます。

ちょっと一言

最初に表示されるホームページは、前回ダウンロードした古い内容の場合があります。最新の情報に更新するには［更新］を選んでください。

過去に見たホームページを見る（履歴）

過去に見たホームページは履歴として自動的に記録されます。その履歴の一覧からホームページのアドレスを選ぶだけでホームページを見ることができます。ホームページのアドレスを入力する必要がなく便利です。

1 履歴 を選ぶ。



履歴

「履歴の一覧」画面が表示されます。

2 「履歴の一覧」の中から見たいホームページを選ぶ。



ここを選びます

選んだホームページが表示されます。

ちょっと一言

- 履歴は30件分記録できます。履歴が30件をこえた場合、古いものから順に削除されます。
- 「履歴の一覧」画面からホームページのアドレスを選んだ場合、ダウンロードした時点のホームページが表示されることがあります。最新のホームページを見たい場合は、画面下部にある［**更新**］を選んでください。
  本機に保存されるホームページは一定容量を超えると日付の古いものから順に削除されます。
- 「履歴の一覧」画面から選んだホームページが本機に保存されていない場合は、「インターネットに接続しますか？」というメッセージが表示されます。（PPPoEで接続している場合のみ）

履歴の一覧からホームページを消去するには

1 消去したいホームページをチェックする。
1度に2つ以上のホームページを選ぶときは、それぞれチェックします。

2 画面下部にある［**消去**］を選ぶ。

好みのホームページから選ぶ（マーク）

好みのホームページのアドレスを登録する

好みのホームページのアドレスを登録できます。

1 登録したいホームページを表示しているときに マーク を選ぶ。



「マークの一覧」画面が表示され、ホームページのタイトルとアドレスが「今見ていたホームページ」の下に表示されます。

2 追加 を選ぶ。



ご注意

本機に登録できるマークは50件分です。登録できるマークの数を超えた場合は、「登録したマークを消去するには」（☞56ページ）の手順に従って不要なマークを消去してから登録し直してください。マークを残したいときは、“メモリースティック”に残したいマークをコピーしてから、本機のマークを消してください。

“メモリースティック”に登録するには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、登録したいホームページを表示しているときに**［マーク］**を選んで、**［切換え］**を選ぶ。
「 マークの一覧」画面が表示され、ホームページのタイトルとアドレスが「今見ていたホームページ」の下に表示されます。

2 **［追加］**を選ぶ。
手順1で表示したホームページに戻ります。

マークのタイトルを変更したり、登録したマークを消去するには「マークのタイトルを変更するには」（☞56ページ）または、「登録したマークを消去するには」（☞56ページ）の手順に従ってください。

登録したホームページを見る

1 マーク **を選ぶ。**



「マークの一覧」画面が表示されます。

2 **「マークの一覧」の中から見たいマークのアドレスを選ぶ。**

最後に見たホームページのマークが一番上に表示されます。



ここを選びます。
（チェックしても表示できません。）

選んだホームページが表示されます。

“メモリースティック”に登録したホームページを見るには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［マーク］**を選んで、**［切換え］**を選ぶ。
「　マークの一覧」画面が表示されます。

2 見たいホームページのマークのアドレスを選ぶ。
選んだホームページが表示されます。

マークのタイトルを変更するには

1 「マークの一覧」画面の中からタイトルを変えたいマークをチェックする。
タイトルは1つずつ変更できます。

2 画面下部にある**［名称変更］**を選ぶ。
「マークの名称変更」画面が表示されます。

3 「タイトル」の欄に新しいタイトルを入力する。
「タイトル」の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。

4 ［OK］を選ぶ。

登録したマークを消去するには

1 「マークの一覧」画面で消去したいマークをチェックする。
1度に2つ以上のマークを消去するときは、それぞれチェックします。

2 **［消去］**を選ぶ。

本機に登録したマークを“メモリースティック”にコピーするには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［マーク］**を選ぶ。
「マークの一覧」画面が表示されます。

2 “メモリースティック”にコピーしたいマークをチェックする。

3 **［コピー］**を選ぶ。

［切換え］を選んで「 マークの一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

“メモリースティック”に登録したマークを本機にコピーするには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［マーク］**を選んで、**［切換え］**を選ぶ。
「 マークの一覧」画面が表示されます。

2 本機にコピーしたいマークをチェックする。

3 **［コピー］**を選ぶ。

［切換え］を選んで「マークの一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

ご注意

コピーできるマークの数を超えたときは、「登録したマークを消去するには」（☞56ページ）の手順に従って不要なマークを消去してから、再度コピーし直してください。

Chapter 5
メール

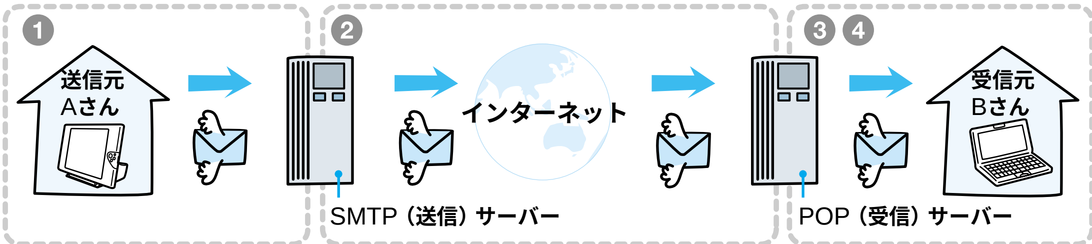
メールの使いかた

ここでは、メールの基本的な使いかたについて説明します。

メールとは？

メール（電子メール）はインターネットを使い、文章を手紙のようにやりとりする機能です。好きな時間に、短い時間で相手に文章が届くので便利です。
文章と一緒に、デジタルスチルカメラなどで撮った写真も送れます。

Aさんが本機を使って、Bさんの情報端末にメールを送った場合、Aさんのメールは次のようにしてBさんに届きます。



❶ Aさんが本機を使って、Aさんが入会しているプロバイダにBさん宛のメールを送る

❷ Aさんが入会しているプロバイダは、Bさんが入会しているプロバイダとインターネット上で通信して、AさんのメールをBさんのプロバイダに送る

❸ Bさんのプロバイダは、AさんからのメールをBさんが受信操作をするまで保管する

❹ Bさんが情報端末で受信操作をすると、Aさんからのメールを画面で読むことができる

メールを使うとこんなことが便利です

- 電話やFAXと同様に、すぐに相手（のプロバイダ）に届きます。
- 相手のプロパイダにメールが保管されるので、相手が不在のときでも、相手の時間を気にせずに好きなときにメールを送ることができます。
- 相手から送られてくるメールも自分のプロバイダに保管されるので、好きなときに受信して読むことができます。
- 通常の手紙の文章以外に、画像などのデータを添付して送ることができます。
- 同じメールを多数の相手に同時に送信することができます。

メールアドレスとは？

メールを受信したり、送信したりする時に必要な宛名です。相手のメールアドレスを指定することで、相手に文章などを送ることができます。（メールアドレスの例：sony-taro@airbonet.com）

画面の各部の名前

ここでは、メールチャンネルの主なボタンについて説明します。
各ボタンの詳しい使いかたについてはかっこ内のページをご覧ください。



受信箱：受信メール（相手から送られてきたメール）の一覧を表示します

チャンネル名

チェック

アドレス、日時または題名の順にメールの並べ替え（ソート）ができます

添付画像あり（☞74ページ）

送信箱：送信したメール・送信待ちのメール・途中保存したメールの一覧を表示します

移動：チェックしたメールを整理箱などへ移動します（☞70ページ）

消去：チェックしたメールとそのメールに添付されているファイルを消去します（☞64、66、70ページ）

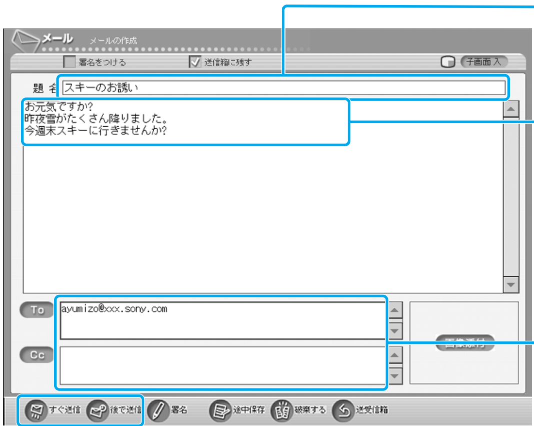
アドレス：アドレス帳を表示します（☞72ページ）

新規作成：メールを作成します（☞62ページ）

送信：送信待ちのメールを送信します（☞63ページ）

受信：メールの受信を確認します（☞65ページ）

メール作成画面の場合



題名を入力する（☞62ページ）：用件を短く、分かりやすい言葉で入力します

文章を作成する（☞62ページ）：メールの本文を書きます。相手が読みやすいように、適当に改行してください。送り主が誰であるか分かるように、署名を付けることもできます（☞63ページ）

宛名を入力する：送り先のメールアドレスを半角英数字で入力します。[To]、[Cc] それぞれに最大2000文字まで入力できます（☞62ページ）

メールを送信する（☞63ページ）：すぐに送信するか後で送信するか選びます

メールを書いて送る

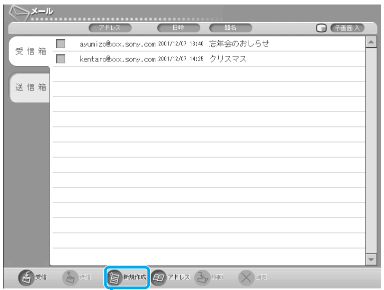
本機のメール機能を使って世界中の人に文章を送れます。メールアドレスとよばれる相手の宛名を指定するだけで、作成した文章が相手に届きます。

手順1：題名を入力する

1 **メールチャンネルを表示する。**

2 

を選ぶ。



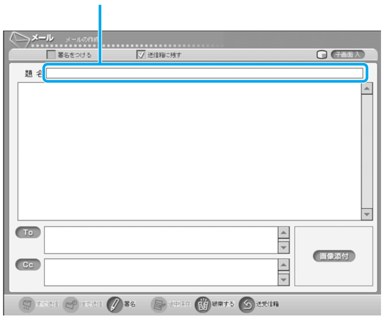
新規作成

「メールの作成」画面が表示されます。

3 **題名入力欄に「題名」を入力する。**

「題名」の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。

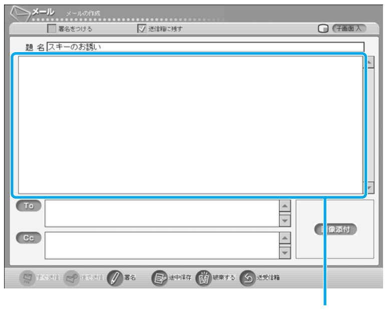
題名入力欄



手順2：文章を作成する

文章入力欄に文章を作成する。

題名入力欄の下の文章入力欄を選んで、キーボードを使って入力します。
相手が読みやすいよう、適当に改行してください。
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。



文章入力欄

手順3：宛名（メールアドレス）を入力する

メールアドレス入力欄にメールアドレスを入力する。



メールアドレス入力欄

入力は2通りから選べます。

❶　の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力する。
入力のしかたについて詳しくは、「英数字を入力する」（☞93ページ）をご覧ください。

❷メールアドレス入力欄の横の　を選んで「宛名の選択」画面の宛名の中から選ぶ。
直接宛名を選ぶか、宛名をチェックしてから　を選びます。この方法を選ぶときは、あらかじめアドレス帳にメールアドレスを登録しておく必要があります。

ちょっと一言

- **「Cc」（Carbon copy）とは？**
「To」に入れた宛名以外の人にも参考にメールを送るときに「Cc」に入れます。
- 複数の人に同時に同じメールを送信したいときは、メールアドレスの間をコンマ（,）で区切ります。［To］、［Cc］にはそれぞれ最大200文字まで入力できます。

署名を保存するには

メールの最後に入れる自分の名前や住所、電話番号などの情報を署名として保存できます。

1 画面下部にある **［署名］** を選ぶ。
「署名の編集」画面が表示されます。

2 「署名」欄に入力する。

3 ［OK］を選ぶ。
署名が保存されます。

署名を付けるには

メールを送信するときに署名が入るように設定されています。署名をつけるには、先に上の「署名を保存するには」で署名を作成してください。
署名を入れないようにするには、「メールの作成」画面上部にある「署名をつける」のチェックをはずしてください。

文章の作成をやめるには

画面下部にある **［破棄する］** を選ぶ。

手順4：メールを送信する

すぐ送信 または 後で送信 を選ぶ。



送信が完了すると、送信箱が表示されます。

送信方法について

－ **［すぐ送信］** を選んだ場合：メールはその場で送信されます。
－ **［後で送信］** を選んだ場合：次に **［すぐ送信］** を選んだとき、受信箱、送信箱、整理箱から **［送信］** を選んだとき、または、メール自動送受信を設定しているときに、設定時間になると送信されます。送信箱のメールの左端には　が表示されます。

ご注意

- メールアドレスを入力しないと、**［すぐ送信］** や **［後で送信］** は表示されません。
- ［ミーメール］でメールを作成したり、送受信したりする場合は、“メモリースティック”の「LOCK」を「記録可能」にしてください。（☞25ページ）

次のページにつづく

ちょっと一言

- 送信箱のリストの並び順を変えられます（ソート）。好みに合わせて、［アドレス］、［日時］、［題名］を選んでください。
  - －アドレスを選んだとき＝アルファベット順に並びます。
  - －日時を選んだとき＝日付の新しい順に並びます。
  - －題名を選んだとき＝アルファベット→五十音（ひらがな→カタカナ→漢字）順に並びます。
- モニターの電源を切っているときに、指定した時間にメールを送受信できます。詳しくは、「メールの自動送受信を設定する」（☞147ページ）をご覧ください。

画像を送るには

メールと一緒に画像を送れます。詳しくは、「メールで画像を送る」（☞74ページ）をご覧ください。

送信箱から［後で送信］に指定されたすべてのメールを送信するには

画面下部にある**［送信］**を選ぶ。

送信箱からメールを消去するには

1 消去したいメールをチェックする。

2 **［消去］**を選ぶ。

ちょっと一言

送信したメールは送信箱に残るように設定されています。「メールの作成」画面上部にある「送信箱に残す」のチェックをはずすと、送信されたメールは送信箱に残りません。

メールの送信が失敗したときは

送信箱のメールの左端にが表示され、次に**［すぐ送信］**を選んだとき、または自動送受信を設定している場合、設定時間になると送信されます。

作成途中のメールを保存する

文章の作成を途中で中断し、保存できます。

［途中保存］を選ぶ。



途中保存

送信箱が表示され、途中保存したメールの左端にが表示されます。

途中保存したメールを編集するには

1 編集したいメールを直接選ぶ。

「メール作成」画面が表示されます。

2 文章を編集する。

ちょっと一言

編集前の文章に戻すには、画面下部にある**［やめる］**を選んでください。

作成途中のメールや途中保存したメールを消去するには

- **メール作成画面を表示しているときは**
  作成途中のメール画面下部にある**［破棄する］**を選ぶ。
- **送信箱を表示しているときは**
  送信箱リストの中から消去したい途中保存のメールをチェックしてから、**［消去］**を選ぶ。

届いたメールを見る

メールを受信する

メールが自分のプロバイダに届いていても、プロバイダからお知らせは届きません。メールが届いているかを確認するには、本機の「受信」を押して、確認してください。

1 **受信 を選ぶ。**



受信

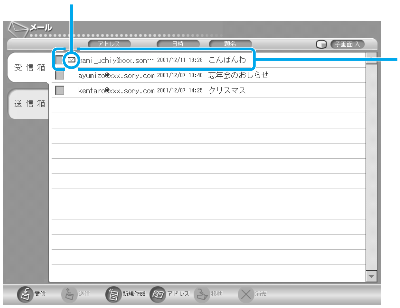
新しいメールが届いているときは、受信箱のメール（青字）の横に✉が表示されます。

ご注意

- 送受信するメールに画像などの添付ファイルがある場合、送受信にしばらく時間がかかることがあります。
- ［ミーメール］でメールを作成したり、送受信したりする場合は、“メモリースティック”の「LOCK」を「記録可能」にしてください。（☞25ページ）

2 **✉ の付いているメールを選ぶ。**

新着アイコン



ここを選ぶ

メールの内容が表示されます。

ちょっと一言

1度メールの内容を表示した後は、✉は消え、受信箱のメールの文字の色が青から黒になります。

読み終わったメールは、返事を書いたり、整理箱に移動できます。詳しくは、「返事を書く（返信）」（☞66ページ）または、「整理箱に移動する」（☞70ページ）をご覧ください。

ご注意

本機で表示できない添付書類が送られてきたときは、リストの横に📎が表示されます。メールをパソコンに転送し、パソコンで添付書類をご覧ください。

ちょっと一言

- 受信箱のリストの並び順を変えられます（ソート）。好みに合わせて、アドレス、日時、題名を選びます。
  - アドレスを選んだとき＝アルファベット順に並びます。
  - 日時を選んだとき＝日付の新しい順に並びます。
  - 題名を選んだとき＝アルファベット→五十音（ひらがな→カタカナ→漢字）順に並びます。
- モニターの電源を切っているときに、指定した時間にメールを送受信できます。詳しくは、「メールの自動送受信を設定する」（☞147ページ）をご覧ください。

メールに付いている（添付されている）画像を拡大するには

受信したメールの画像を選ぶと拡大表示されます。**［戻る］**を選ぶと、もとの画面に戻ります。

ちょっと一言

受信メールに添付された画像は、ファイル名に全角が使われている場合、本機ではそのファイル名をFILExxxx（xxxxは任意の数字）に変更して表示します。

メールの画像をアルバムや“メモリースティック”のアルバムにコピーするには

1 メールチャンネルを表示する。
2 画像の添付されたメールを選ぶ。
メールの内容が表示されます。
3 画像を選ぶ。
画像が拡大表示されます。
4 本機に“メモリースティック”を挿入して、**［コピー］**を選ぶ。
「どのアルバムにコピーしますか？」というメッセージが表示されます。
5 コピー先を選んでから、［OK］を選ぶ。

受信したメールを消去するには

消去したいメールを表示し、画面下部にある**［消去］**を選ぶか、受信箱を表示し、消去したいメールをチェックしてから、**［消去］**を選ぶ。

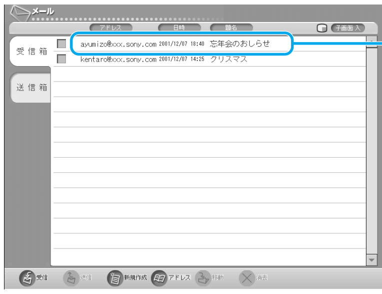
文中にホームページのアドレスが青色で表示されているときは

ホームページのアドレスを選ぶと、そのホームページが表示されます。

返事を書く（返信）

受信したメールの文面を使って、返事を書くことを「返信」といいます。その際、相手のメールアドレスは自動的に入力されるので便利です。

1 受信箱の中から返事を書きたいメールを選ぶ。



ここを選ぶ

メールの内容が表示されます。

2  **を選ぶ。**



返信

「メールの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

- 題名の行頭には、返信の意味を示す「RE:」が追加され、相手の文面の行頭には「>」（引用符）が付きます。
- 選んだメールが自分以外の人にも送られたものだったときは、「どのように返信しますか？」というメッセージが表示され、返信相手に「差出人のみ」か「全員」を選ぶことができます。返信相手を選ぶと「メールの作成」画面が表示されます。（☞67ページ）

3 文章を入力する。

文章を入力したい位置を選んで、キーボードを使って入力します。

4 すぐ送信、後で送信または途中保存を選ぶ。



－［すぐ送信］を選んだ場合：その場で送信されます。

－［後で送信］を選んだ場合：次に［すぐ送信］を選んだとき、受信箱、送信箱、整理箱から［送信］を選んだとき、または、メール自動送受信を設定しているときに設定時間になると送信されます。送信箱のメールの左端にはが表示されます。

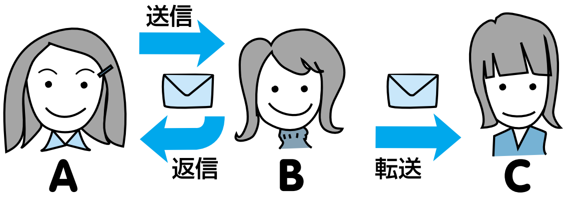
－［途中保存］を選んだ場合：送信箱のメールの横にが表示され、途中保存されます。

ちょっと一言

返信・転送について

返信とは、AさんからBさんに送られたメールをBさんがAさんに送り返すことをいいます。

転送とは、AさんからBさんに送られたメールをBさんがCさんにそのまま送ることをいいます。



全員に返信する

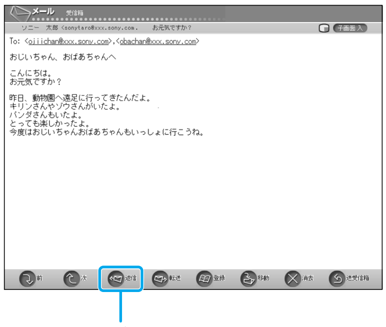
受信したメールが自分以外の人にも送られたものだったときは、メールが送られた全員に、同じメールを同時に返信することができます。

1 受信箱から返事を書きたいメールを選ぶ。



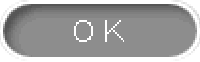
メールの内容が表示されます。

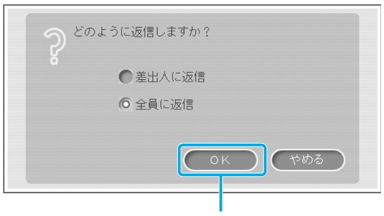
2 返信を選ぶ。



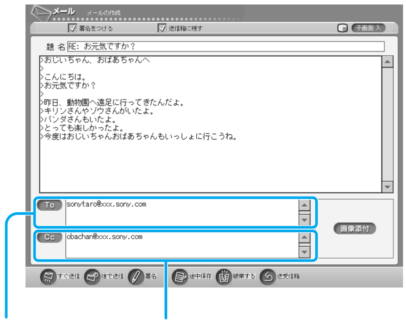
「どのように返信しますか？」というメッセージが表示されます。

次のページにつづく

3 [全員に返信]を選んでから、を選ぶ。



「メールの作成」画面が表示されます。



「To」には受信したメールの差出人のメールアドレスが入ります。

「Cc」には受信したメールの「Cc」に入っていたメールアドレスがすべて入ります。

受信したメールの「To」に自分のアドレス以外のメールアドレスが入っていた場合は、すべて「To」に入ります。

受信したメール

To：自分、Aさん、Bさん
Cc：Dさん
差出人：Zさん

↓ 全員に返信

返信するメール

To：Zさん、Aさん、Bさん
Cc：Dさん
差出人：自分

ちょっと一言

- 「To」にメールアドレスを追加するときは、メールアドレスの間をコンマ（,）で区切ります。
- 差出人のみに返信したいときは、上記の手順3で **[差出人に返信]** を選びます。

4 文章を入力する。

キーボードを使って入力します。

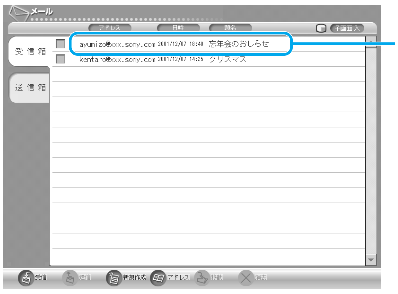
5 、またはを選ぶ。



届いたメールを他の人に送信する（転送）

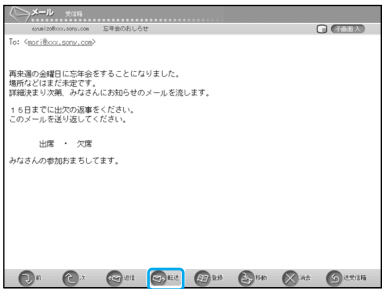
届いたメールを他の人に送信することを「転送」といいます。

1 受信箱の中から転送したいメールを選ぶ。


ここを選ぶ

メールの内容が表示されます。

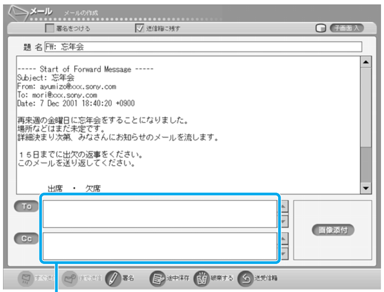
2 [転送]を選ぶ。


転送

「メールの作成」画面が表示されます。

3 メールアドレス入力欄に送信する相手のメールアドレスを入力する。

キーボード、または「宛名の選択」画面（☞62ページ）を使って入力します。


メールアドレス入力欄

ちょっと一言

- 題名の行頭には、転送の意味を示す「FW:」が追加されます。
- 複数の人に同時に同じメールを送信したいときは、メールアドレスの間をコンマ（,）で区切ります。

4 [すぐ送信]、[後で送信]または[途中保存]を選ぶ。


すぐ送信　後で送信　途中保存

次のページにつづく

整理箱に移動する

保存されているメールを「整理箱」に移動してメールを分類できます。
整理箱を使うには“メモリースティック”が必要です。

1 **整理箱に移動したいメールをチェックする。**



2  **を選ぶ。**



メッセージが表示されます。

3 **移動先を選ぶ。**



選択したメールが整理箱に移動します。

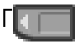
ご注意

メールの移動中にメモリースティックを抜いたり、本体の電源を切ったりしないでください。

整理箱内のメールを消去するには

1 消去したいメールを含む整理箱を選ぶ。
選んだ整理箱が表示されます。
2 消去したいメールをチェックする。
3 **［消去］**を選ぶ。

整理箱に名前を付けるには

1「インデックス」画面を表示する。
2 **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。
3 **［インターネット/メール］**を選ぶ。
「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。
4 **［整理箱］**を選ぶ。
「 整理箱」画面が表示されます。
5 名前を付けたい整理箱の横の入力欄を選んで、キーボードを使って名前を変更する。
6 **［戻る］**を選ぶ。

ちょっと一言

整理箱内のメールをパソコンで確認するときは、“ メモリースティック ”の中のLFmailxx（xxは任意の数字）というフォルダを検索してください。

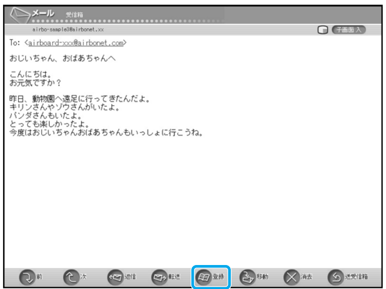
宛名一覧を使う（アドレス帳）

メールアドレスをアドレス帳から選んで自動的に入力できるので、毎回メールアドレスを入力する必要がなく便利です。

メールアドレスをアドレス帳に登録する

1　アドレス帳に登録したいメールアドレスを含んでいる送信済みメールまたは受信メールを表示する。

2　登録 を選ぶ。



登録

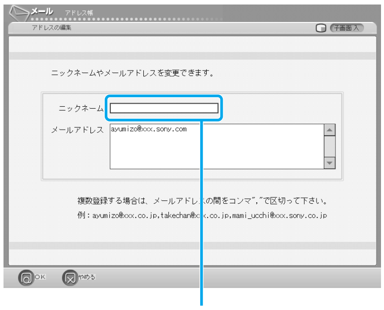
「アドレス帳」画面が表示され、メールアドレス入力欄にメールアドレスが入力されます。

ちょっと一言

選んだ送信済みメールまたは受信メールが複数の人に宛てたものであった場合、メールアドレス入力欄には全員のメールアドレスがコンマ（,）で区切られて入力されます。登録したい人のメールアドレスだけを残して、不要なアドレスは削除してください。

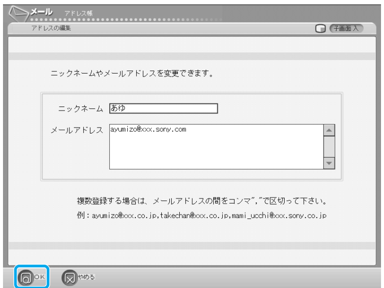
3　ニックネーム入力欄にメールアドレスのニックネームを入力する。

「ニックネーム」の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。
入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。



ニックネーム入力欄

4　OK を選ぶ。



OK

手順1で表示したメールの画面に戻ります。

ちょっと一言

アドレス帳のリストでは、ニックネームがアルファベット→五十音（ひらがな→カタカナ→漢字）順に並びます。

メール

次のページにつづく

メールアドレスを直接入力して登録するには

1 **［アドレス］**を選ぶ。
「アドレス帳」画面が表示されます。

2 **［新規作成］**を選ぶ。
「アドレスの登録」画面が表示されます。

3 ニックネーム入力欄にメールアドレスのニックネームを入力する。
「ニックネーム」の横の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。入力のしかたについて詳しくは、「文字入力」（☞84ページ〜104ページ）をご覧ください。

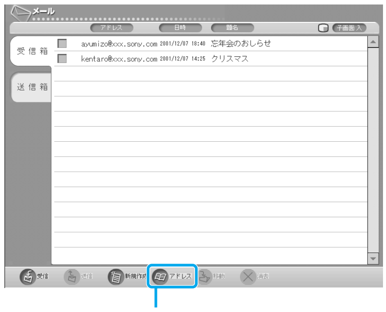
4 メールアドレス入力欄にメールアドレスを入力する。
同じニックネームに複数のメールアドレスを登録するときは、メールアドレスとメールアドレスの間にコンマ（,）を入れて区切ります。入力のしかたについて詳しくは、「英数字を入力する」（☞93ページ）をご覧ください。

5 ［OK］を選ぶ。

アドレス帳を使ってメールアドレスを入力する

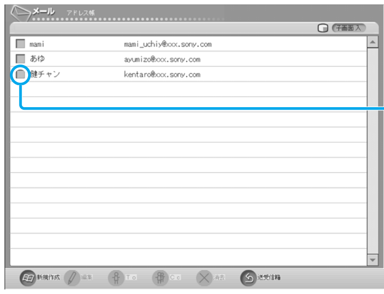
1 

を選ぶ。



「アドレス帳」画面が表示されます。

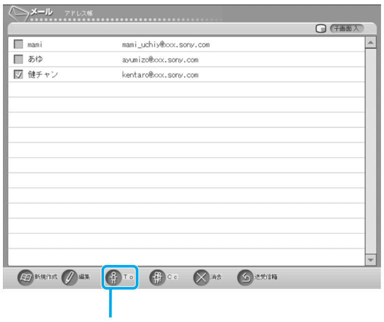
2 **使いたいアドレスをチェックする。**



ちょっと一言

アドレス帳では、ニックネームがアルファベット→五十音（ひらがな→カタカナ→漢字）順に並びます。

3 To を選ぶ。



メールアドレスが自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

ちょっと一言

「To」の代わりに「Cc」を選ぶと、「Cc」欄にメールアドレスが自動的に入力された「メールの作成」画面が表示されます。

アドレス帳の内容を変更するには

1 **[アドレス]** を選ぶ。
「アドレス帳」画面が表示されます。

2 内容を変更したいメールアドレスを選ぶか、メールアドレスをチェックしてから **[編集]** を選ぶ。
「アドレスの編集」画面が表示されます。

3 キーボードを使って項目を変更する。

4 [OK] を選ぶ。

アドレス帳からメールアドレスを消去するには

1 **[アドレス]** を選んで、「アドレス帳」画面を表示する。

2 消去したいメールアドレスをチェックする。

3 **[消去]** を選ぶ。

メールで画像を送る

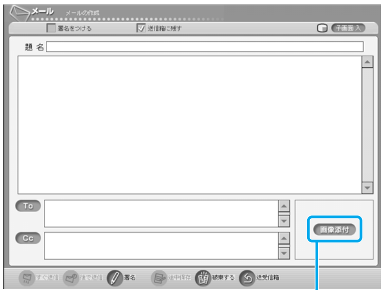
保存してある画像をメールに付けて（添付して）相手に送ることができます。

ご注意

1つのメールに添付できる画像は10枚までです。メールの本文と画像の合計サイズが約4MBを超えると送信できません。画像のサイズはアルバムで確認できます。（☞79ページ）

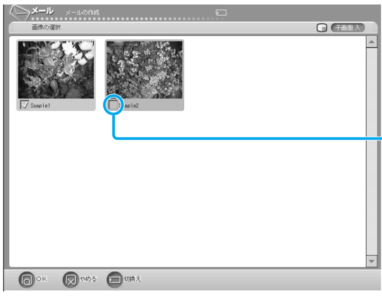
1 **［新規作成］を選んで、「メールの作成」画面を表示する。**

2 **［画像添付］を選ぶ。**



「画像の選択」画面が表示されます。

3 **添付する画像をチェックする。**



2枚以上の画像を添付するときは、それぞれチェックします。

ご注意

- メールに添付できる画像のみ表示されます。
- 相手が受信したメールに表示される名前は画像の名前ではなく、ファイル名です。
- 送受信するメールに画像などの添付ファイルがある場合、送受信にしばらく時間がかかることがあります。

ちょっと一言

画像は、保存された日付順に、新しいものから表示されます。

4 **［OK］を選ぶ。**

添付画像の表示された「メールの作成」画面に戻ります。

ちょっと一言

複数の画像を添付するときは、最初にチェックした画像が表示されます。

"メモリースティック"内の画像を添付するには

ご注意

1つのメールに添付できる画像は10枚までです。メールの本文と画像の合計サイズが約4MBを超えると送信できません。画像のサイズはアルバムで確認できます。（☞79ページ）

1 「メールの作成」画面を表示する。

2 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［画像添付］**を選んで、**［切換え］**を選ぶ。

「（メモリースティック）画像の選択」画面が表示されます。

3 添付する画像をチェックする。

4 ［OK］を選ぶ。

画像の表示された「メールの作成」画面に戻ります。

添付した画像を確認するには

1 「メールの作成」画面の画像を選ぶ。

画像が拡大表示されます。

2 **［戻る］**を選ぶ。

「メールの作成」画面に戻ります。

複数の添付画像を確認するには

1 「メールの作成」画面の画像を選ぶ。
画像が拡大表示されます。

2 **[次画像]** を選ぶ。
次の画像が表示されます。
[次画像] を選ぶごとに次々と画像が切り換わります。

3 **[戻る]** を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

画像の添付をやめるには

「添付する画像を変更するには」(☞下記)の手順1〜3を行う。

添付する画像を変更するには

ご注意

複数の画像が添付されているときは、1枚ずつ画像を変更することはできません。いったんすべての画像の添付を取り消してから、添付する画像を選び直してください。

1 「メールの作成」画面の画像を選ぶ。
画像が拡大表示されます。

2 画面下部にある **[添付取消]** を選ぶ。
「この画像の添付を取り消します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

3 [OK] を選ぶ。
「メールの作成」画面に戻ります。

4 **[画像添付]** を選んでから、添付する画像を選び直す。

ちょっと一言

複数の画像が添付されているときには、手順3で[OK]を選ぶと、次の画像が表示されます。
[戻る]を選ぶと「メールの作成」画面に戻ります。

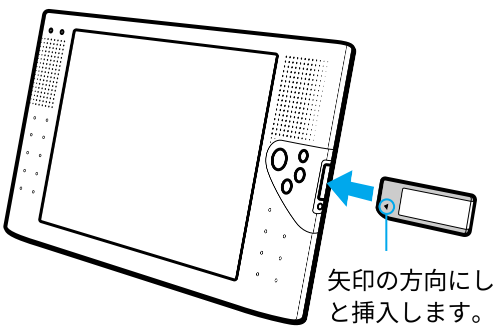
自分専用のメールチャンネル［ミーメール］を使う

［ミーメール］用“メモリースティック”を使うと、自分専用のメールチャンネルとして使えます。
メールの内容が［ミーメール］用“メモリースティック”に保存されるため、“メモリースティック”を抜くと本機にはメールの内容が表示されません。家族の中でメールを使い分けたいときに便利です。

ご注意

［ミーメール］用“メモリースティック”から読み込まれる設定情報は、ミーメールの作成方法により異なります。（☞140ページ）

本機右側面にあるメモリースティックスロットに、［ミーメール］用“メモリースティック”を挿入する。

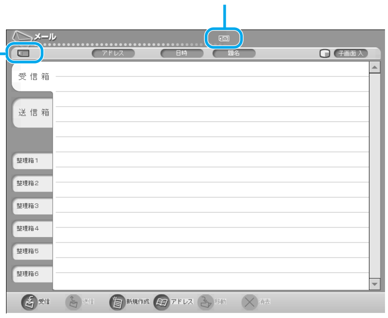


矢印の方向にしっかりと挿入します。

［ミーメール］用“メモリースティック”が画面に表示され、本機の設定が、［ミーメール］を作成したときの内容に切り換わります。

“メモリースティック”の内容を表示していることを示す

［ミーメール］を使っていることを示す



［ミーメール］に切り換わったときのメールの操作については、「メール」（☞60ページ〜75ページ）をご覧ください。

［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するには

［ミーメール］用“メモリースティック”を本機で作成することができます。「［ミーメール］用“メモリースティック”を作成する」（☞140ページ〜142ページ）をご覧ください。

ご注意

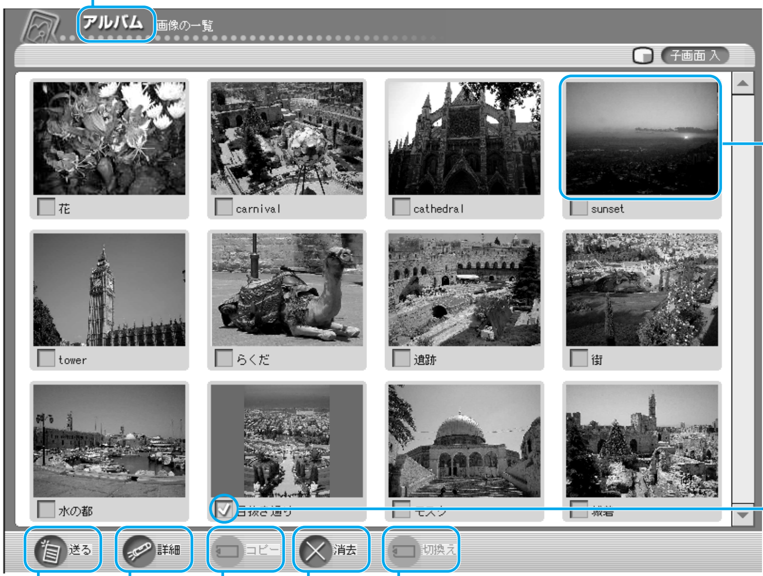
- 以下のとき、［ミーメール］用“メモリースティック”を抜かないでください。
  ーメールの送受信中。
  ーメールの作成や移動中・消去中、およびメールの添付画像を“メモリースティック”から本機にコピーしているとき。
  “メモリースティック”を抜くときは、“メモリースティック”用ランプが消灯してから抜いてください。
- ［ミーメール］でメールを作成したり、送受信したりする場合は、“メモリースティック”の「LOCK」を「記録可能」にしてください。（☞25ページ）
- ［ミーメール］用“メモリースティック”を抜くと、ネットワークやメールの設定が［ミーメール］の設定から本機の設定に切り換わります。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”を入れてインターネットを使用したときの履歴は、本機で表示できます。履歴を残したくないときは、履歴を消去してください。（☞54ページ）
- ［ミーメール］ではメールの自動送受信はできません。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”にメールのセキュリティパスワードは設定できません。［ミーメール］用“メモリースティック”の保管にご注意ください。
- ［ミーメール］の設定をすでにしている“メモリースティック”や、メールデータの入っている整理箱を保存している“メモリースティック”を使って、新たに［ミーメール］を作成すると、先に入っていたメールデータや、［ミーメール］の設定は消えます。［ミーメール］の作成をする前に、使用する“メモリースティック”の内容をもう一度ご確認ください。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に入っている設定情報は、パソコンでコピーできません。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に保存されているメールの内容は、パソコンで見ることができます。

Chapter 6
アルバム

アルバムチャンネルの画面の各部の名前

ここでは、アルバムチャンネルの主なボタンについて説明します。
各ボタンの詳しい使いかたについてはかっこ内のページをご覧ください。

チャンネル名



画像を直接選ぶと画像が拡大表示されます（☞下記）

チェックあり

切換え：本機と“メモリースティック”の画面を切り換えます（☞80ページ）

消去：チェックした画像を消去します（☞80ページ）

コピー：チェックした画像を本機と“メモリースティック”の間でコピーします（☞80、81ページ）

詳細：チェックした画像の名前の変更と拡大表示をします（☞79ページ）

送る：チェックした画像をメールに添付します（☞79ページ）

画像を拡大表示したときの画面



この部分に触れると元の画面に戻ります。

この部分に触れると1つ前の画像に切り換わります。アルバムチャンネルの先頭の画像のときは、最後の画像に切り換わります。

この部分に触れると次の画像に切り換わります。アルバムチャンネルの最後の画像のときは、先頭の画像に切り換わります。

画像の一覧を表示する

アルバムチャンネルで画像の一覧を表示できます。
メールで送られてきた画像もアルバムチャンネルに画像をコピーすることで、一覧表示できます。詳しくは、「メールの画像をアルバムや“メモリースティック”のアルバムにコピーするには」（☞66ページ）をご覧ください。

画像を一覧表示するには

アルバムチャンネルを表示する。

「画像の一覧」画面が表示されます。
画像は、保存された日付順に、新しいものから（左上から）表示されます。



画像を拡大表示するには

ご注意

画像によっては拡大表示に数十秒ほどかかることがあります。拡大表示の途中では、他の操作はできません。

1 「画像の一覧」画面の中から見たい画像を直接選ぶ。
画像が拡大表示されます。

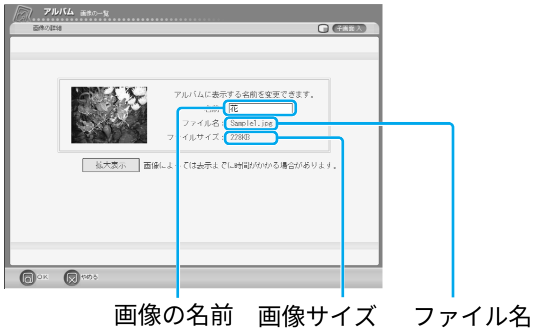
2 拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れる。
「画像の一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

画像をチェックしてから［**詳細**］を選び、［**拡大表示**］を選んでも画像を拡大表示できます。この場合、拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れると「画像の詳細」画面に戻ります。

画像の詳細を表示するには

1 「画像の一覧」画面の中から詳細を表示したい画像をチェックする。
「画像の詳細」画面が表示されます。



2 ［OK］を選ぶ。
「画像の一覧」画面に戻ります。

メールで画像を送るには

1 「画像の一覧」画面の中からメールに添付したい画像をチェックする。
2枚以上の画像を添付するときは、それぞれチェックします。

2 ［**送る**］を選ぶ。
画像が表示された「メールの作成」画面が表示されます。

ご注意

1つのメールに添付できる画像は10枚までです。
メールの本文と画像の合計サイズが約4MBを超えると送信できません。画像のサイズは「画像の詳細」画面で確認できます。

ちょっと一言

- **画像の添付について**
  の付いている画像は添付できません。
- **添付した画像の名前について**
  画像を添付したときに相手のメールに表示される名前は画像の名前ではなくファイル名です。

次のページにつづく

“メモリースティック”の画像を表示するには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、**［切換え］**を選ぶ。
「　画像の一覧」画面が表示されます。

2 見たい画像を直接選ぶ。
画像が拡大表示されます。
拡大された画像の左右下隅以外の部分に触れると「画像の一覧」画面に戻ります。

ちょっと一言

- パソコンで作成した画像を本機のアルバムで表示する場合、画像を“メモリースティック”内の以下のフォルダにコピーしてください。

  ［Mssony］→［Airboard］→［Picture］→［画像ファイル］

- “メモリースティック”内に上記フォルダが存在しないときは、パソコンで上記フォルダを作成するか、本機に“メモリースティック”を一度挿入すると自動的にフォルダが作成されます。
- 本機のアルバムの画像をパソコンで確認するときも、上記フォルダを参照してください。

ご注意

- デジタルスチルカメラDSC-S70/50/30などのEメールモードで撮影した画像を本機のアルバムチャンネルで表示すると、同じ画像が2つ表示されますが、これらの画像を拡大表示すると異なった大きさで表示されます。このとき、大きい画像を消去すると、“メモリースティック”をデジタルスチルカメラに戻したときに画像が表示されなくなりますのでご注意ください。
- ファイル名に全角の文字が使われている画像をパソコンから“メモリースティック”にコピーした場合、その画像は本機のアルバムチャンネルでは表示できないことがあります。
- 本機では（社）日本電子工業振興会の規格（Design rule for Camera File system）で記録された画像を表示できますが、この規格に対応していないデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV900やデジタルスチルカメラDCF-D700/D770などで記録された画像は表示できないことがあります。

画像に名前を付けるには

1 「画像の一覧」画面の中から名前を付けたい画像をチェックしてから**［詳細］**を選ぶ。
「画像の詳細」画面が表示されます。

2 「名前」の横の空欄を選んで、キーボードを使って名前を入力する。
入力について詳しくは、「文字入力（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。

3 ［OK］を選ぶ。

ご注意

- 画像の名前は1つずつ付けられます。
- 画像の名前を変更してもファイル名は変更されません。
- **添付した画像の名前について**
  画像を添付したときに相手のメールに表示される名前は画像の名前ではなくファイル名です。

画像を消去するには

1 「画像の一覧」画面の中から消去したい画像をチェックする。

2 **［消去］**を選ぶ。

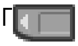
本機のアルバムに保存されている画像を“メモリースティック”のアルバムにコピーするには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、「画像の一覧」画面の中からコピーしたい画像をチェックする。

2 **［コピー］**を選ぶ。
［切換え］を選んで「　画像の一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。
コピーした画像は左上に表示されます。

“メモリースティック”の画像を本機にコピーするには

1 本機に“メモリースティック”を挿入し、**[切換え]** を選ぶ。

「 画像の一覧」画面が表示されます。

2 コピーしたい画像をチェックする。

3 **[コピー]** を選ぶ。

[切換え] を選んで「画像の一覧」画面を表示し、コピーを確認できます。

コピーした画像は左上に表示されます。

ちょっと一言

同じファイル名の画像がすでにある場合はファイル名に「^」と「数字」が付きます。

Chapter 7
文字入力

画面上のキーボードの使いかた

画面上にキーボードを表示するには

画面上で文字入力欄を選びます。
画面上にキーボードが表示されます。

画面上のキーボードを消すには

キーボード右下の**［入力終了］**またはキーボードや文字入力欄以外のところを選びます。
画面上のキーボードが消えます。

文字入力

文字を入力できる位置に「**I**」が表示されます。文章の途中や文字を入力したい位置を直接選んで、文字入力の開始位置「**I**」を移動できます。

ちょっと一言

- キーボードのキーを押し続けると、文字を続けて入力できます。
- 文字入力の開始位置「**I**」は、文字の色が黒いときに移動できます。

かな入力

1文字につき1つのキーを選びます。キーボードの左上から、1行目「あ行」、2行目「か行」、右側の5行目「わ行」と五十音順に続きます。
全角で入力されます。

ちょっと一言

全角と半角について

本機では全角と半角の2種類の文字を入力できます。半角文字は全角文字を横方向に半分の大きさにした文字です。

全角文字	半角文字
A	A

全角で入力できる文字

漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号

半角で入力できる文字

アルファベット、数字、記号

ローマ字入力

アルファベットを組み合わせてローマ字で日本語を入力します。1文字入力するために2つ以上のキーを組み合わせます。小文字や濁点・半濁点の入力のしかたなどは174ページの「ローマ字対照表」をご覧ください。

学習機能

本機には学習機能があり、よく選ばれる単語は予測候補の一覧の最初（左側）に表示されるようになります。

ご注意

予測変換のときのみ、よく選ばれる単語は一覧の最初に表示されます。連文節変換のときは一覧表示されませんが、変換候補の最初に表示されます。

文字の色について

文字入力時、文字の色は青です。予測候補一覧や漢字候補一覧から選んだり、**［確定］**を選ぶと文字の色は黒になります。

全選択

入力した文字をすべて削除したり、すべてコピーしたりしたいときは、キーボード右下の**［全選択］**を選びます。文字入力欄のすべての文字が反転します。

ちょっと一言

全選択を解除するには、文字入力欄に触れるか、キーボードの矢印キー（←/↑/→/↓）を選びます。

予測入力（POBox）機能について

本機のキーボードには予測入力機能があります。この予測入力機能とは、入力した単語から予測される次の単語を一覧表示したり、単語から文脈を予測していく機能であり、キーボードを打つ回数が減り便利です。

予測入力機能を使わずに文字を入力したいときは本機の設定変更が必要です。詳しくは、152ページをご覧ください。

予測候補一覧の使いかたは2通りあり、組み合わせて使うと便利です。

❶ 単語の最初の1文字を入力すると、その文字で始まる単語が予測候補一覧に表示されます。

❷ 予測候補一覧から1度単語を選ぶと、その単語から予測される次の単語を予測候補一覧に表示されます。

ご注意

予測入力機能はかな入力とローマ字入力のときのみ使えます。

例として「富士山に登った」と入力してみます。

1 「ふ」を入力する。

↓

2 「富士山」「分」「部」などが予測候補一覧に表示される。

富士山 | 分 | 部

「ふ」から始まる単語が表示されます。

↓

3 予測候補一覧の中から「富士山」を選ぶ。

「富士山」がすぐに見つからない場合でも、さらに「し」を入力すると予測候補一覧が絞られて「富士山」と表示される確率が高くなります。

↓

4 「は」「の」「に」「を」「が」などが予測候補一覧に表示される。

は | の | に | を | が

「富士山」に続くであろうと予測される単語が予測候補一覧に表示されます。

↓

5 「に」を選ぶ。

↓

6 「関して」「対する」「ついて」などが予測候補一覧に表示される。

関して | 対する | ついて

「に」に続くであろうと予測される単語が予測候補一覧に表示されます。

↓

7 「登った」を選ぶ。

「登った」がすぐに見つからない場合でも、順に「の」、「ほ」、「つ」、「た」と入力すると予測候補一覧に表示される確率が高くなります。

ここでは、予測入力機能を使って入力する方法を説明します。
文字は、**[空白]** を選んだときは半角で、それ以外のときはすべて全角で表示されます。

かな入力で文字を入力する

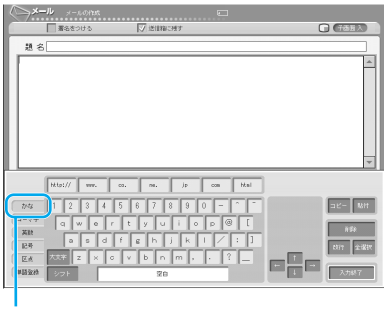


ご注意

- **[カタカナ]** や **[小文字]**、["/°] は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- [←] / [↑] / [→] / [↓] は、入力した文字の変換を確定した後にのみ働きます。
- **[空白]** を1回選ぶと半角スペースが入力されるので、ホームページで名前を入力するのに姓と名の間に全角スペースを空けるように指示があるときなどは、記号キーボードに切り換え、記号の表示されてない場所を選んで全角スペースを入力してください。（☞95ページ）
- メールアドレスなど半角の英数字（記号などを含む）を入力したい場合は、**[英数]** を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。

例として「プレゼントをありがとう(^o^)／」を入力してみます。

1 かな を選ぶ。



かな

かなキーボードが表示されます。

2 キーボード上部の予測候補一覧に「プレゼント」が表示されるまで、順に ふ 、 れ 、 せ 、 ん 、 と を選ぶ。

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

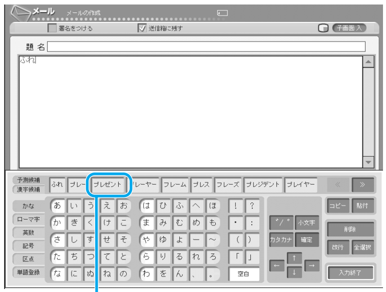
ちょっと一言

［ふ］を選ぶと、予測候補には「ふ」のほか、「ぷ」、「ぶ」、「フ」、「プ」、「ブ」が表示されます。したがって、「ふ」を「プ」に変えなくても、「ふれせんと」と選んでいくと「プレゼント」という予測候補が表示されます。

予測候補の絞り込み例

- 「ふ」を入力したときの予測候補例：
  「ふ」「部」「二人」「フランス」
- 「ふれ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれ」「プレーヤー」
- 「ふれせ」を入力したときの予測候補例：
  「ふれせ」「プレゼント」

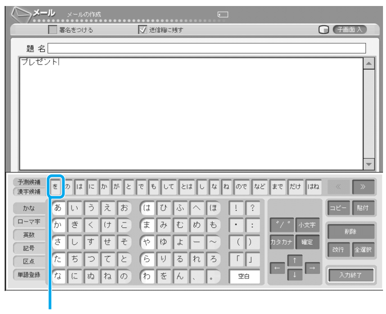
3 プレゼント を予測候補一覧から選ぶ。



プレゼント

黒字で「プレゼント」が入力されます。

4 予測候補一覧の中に目的の を があれば選ぶ。



を

なければ、キーボードの［を］と［確定］を選びます。

黒字で「を」が入力されます。

ちょっと一言

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

次のページにつづく

5 予測候補一覧の中に目的の ありがとう があれば選ぶ。



なければ、順にキーボードの**［あ］**、**［り］**、**［か］**、**［と］**、**［う］**を選び、予測候補一覧に「ありがとう」が表示されたら選びます。

黒字で「ありがとう」が入力されます。

6 「(^o^)／」を入力するために か 、お 、え 、み を選ぶ。

予測候補一覧に顔文字が表示されます。

7 (^o^)／ を選ぶ。



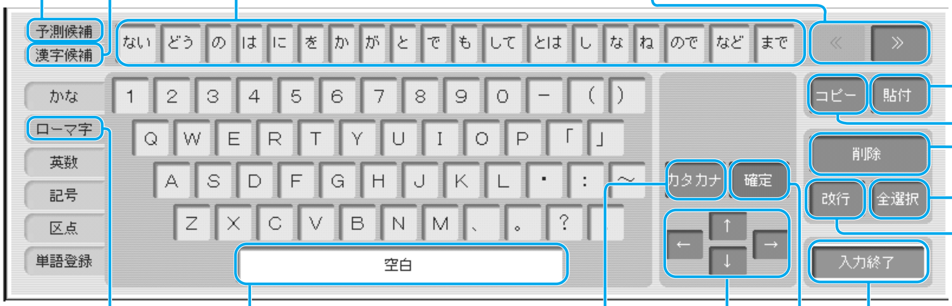
黒字で「(^o^)／」が入力されます。

顔文字辞書

- 「かおえみ」を入力したときの予測候補：「(^o^)／」、「(^_^)」、「(^。^)」…
- 「かおこまり」を入力したときの予測候補：「(>__<)」、「(・・:)」、「(^_^;)」…
- 「かおむひょうじょう」を入力したときの予測候補：「(-.-)」、「(・_・)」「(°_°)」…
- 「かおおどろき」を入力したときの予測候補：「(・o・)」、「(° 0 °)」、「(@__@)」
- 「かおあいさつ」を入力したときの予測候補：「(＾.＾) ／~~~」、「m (_ _) m」、「< (_ _) >」…

ローマ字キーボードや英数キーボード（大文字/小文字）を使って、**［(］**、**［^］**、**［>］**などを選んで入力することもできます。

ローマ字入力で文字を入力する



ご注意

- **［カタカナ］**は、入力した文字の変換を確定する前（文字の色が青のとき）にのみ働きます。
- **［空白］**を1回選ぶと半角スペースが入力されるので、ホームページなどで名前を入力するのに姓と名の間に全角スペースを空けるように指示があるときは、記号キーボードに切り換え、記号の表示されていない場所を選んで全角スペースを入力してください。（☞95ページ）
- メールアドレスなど半角の英数字（記号などを含む）を入力したい場合は、**［英数］**を選び、キーボードを切り換えてから入力してください。
- 全角の英字を入力したい場合は、**［記号］**を選び、**［各国の文字］**を選んで入力してください。

次のページにつづく

例として「ラッキーな一日だったね(^_^)」を入力してみます。
小文字や濁点・半濁点の入力のしかたなどは174ページの「ローマ字対照表」をご覧ください。

1 [ローマ字] を選ぶ。



ローマ字

ローマ字キーボードが表示されます。

2 キーボード上部の予測候補一覧に「ラッキー」が表示されるまで、順に [R]、[A]、[K]、[K]、[I]、[ー] を選ぶ。

選んだ文字が入力欄に青字で表示され、キーボード上部に予測候補が表示されます。

1文字追加するごとに予測候補一覧に表示される単語が絞られます。キーボードのキーを選んでいく途中でも、予測候補一覧に目的の語が表示されたら、その語を選んで入力できます。

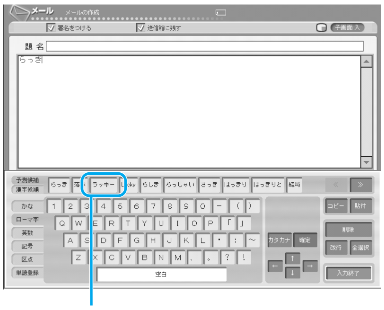
ちょっと一言

- ら行は［R］＋母音（[A]［I]［U]［E]［O]）を選びます。
- 小文字の「っ」は次の子音を2つ重ねて選ぶと入力できます。

予測候補の絞り込み例

- 「RA」を入力したときの予測候補：
「ら」「Love」「来週」...
- 「RAKK」を入力したときの予測候補：
「らkk」「楽」「ラップ」...
- 「RAKKI-」を入力したときの予測候補：
「らっきー」「ラッキー」...

3 [ラッキー] を予測候補一覧から選ぶ。



ラッキー

黒字で「ラッキー」が入力されます。

4 予測候補一覧の中に目的の [な] があれば選ぶ。



な

なければ、キーボードの［N]、[A]、**[確定]** を選びます。

黒字で「な」が入力されます。

ちょっと一言

助詞などは、キーボードから選ばなくても予測候補一覧に表示されます。
例：「の」「は」「に」「を」「が」「だけ」「まで」

5 予測候補一覧の中に目的の 一日 があれば選ぶ。



一日

なければ、順にキーボードの [I]、[T]、[I]、[N]、[I]、[T]、[I] を選び、予測候補一覧に「一日」が表示されたら選びます。

黒字で「一日」が入力されます。

6 予測候補一覧の中に目的の だったね があれば選ぶ。



だったね

なければ、順にキーボードの [D]、[A]、[T]、[T]、[A]、[N]、[E] を選び、予測候補一覧に「だったね」が表示されたら選びます。

黒字で「だったね」が入力されます。

ちょっと一言

キーボードの [D]、[A]、[T]、[T]、[A]、[N]、[E] を選んでいく途中で、予測候補一覧に「だった」が表示されたら選び、[N]、[E] と選んで少ない手順で入力することもできます。

7 「(^_^)」を入力するために か 、お 、え 、み を選ぶ。

予測候補一覧に顔文字が表示されます。

8 (^_^) を選ぶ。



(^_^)

黒字で「(^_^)」が入力されます。

顔文字辞書

- 「かおえみ」を入力したときの予測候補：「(^o^)／ 」、「(^_^)」、「(^。^)」…
- 「かおこまり」を入力したときの予測候補：「(>__<)」、「(・・:)」、「(^_^;)」…
- 「かおむひょうじょう」を入力したときの予測候補：「(-.-)」、「(・_・)」「(°_°)」…
- 「かおおどろき」を入力したときの予測候補：「(・o・)」、「(° 0 °)」、「(@__@)」
- 「かおあいさつ」を入力したときの予測候補：「(^ . ^) ／~~~」、「m (_ _) m」、「< (_ _) >」…

ローマ字キーボードや英数キーボード（大文字/小文字）を使って、[(]、[^]、[>] などを選んで入力することもできます。

入力した文字を変換する

ここでは、予測候補から選ばずに読みと一致した単語や漢字などに変換する方法を説明します。

漢字に変換する

例として「こういち」を漢字に変換してみます。

1 **「こういち」と入力します。**

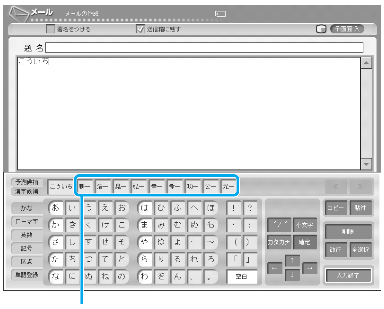
2 **漢字候補 を選ぶ。**



漢字候補

「こういち」の漢字候補一覧が表示されます。

3 **漢字候補一覧から選ぶ。**



漢字候補一覧

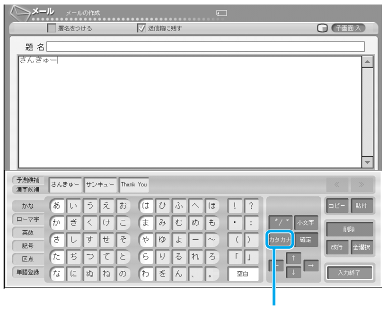
選んだ漢字が黒字で入力されます。

カタカナに変換する

例として「さんきゅー」をカタカナに変換してみます。

1 **「さんきゅー」と入力します。**

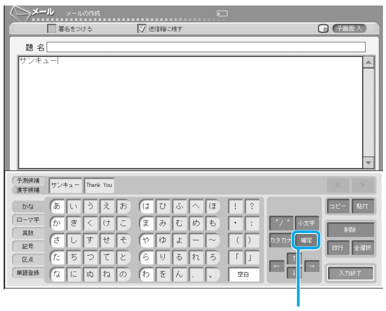
2 **カタカナ を選ぶ。**



カタカナ

青字で「サンキュー」が入力されます。

3 **確定 を選ぶ。**



確定

黒字で「サンキュー」が入力されます。

ひらがなに戻したいときは

手順3でカタカナへの変換を確定する前（青字で表示されているとき）に、**[カタカナ]** を選ぶ。もう1度 **[カタカナ]** を選ぶとひらがなになります。1度カタカナに確定された文字（画面上で黒く表示される文字）は **[カタカナ]** を選んでもひらがなに戻せません。

英数字を入力する

ここでは、英数字の入力のしかたを説明します。文字はすべて半角で表示されます。

英数：小文字キーボードを表示します

http:// 、www.：ホームページのアドレスを入力するときに使います

co.、ne.、jp、com：ホームページのアドレスを入力するときに使います

html：ホームページのアドレスを入力するときに使います

コピー：文字をコピーします（☞98ページ）



貼付：コピーした文字を貼り付けます（☞98ページ）

削除：「I」の前の文字を削除します（☞97ページ）

全選択：文字入力欄のすべての文字を選びます

改行：改行します

入力終了：キーボードを消します

←/↑/→/↓：入力位置を移動します

空白：半角スペースを挿入します

シフト：大文字キーボードを表示し、1文字選んだ後は、小文字キーボードを表示します

大文字：大文字キーボードを表示します

例として、「Number 1」と入力してみます。

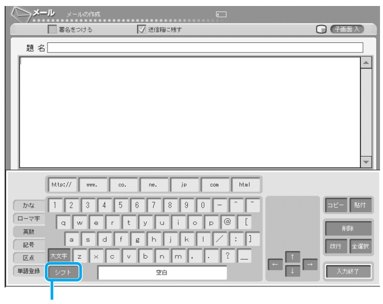
1  を選ぶ。



英数

「英数キーボード」が表示されます。

2  を選ぶ。

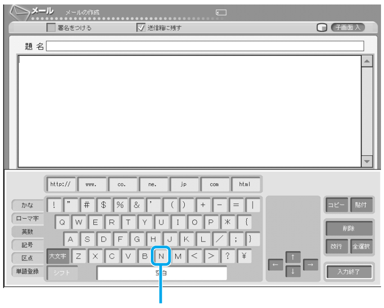


シフト

「大文字キーボード」が表示されます。

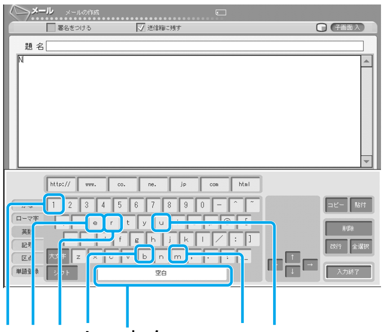
次のページにつづく

3 N を選ぶ。



「N」が入力され、「小文字キーボード」に戻ります。

4 順に u 、 m 、 b 、 e 、 r 、 空白 、 1 を選ぶ。



「umber 1」が入力されます。

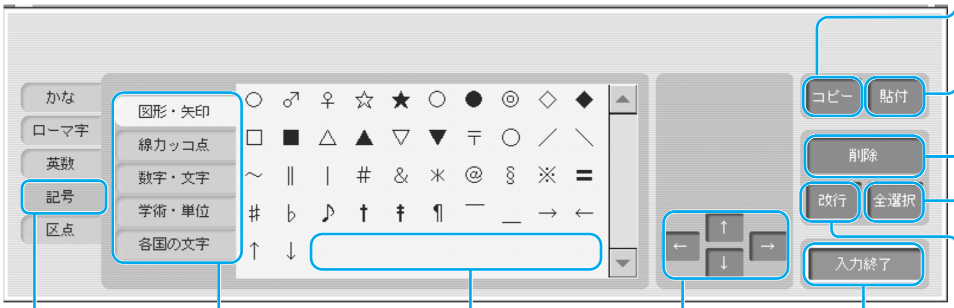
大文字の入力について

大文字を入力するには2通りあります。

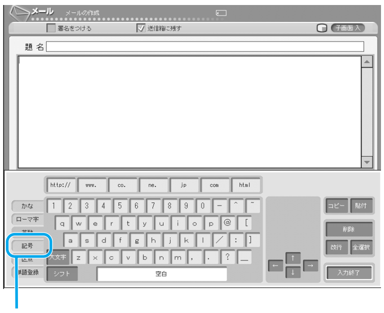
- **［シフト］を選んだ場合：**1度「大文字キーボード」が表示され、1文字選んだ後は「小文字キーボード」に戻ります。単語の冒頭の大文字を入力するときに便利です。
- **［大文字］を選んだ場合：**「大文字キーボード」が表示されます。もう1度［**大文字**］を選ぶと「小文字キーボード」になります。大文字を2つ以上入力するときに使います。

記号を入力する

ここでは、記号の入力のしかたを説明します。記号はすべて全角で表示されます。



1　キーボードの 記号 を選ぶ。



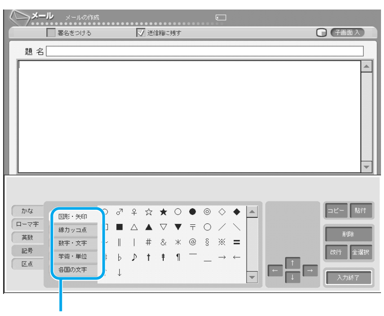
記号

「記号キーボード」が表示されます。

2　記号キーボードを選ぶ。

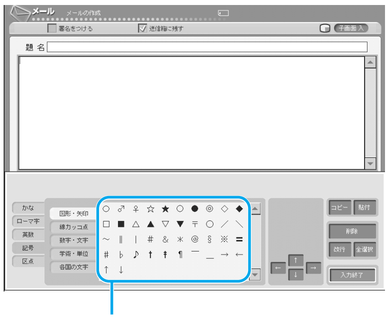
「記号キーボード」は5種類あります。

－図形・矢印（○、★、〒、△など）
－線カッコ点（[、]、；、”など）
－数字・文字（3、々など）
－学術・単位（%、℃、±、√など）
－各国の文字（B、α、Ω、Жなど）



記号キーボード

3　記号を入力する。



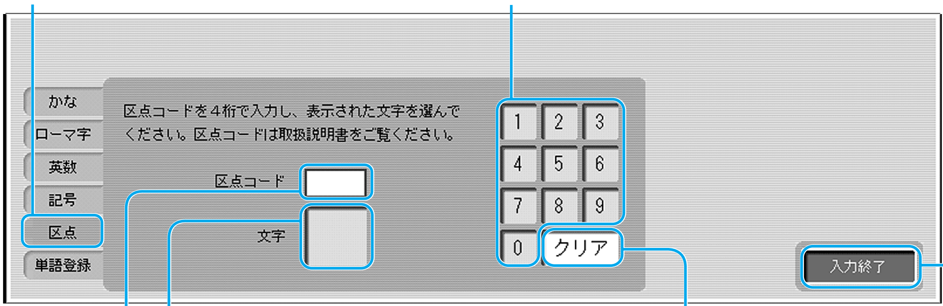
ここから選びます。

ちょっと一言

記号キーボードの記号が表示されていない場所を選ぶと、全角スペースが入力されます。

難しい漢字や旧字体を入力する（区点コード入力）

入力する文字の読みかたが分からない場合や本機で漢字変換できない場合は区点コードを使って入力できます。区点コードは、「区点コード表」（☞176ページ）をご覧ください。



例として「棐」を入力してみます。

1 キーボードの 区点 を選ぶ。



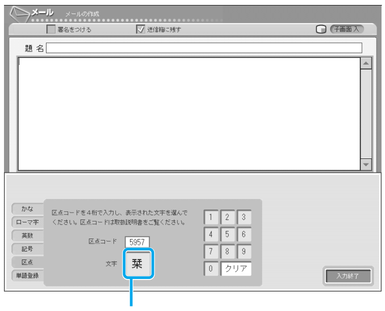
「区点キーボード」が表示されます。

2 数字ボタンを使って区点コード番号を入力する。

「区点コード」の空欄に4桁の数字を入力します（例：5957）。
区点コードは「区点コード表」（☞176ページ）をご覧ください。



3 「文字」に漢字が表示されたら、選ぶ。



漢字が入力されます。

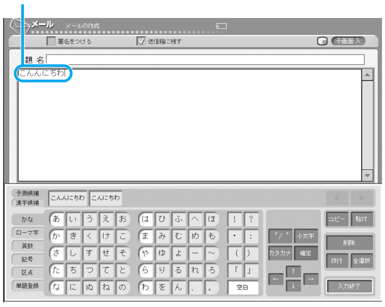
区点コードを間違って入力したときは

[クリア] を選ぶ。
また、4桁入力した後に、数字ボタンを選んでも最初から入力できます。

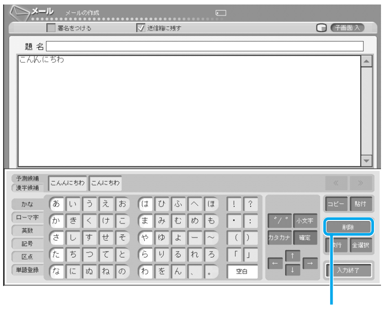
文字を削除する

1 ［←］、［→］、［↑］、［↓］を使うか、直接画面に触れて、削除したい文字の右側に「I」を置く。

削除したい文字の
右側を選びます。



2 ［削除］を選ぶ。



削除

文字が削除されます。

ちょっと一言

続けて文字を消したいときは［**削除**］を押し続けます。

1度に複数の文字を削除したいときは

削除したい文字をすべてタッチペンでなぞって反転してから［**削除**］を選ぶ。
黒字で表示されているときのみ1度に複数の文字を削除できます。

1度にすべての文字を削除したいときは

[**全選択**]を選んで文字入力欄のすべての文字を反転してから[**削除**]を選ぶ。

文字を削除すると同時に文字を入力するには

削除したい文字をすべて反転してから、次に入力したい文字を入力する。

例：「今週末キャンプに行きます」を「今週末山登りに行きます」に変更する

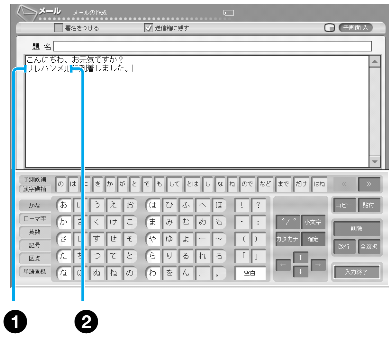
→「キャンプ」を反転してから「山登り」を入力する。
「キャンプ」が削除されると同時に「山登り」が入力されます。

文章をコピーして他の場所に貼り付ける

ここでは、文章をコピーして、他の場所に貼り付ける方法を説明します。似た文章や同じ文章をくり返し入力する必要がなく便利です。
単語だけでなく、文章ごとコピーして貼り付けられます。

1 コピーしたい単語または文章をすべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。



ちょっと一言

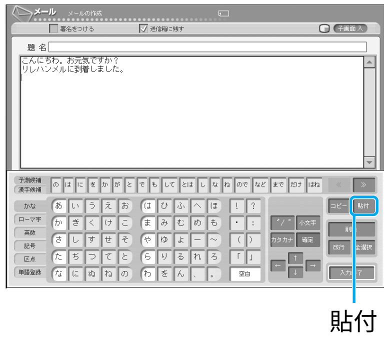
文字入力欄のすべての文字をコピーしたいときは[**全選択**]を選びます。すべての文字が反転します。

2 コピー を選ぶ。



3 貼り付けたい位置に「I」を置く。

4 貼付 を選ぶ。



単語または文章が貼り付けられます。

ご注意

コピーした文字列を貼り付け先の入力欄に表示しきれないときは、文字の最後しか表示されないときがあります。キーボードの［←］を押すと、貼り付けられた文字を確認できます。

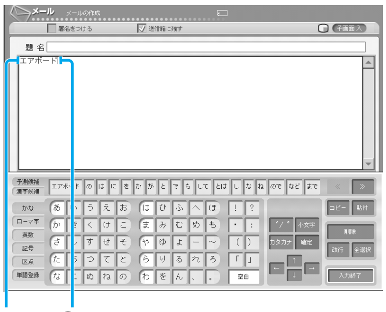
単語を登録する

ここでは単語を予測入力機能の辞書に登録する方法を説明します。単語登録は予測入力機能を使用しているときにできます。

1 キーボードを表示する。

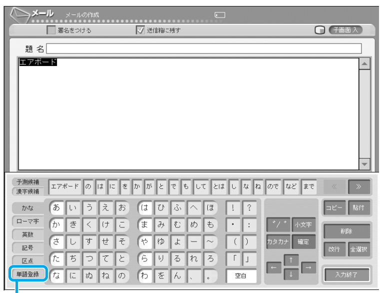
2 登録したい単語をすべてタッチペンでなぞって反転する。

❶から❷までをなぞります。



❶ ❷

3 単語登録 を選ぶ。

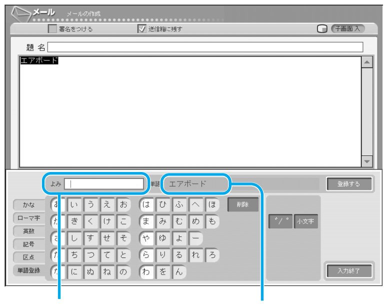


単語登録

キーボード上部に単語が表示されます。

4 登録する単語の読みを入力する。

キーボードを使って「よみ」の横の入力欄にひらがなで入力します。

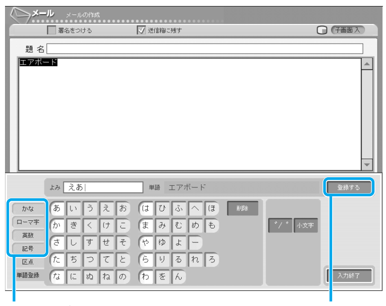


ここに入力します。

登録する単語が表示されます。

読みが入力されます。

5 登録する を選ぶ。



キーボード（かな、ローマ字、英数、記号）

登録する

単語が登録されます。

ご注意

- **[登録する]** を選ぶ前にキーボード一覧から好みのキーボード（かな、ローマ字、英数、記号）を選ぶと単語登録は中止されます。
- 登録したい単語を反転させてから **[単語登録]** を選ばないと登録できません。

設定画面を使って単語を登録するには

1 「インデックス」画面を表示する。
2 **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。
3 **［文字入力］**を選ぶ。
「設定 文字入力」画面が表示されます。
4 **［単語登録］**を選ぶ。
「設定 単語登録」画面が表示されます。
5 **［新規作成］**を選ぶ。
「単語の登録・編集」画面が表示されます。
6 読み入力欄に登録する単語の読みを入力する。
「よみ」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってひらがなで入力します。
7 単語入力欄に登録する単語を入力する。
「単語」の横の空欄を選んで、キーボードを使って単語を入力します。
入力が終了したらキーボードを消します。
8 ［OK］を選ぶ。

登録した単語やその読みを変更するには

1 「設定画面を使って単語を登録するには」の手順1〜4を行う。
2 単語を直接選ぶか、単語をチェックしてから**［編集］**を選ぶ。
「単語の登録・編集」画面が表示されます。
3 単語やその読みを変更する。
4 ［OK］を選ぶ。

登録した単語を消去するには

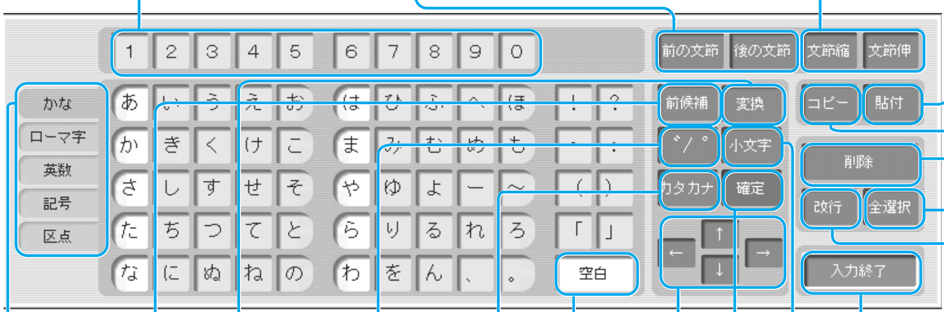
1 「設定画面を使って単語を登録するには」の手順1〜4を行う。
2 消去したい単語をチェックする。
3 **［消去］**を選ぶ。

その他の入力方法で入力する

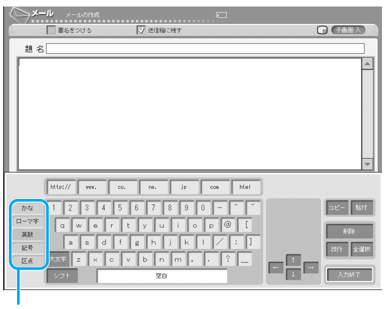
ここでは、本機の予測入力機能を使わない入力方法を説明します。

予測入力を使わずに入力する

予測入力機能を使わないときは、連文節変換機能を使います。
キーボードの連文節変換機能に設定しておいてください。（「キーボードの設定を変更する」（☞152ページ）参照）



1 キーボードを選ぶ。



キーボードを選びます。

選んだキーボードが表示されます。

2 入力する。

次のページをご覧になって入力してください。

次のページにつづく

文字入力

ひらがなのままにするには

［確定］を選ぶ。

漢字に変換するには

正しい漢字が表示されるまで**［変換］**をくり返し選んでから**［確定］**を選ぶ。
1つ前の変換候補を表示したいときは**［前候補］**を選びます。

カタカナに変換するには

［カタカナ］を選んでから**［確定］**を選ぶ。
詳しくは、「カタカナに変換する」（☞92ページ）をご覧ください。

小文字に変換するには

［小文字］を選んでから**［確定］**を選ぶ。

文節を変更するには

長い文章を1度に変換したとき、希望通りの文節で区切られない場合があります。このような場合、文節の区切りを変更できます。
例として「今朝は医者にいきました。」と変換された文章を「今朝歯医者に行きました。」に変更してみます。

1. ひらがなで「けさはいしゃにいきました。」と入力する。
2. **［変換］**を選ぶ。
   「**今朝は**医者にいきました。」が表示されます。
3. **［文節縮］**を1回選ぶ。
   「**今朝**歯医者にいきました。」が表示されます。
4. **［後の文節］**を2回選ぶ。
   「今朝歯医者に**いきました。**」が表示されます。
5. **［変換］**を選ぶ。
   「今朝歯医者に**行きました。**」が表示されます。

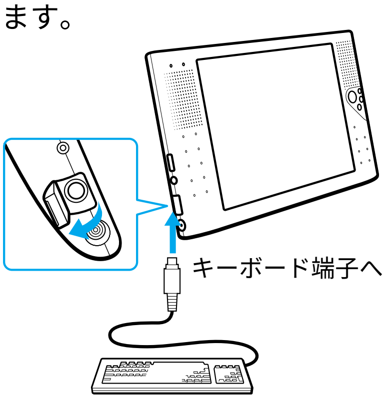
－**［前の文節］**＝1つ前の文節に移動します。
－**［後の文節］**＝1つ後の文節に移動します。
－**［文節縮］**＝文節を短くします。
－**［文節伸］**＝文節を長くします。

市販のキーボードで文字を入力する

本機左側面にあるキーボード端子（PS/2端子）に市販のパソコン用キーボードをつなぎ、文字を入力できます。市販のキーボードをつないだときも画面上のキーボードは使えます。一部のキーボードでは機能が使えない場合があります。

1 キーボードをつなぐ。

モニター左側面にある**［キーボード端子］**に市販のキーボードをつなぎます。



2 キーボードの設定を変更する。

キーボードの設定画面で、「連文節変換」を選ぶ。（「キーボードの設定を変更する」（☞152ページ））

ご注意

市販のキーボードを使う場合、本機の予測入力機能は使えません。キーボードの設定画面で「予測変換」が選ばれているときは、市販のキーボードは使えません。

文字を入力するには

市販のキーボードを使って入力します。入力欄を移動するときは移動先の文字入力欄に触れてください。
入力のしかたについて詳しくは、つないだキーボードの取扱説明書をご覧ください。

画面上のキーボードを消したいときは

1 「インデックス」画面を表示する。

2 **［設定］**を選ぶ。
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **［文字入力］**を選ぶ。
「設定 文字入力」画面が表示されます。

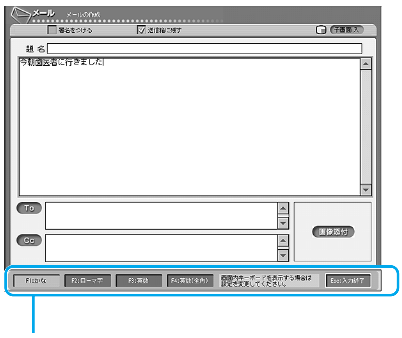
4 **［キーボード］**を選ぶ。
「キーボード」画面が表示されます。

5 「連文節変換」がチェックされているか確認してから、「画面内キーボードを使用しない」をチェックする。

6 ［OK］を選ぶ。

文字を入力するときは、画面の文字入力欄を選びます。

画面上のキーボードを消しているときは下の画面が表示されます。



市販キーボード用画面

次のページにつづく

市販のキーボードまたは画面のキーを選んで、キーの働きを変更します。なお、画面上のキーボードを併用しているときは市販のキーボードのF4は使えません。

市販のキーボードのキー	画面のキー	キーの働き
F1	かな	かなを入力する。
F2	ローマ字	ローマ字を入力する。
F3	英数	半角の英数字を入力する。
F4	英数（全角）	全角の英数字を入力する。
F6	－	入力した変換前の文字をひらがなにする。
F7	－	入力した変換前の文字をカタカナにする。
Esc	入力終了	この画面を消す。

ちょっと一言

市販のキーボードの以下のキーも使えます。

市販のキーボードのキー	キーの働き
半角/全角	英数入力モードで全角と半角を切り換える。
Alt＋カタカナ ひらがな	かな入力とローマ字入力を切り換える。
Ctrl＋半角/全角	英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。
Alt＋半角/全角	英数入力とかな入力またはローマ字入力を切り換える。
Tab	入力終了
Ctrl＋A	全選択
Ctrl＋X	カット
Ctrl＋C	コピー
Ctrl＋V	ペースト
Shift＋←/↑/→/↓	反転

ご注意

- 市販のキーボードを使っているときはタブ（Tab）キーによる入力欄の移動はできません。
- 文字を変換した後にBack Spaceキーを押しても、変換する前の状態には戻りません。

Chapter 8
本機の接続と準備

接続と設定の早わかり

テレビ・インターネット・メールの機能を使うための接続と設定を説明します。
次の手順に従って接続と設定をしてください。

本機の接続

準備1：付属品を確かめる（☞107ページ）

準備2：テレビアンテナをつなぐ（☞108ページ）

準備3：イーサネットケーブルをつなぐ（☞109ページ）

準備4：電源をつなぐ（☞112ページ）

本機の設定

設定画面の使いかたが分からない場合は、設定をする前に、「設定画面の表示のしかた」をご覧ください。

準備5：テレビチャンネルを設定する（☞118ページ）

準備6：日時を設定する（☞128ページ）

準備7：ネットワークの設定をする（☞129ページ）

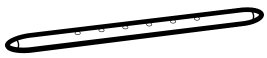
準備8：インターネットの設定をする（☞136ページ）

準備9：メールの設定をする（☞138ページ）

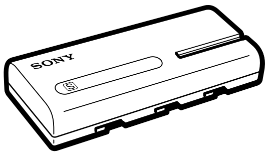
準備1：付属品を確かめる

以下の付属品がそろっているか確認してください。

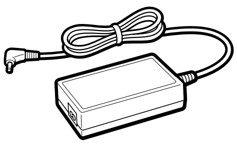
- **タッチペン**（1）



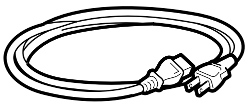
- **バッテリー**（1）



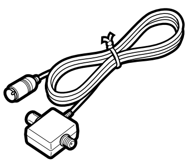
- AC**パワーアダプター（ベースステーション用）**（1）



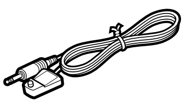
- **電源コード（ベースステーション用）**（1）



- **アンテナ分配器**（1）

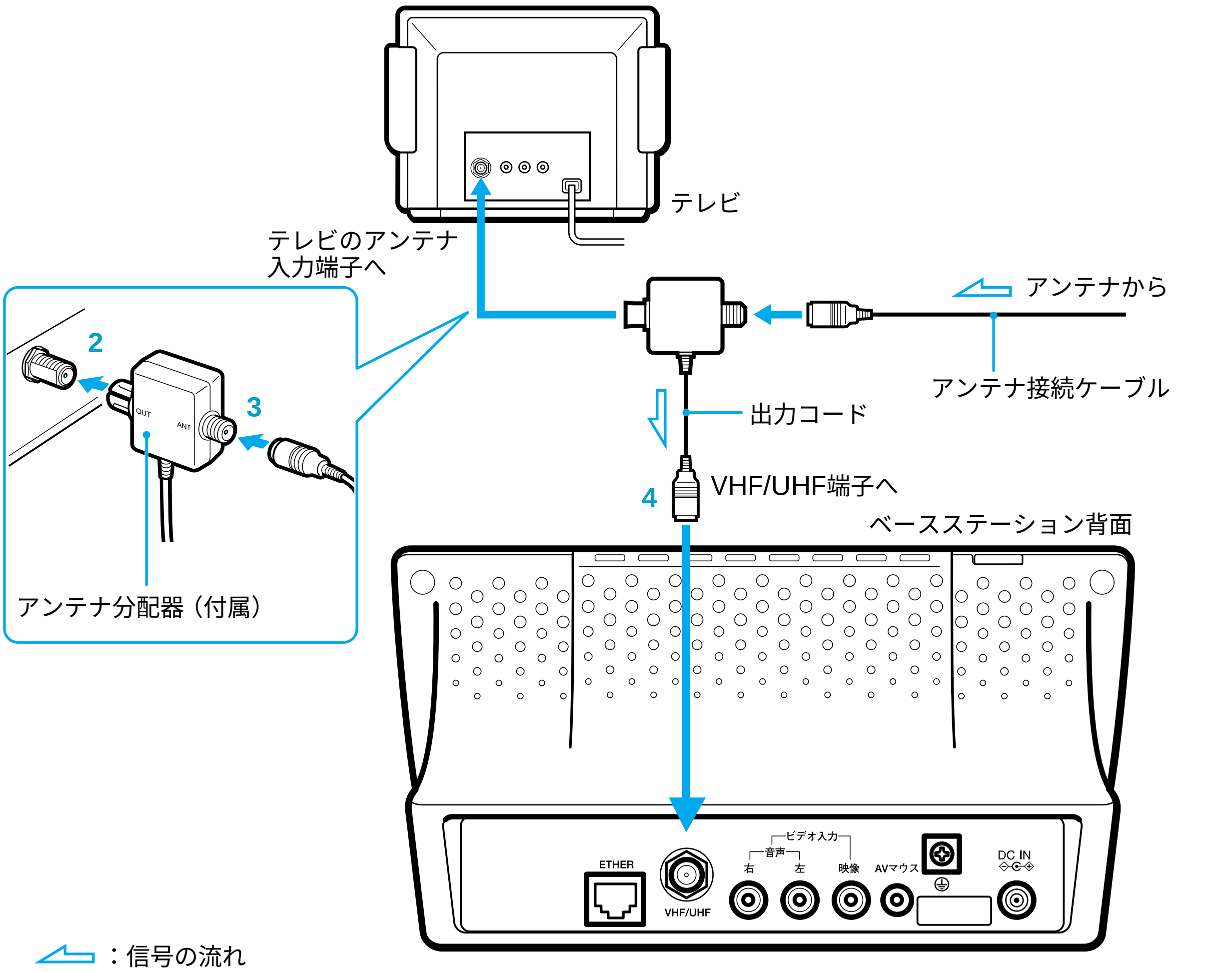


- AV**マウス**（1）



- **クリーニングクロス**（1）
- **取扱説明書**（1）
- **保証書**（1）
- **「ご使用上のご注意」シール**
  シールはよく見える場所に貼ってください。

準備2：テレビアンテナをつなぐ



1 テレビの電源を切り、アンテナ接続ケーブルをテレビのアンテナ入力端子から取りはずす。

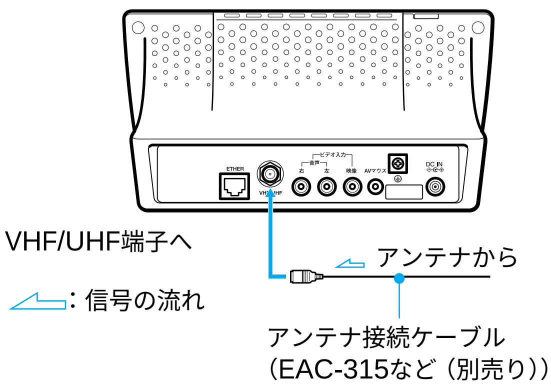
2 テレビのアンテナ入力端子に、付属のアンテナ分配器のOUT側を取り付ける。

3 アンテナ分配器のANT側に手順1でテレビから取りはずしたアンテナ接続ケーブルを取り付ける。

4 ベースステーションのVHF/UHF端子にアンテナ分配器の出力コードを取り付ける。

本機のみ使用する場合は

アンテナ接続ケーブル（EAC-315など（別売り））が必要です。



ケーブルテレビをつなぐ場合は

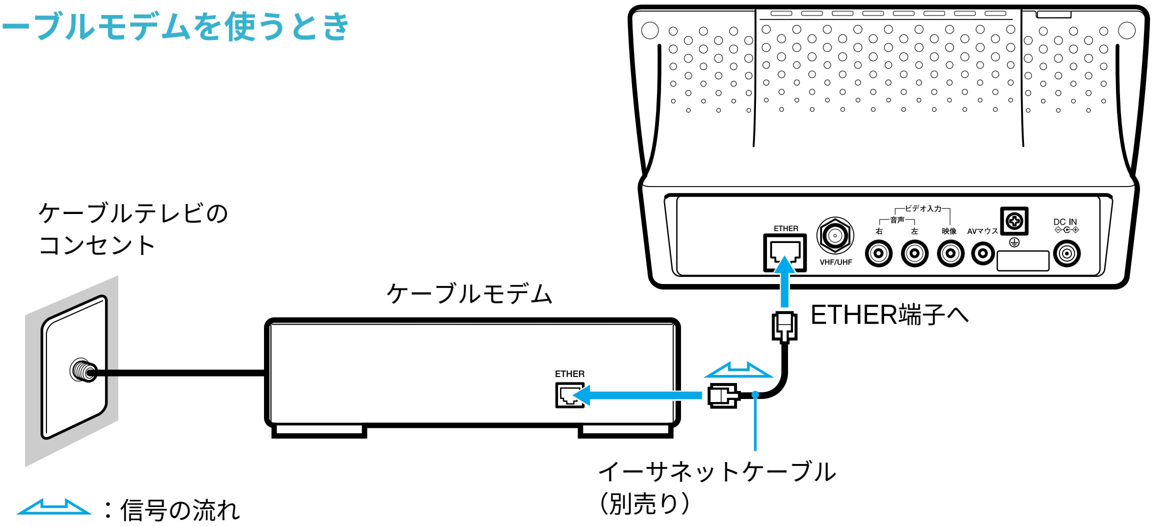
ケーブルテレビの方式により、接続や準備の方法が異なります。ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
本機でケーブルテレビをご覧になるときは、本機の外部入力にケーブルテレビのホームターミナルをつないでご覧になることをお奨めします。

ご注意

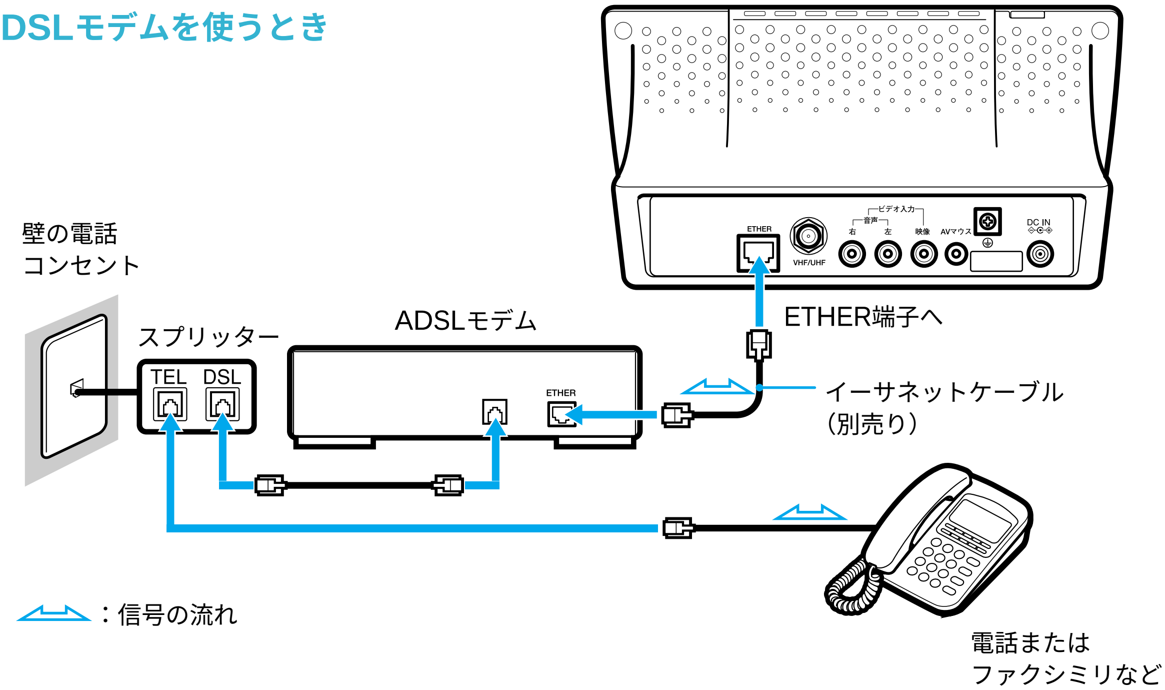
ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル（放送の内容が見れないようにするための処理）のかかった有料放送の視聴には、別途ホームターミナルが必要になります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

準備3：イーサネットケーブルをつなぐ

ケーブルモデムを使うとき



ADSLモデムを使うとき

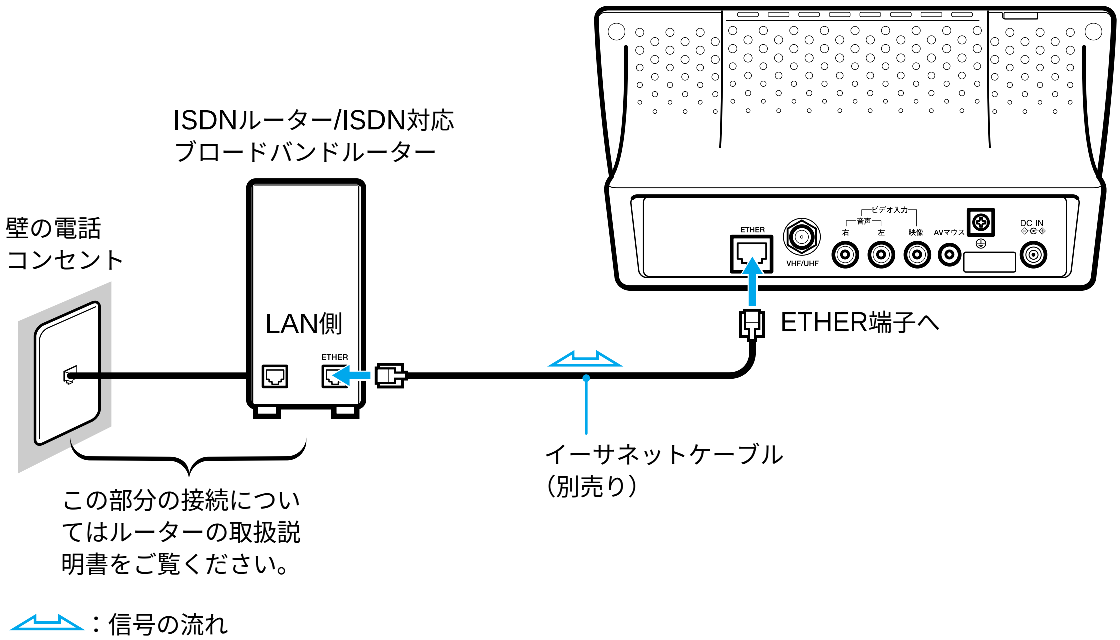


ご注意

- イーサネットケーブルにはストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。ケーブルモデムやADSLモデムの種類により、使用するケーブルの種類が違いますのでご注意ください。詳しくはケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。
- 接続についての詳細はケーブルモデムやADSLモデムの取扱説明書も併せてご覧ください。
- ご利用のケーブルテレビ会社との契約によっては、ケーブルモデムにエアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。
- ケーブルモデムやADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のケーブルテレビ会社、ADSL回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

次のページにつづく

ISDNルーターを介してISDN回線につなぐとき



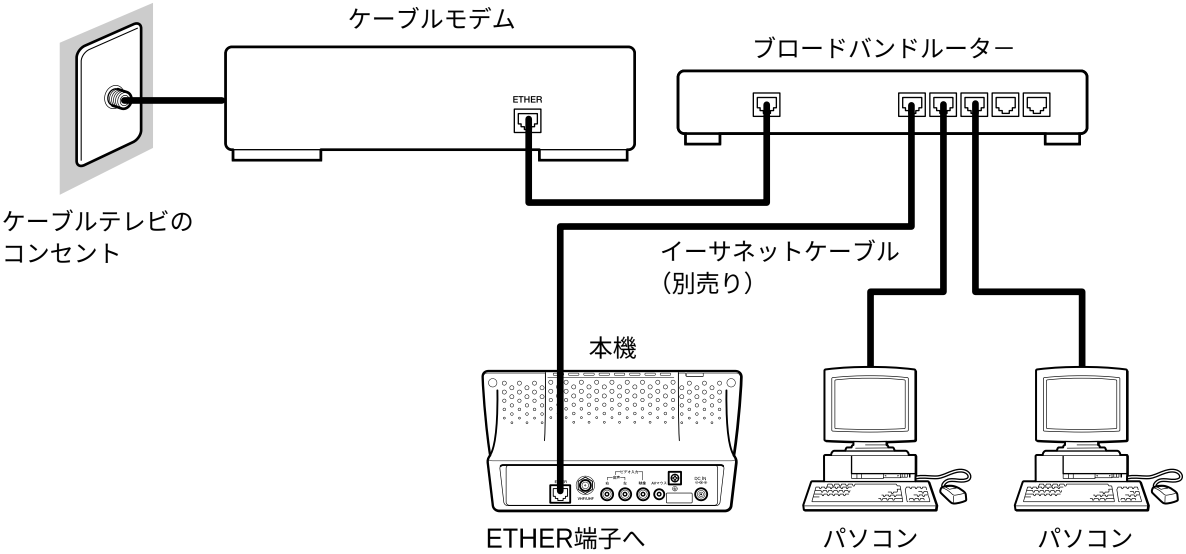
ブロードバンドルーターやISDNルーター本体の設定のしかた

- ブロードバンドルーターやISDNルーターの説明書の中でwwwブラウザ（インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーター）を使って設定画面を表示するよう指示があった場合、エアボードではwwwブラウザの代わりにインターネットチャンネルを使って表示させます。ルーターのIPアドレスをエアボードのインターネットチャンネルのアドレス欄に入力して設定画面を表示させてください。
- ブロードバンドルーターやISDNルーターの設定について詳しくは、お使いのブロードバンドルーターやISDNルーターの取扱説明書をご覧ください。

ブロードバンドルーターを使って複数の端末をモデムにつなぐ

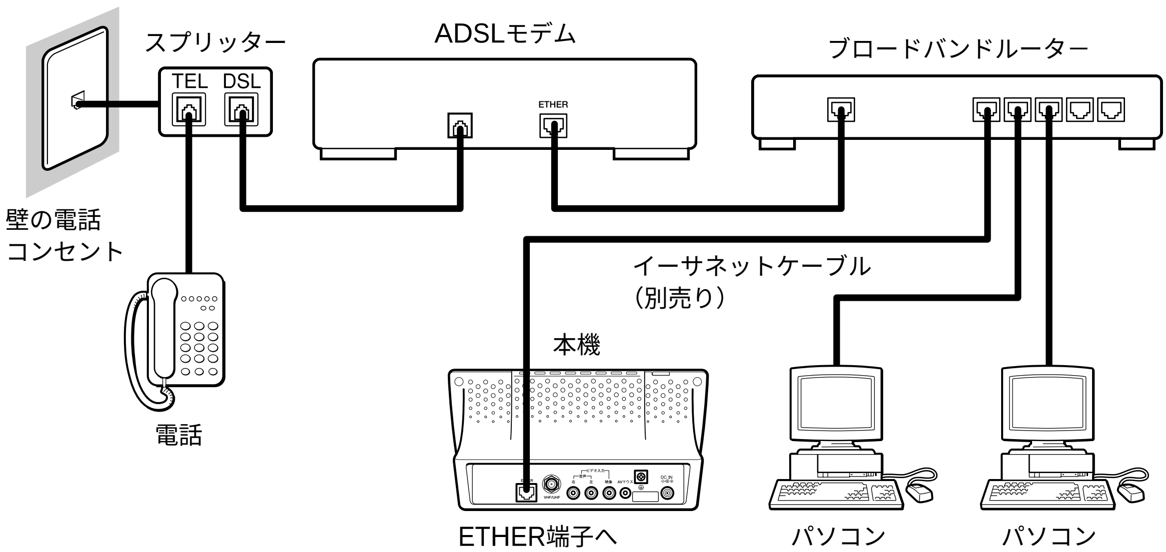
ケーブルモデムの場合

ブロードバンドルーターを使って下記のよう接続します。



ADSLモデムの場合

ブロードバンドルーターを使って下記のよう接続します。



ブロードバンドルーターとは

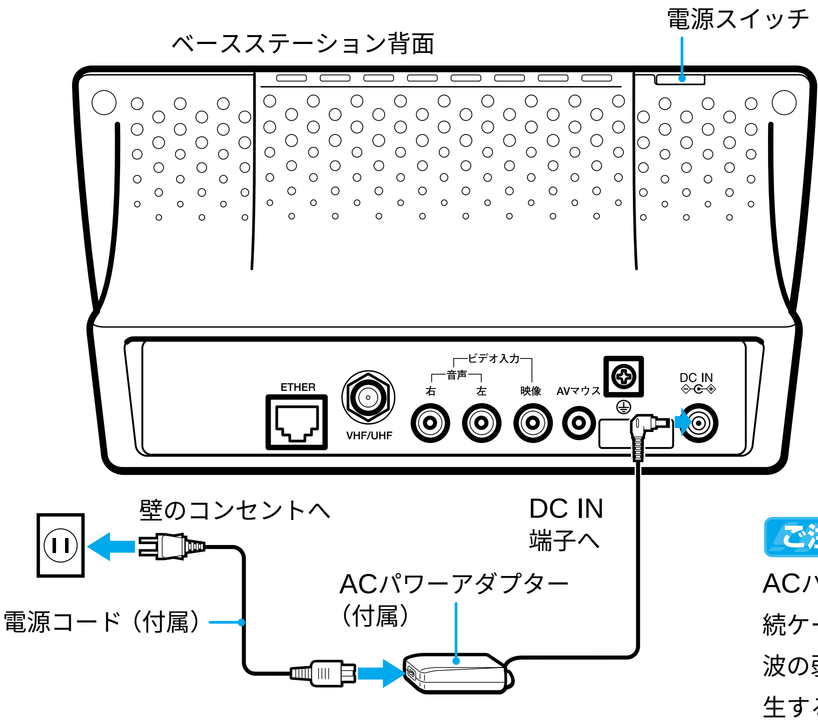
ケーブルテレビ回線やADSL回線に対応したルーター（1つの回線を複数に分ける分配器）です。このような機器を使用することにより、1つの回線で複数の端末を利用できるようになります。
ルーターの設定については110ページをご覧ください。

ご注意

ご利用のケーブルテレビ会社やADSL事業者、プロバイダとの契約によっては、エアボードやパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。

準備4：電源をつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをつないでください。

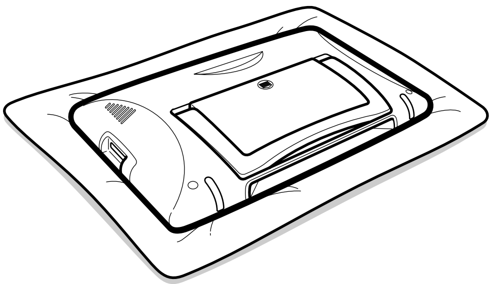


ご注意

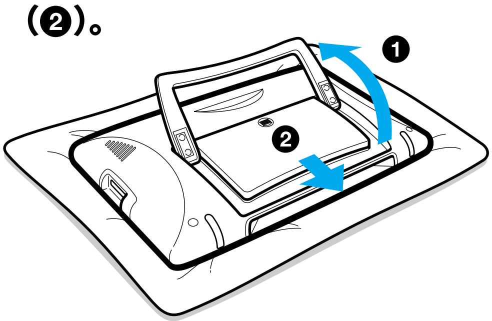
ACパワーアダプターのコードとアンテナ接続ケーブルを一緒に束ねないでください。電波の弱い地域では、テレビ画像にノイズが発生する場合があります。

バッテリーを取り付ける

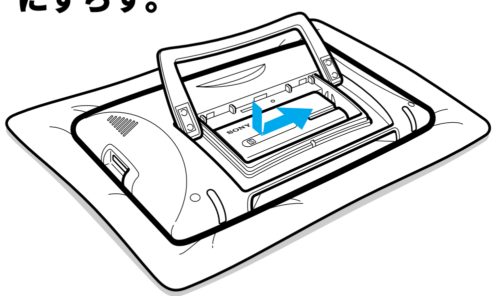
1 **モニターを柔らかい布の上に、液晶画面を下にして置く。**



2 **モニタースタンドを図のところまで引き上げ（❶）、バッテリー収納部のふたを取りはずす（❷）。**



3 **バッテリー収納部の左端に合わせながらバッテリーを入れ、右にずらす。**



ご注意

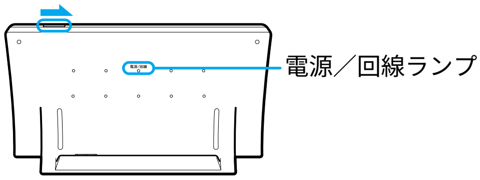
バッテリーを取り付けるときは必ずバッテリー収納部の左端にあわせてから右にずらしてください。無理に取り付けるとバッテリー収納部のツメが折れる場合があります。

4 **バッテリー収納部のふたを戻す。**

ふたを取りはずすときと逆の方向にスライドさせながら戻します。

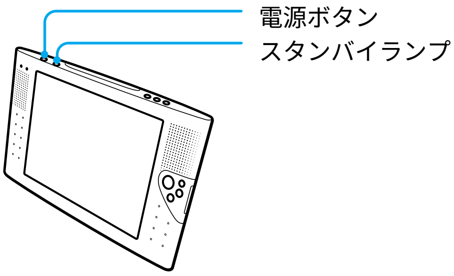
電源を入れる

1 **ベースステーションの電源を入れる。**



ベースステーションの電源／回線ランプが緑色に点灯します。

2 **モニター上部にある［電源ボタン］を押して、電源を入れる。**

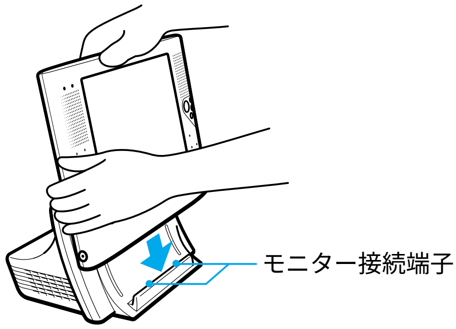


モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

本機はベースステーションとモニターがワイヤレス通信をして、テレビの画像を送ったり、インターネットへの接続をしています。そのため、本機はベースステーションとモニター両方の電源を入れる必要があります。

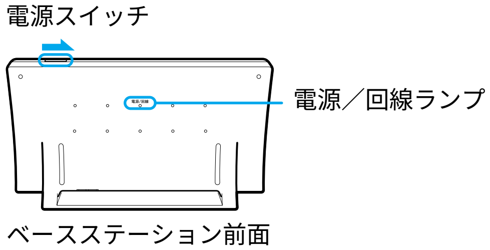
モニターのバッテリーを充電する

モニターをベースステーションに設置する。



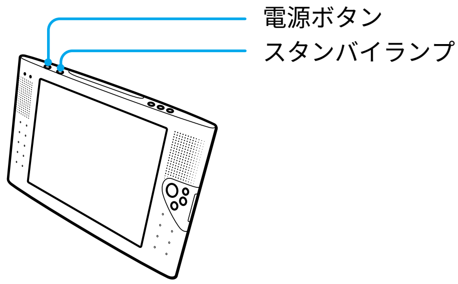
モニターの設置のしかたと充電について詳しくは、「ベースステーションとモニターの働き」（☞18ページ）をご覧ください。
引き続き設定を行う場合は、「準備5：テレビチャンネルを設定する」（☞118ページ）に進んでください。

1　ACパワーアダプターをベースステーションにつなぎ、ベースステーションの［電源スイッチ］をスライドさせて電源を入れる。



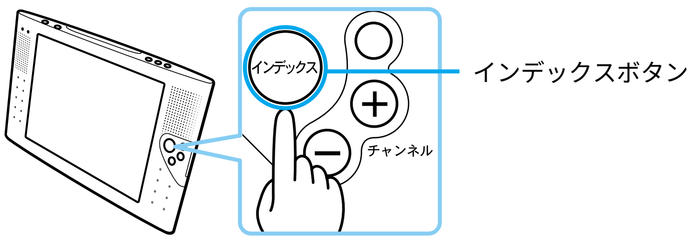
ベースステーションの電源／回線ランプが緑色に点灯します。

2　モニター上部にある［電源ボタン］を押して、モニターの電源を入れる。



モニター上部のスタンバイランプが緑色に点灯します。

3　モニター右側にある［インデックスボタン］を押す。

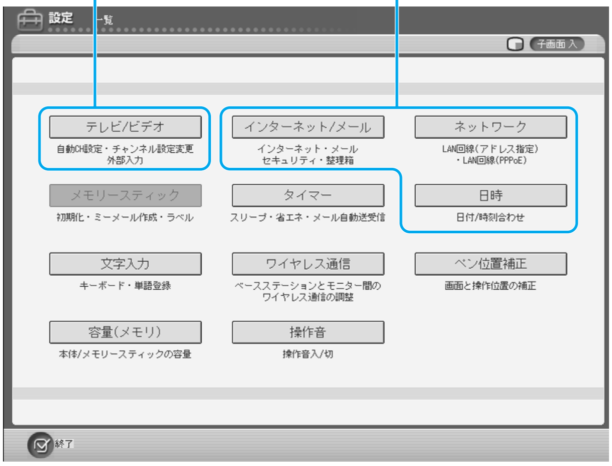


「インデックス」画面が表示されます。

4 インデックス画面の 設定 を選んで、「設定一覧」画面を表示する。

テレビを見るための設定
（☞118～120ページ）

インターネットとメールをするための設定
日時の設定（☞128ページ）
ネットワークの設定
（☞129～135ページ）
インターネットの設定
（☞136～137ページ）
メールの設定（☞138～142ページ）



［設定一覧］画面

本機の設定で使用する主なボタンについて

本機に共通する主なボタンについて説明します。

－ OK：設定などを有効にします。
－ やめる：操作を中止して、1つ前の画面に戻ります。
－ 戻る：1つ前の画面に戻ります。
－ 終了：設定を完了し、設定画面を表示する前の画面を表示します。
－ 設定一覧：「設定 一覧」画面を表示します。

Chapter 9
テレビの設定

準備5：テレビチャンネルを設定する

自動設定する

ここでは、テレビのチャンネルを自動で設定する方法を説明します。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 **設定を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

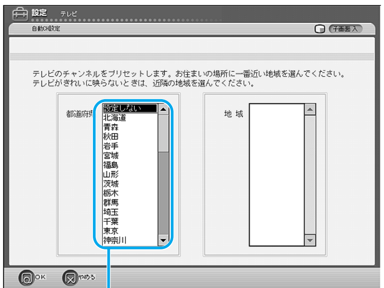
3 **テレビ/ビデオを選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 **自動CH設定を選ぶ。**

「設定 テレビ」画面が表示されます。

5 **左側の都道府県一覧からお住まいの都道府県を選ぶ。**



選んだ都道府県内の地域が表示されます。

6 **右側の地域一覧からお住まいの場所に一番近い地域を選ぶ。**



7 **OKを選ぶ。**



「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

8 **設定一覧を選んで設定画面に戻る。**

テレビがきれいに映らない場合は、手順6で地域を選び直してください。

それでもテレビが映らない場合は、手動でテレビチャンネル設定を変更してください。（☞119ページ）

設定を終了する場合は、終了を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ご注意

ホームターミナルを介さずにケーブルテレビ（C13～C35）を設定する場合は、手動設定でチャンネルを追加してください。（☞119ページ）

手動設定する

ここでは、テレビのチャンネル設定を手動で設定する方法を説明します。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **テレビ/ビデオ を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 **チャンネル設定変更 を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

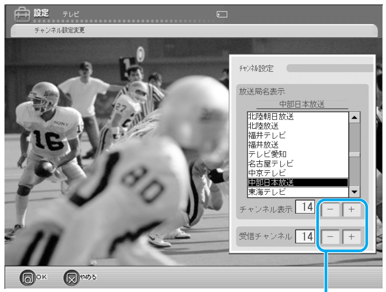
5 **変更したいテレビチャンネルのリストを選ぶか、左のチェックボックスをチェックして［編集］を選ぶ。**



「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

6 **「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を変更する。**

－ または ＋ を使って変更します。



本機で受信可能なチャンネル

VHF放送：1～12チャンネル
UHF放送：13～62チャンネル
ケーブルテレビ：
C13～C35チャンネル

7 **OK を選ぶ。**



チャンネル表示と受信チャンネルが変更された「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻ります。

テレビチャンネルの順番を入れ替えるときは、「テレビチャンネルの順番を入れ替える」の手順5と6（☞121ページ）を行います。

8 **OK を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

次のページにつづく

9 設定一覧を選んで設定画面に戻る。

設定を終了する場合は、終了を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ちょっと一言

「チャンネル表示」と「受信チャンネル」について

「チャンネル表示」：テレビの画面上部に表示するテレビチャンネルの番号。

「受信チャンネル」：新聞のテレビ欄などに記載されているチャンネル。

テレビチャンネルの順番を入れ替える

ここでは、設定したテレビチャンネルの表示順を変更する方法を説明します。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 テレビ/ビデオ を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 チャンネル設定変更 を選ぶ。

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

5 移動したいテレビチャンネルをチェックする。

テレビチャンネルの移動は1つずつできます。



6 上へ移動 または 下へ移動 を選ぶ。

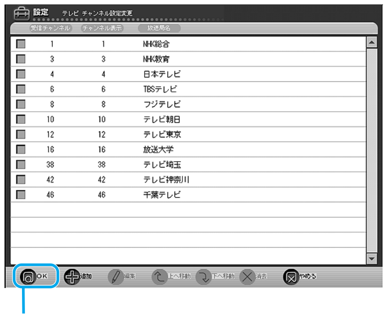


上へ移動　下へ移動

ご注意

同時に2つ以上のチェックをしているときは、［**上へ移動**］または［**下へ移動**］を選べません。引き続き他のテレビチャンネルを移動する場合は、はじめに移動したチャンネルのチェックを外してから、新たに移動させたいチャンネルをチェックしてください。

7 OK を選ぶ。



OK

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

8 設定一覧 を選んで設定画面に戻る。

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

テレビチャンネルを消去する

ここでは、設定したテレビチャンネルの中から、見ないテレビチャンネルを消去する方法を説明します。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 **［設定］を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **［テレビ/ビデオ］を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 **［チャンネル設定変更］を選ぶ。**

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

5 **消去したいテレビチャンネルをチェックする。**

1度に複数のテレビチャンネルを選べます。



6 **［消去］を選ぶ。**



7 **［OK］を選ぶ。**



「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

8 **［設定一覧］を選んで設定画面に戻る。**

設定を終了する場合は、［終了］を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

テレビチャンネルを追加する

ここでは、テレビチャンネルを追加する方法を説明します。

本機で受信可能なチャンネル
VHF放送：1〜12チャンネル
UHF放送：13〜62チャンネル
ケーブルテレビ：C13〜C35チャンネル

ご注意
テレビチャンネルの数が14個になるまで追加できます。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 テレビ/ビデオ を選ぶ。

「設定 テレビ/ビデオ」画面が表示されます。

4 チャンネル設定変更 を選ぶ。

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面が表示されます。

5 追加 を選ぶ。



追加

「チャンネル設定変更」画面が表示されます。

6 「放送局名表示」の中から追加したい放送局名を選ぶ。



放送局名表示

追加したい放送局名が「放送局名表示」の中にないときや、「放送局名表示」とは異なる局名をインデックス画面に表示したいときは「放送局名を編集する」（☞124ページ）を行います。

7 「チャンネル表示」と「受信チャンネル」を選ぶ。

－ または ＋ を使って選びます。

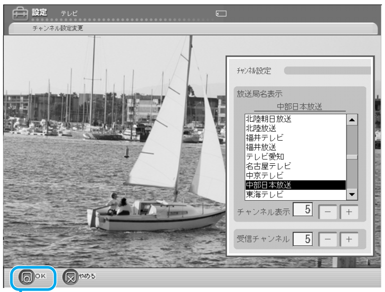


－/＋

ちょっと一言
ケーブルテレビのときは、チャンネル番号の前に「C」の付いた番号を選びます。－ を使うと「C」の付いた番号が早く表示できます。

次のページにつづく

8 **OK を選ぶ。**



OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく追加されたテレビチャンネルは一覧の一番下に表示されます。

テレビチャンネルの順番を入れ替えるときは、「テレビチャンネルの順番を入れ替える」の手順5と6（☞121ページ）を行います。

9 **OK を選ぶ。**

「設定 テレビ/ビデオ」画面に戻ります。

10 **設定一覧 を選んで設定画面に戻る。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

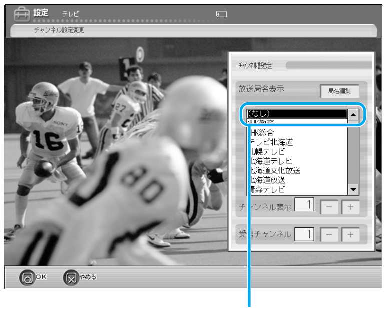
設定を終了する場合は、終了 を選んでください。

放送局名を編集する

「放送局名表示」の中に追加したい放送局名がないときは、好みの放送局名を入力して、「インデックス」画面に表示することができます。

1 **123ページの手順1〜5を行う。**

2 **「放送局名表示」の中から（下記にない放送局）を選ぶ。**



（下記にない放送局）

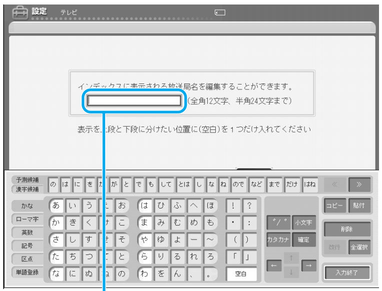
3 **局名編集 を選ぶ。**

局名編集



「設定 テレビ」画面が表示されます。

4 「インデックス」画面に表示したい放送局名を入力する。



ここに入力します。

空欄を選ぶと、キーボードが表示されます。キーボードを使って放送局名を入力します。文字の入力について詳しくは、「文字入力」（☞84ページ～104ページ）をご覧ください。

5  を選ぶ。



OK

「設定 テレビ チャンネル設定変更」画面に戻り、新しく入力した放送局名が[局名編集]の下に表示されます。

6 123ページ～124ページの手順7～10を行う。

Chapter 10
インターネットと
メールの設定

準備6：日時を設定する

ここでは、日時の設定方法を説明します。時計の設定が違うと、ホームページが正しく表示されないことがありますので、必ず日時を正しく設定してください。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

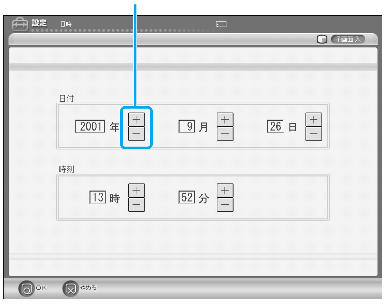
3 日時 を選ぶ。

「設定 日時」画面が表示されます。

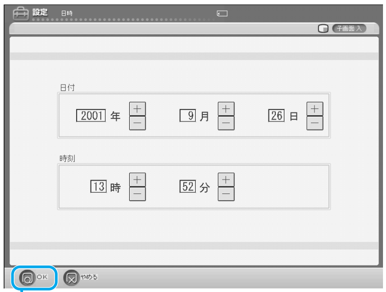
4 「日付」または「時刻」を変更する。

＋ または － を使って変更します。

＋/－



5 OK を選ぶ。



OK

「設定 一覧」画面に戻ります。

引き続き設定する場合は、新たに設定するボタンを選んでください。

設定を終了する場合は、 終了 を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

準備7：ネットワークの設定をする

インターネットやメールを利用するためには、本機をインターネットの通信網(ネットワーク)につなぐ必要があります。本機では、LAN回線のアドレス指定またはPPPoEのどちらかの方法でインターネットにつなぐことができます。ここでは、それぞれの回線で接続するのに必要な接続と設定方法を説明します。(光ケーブルなど下記以外の回線で接続する場合は事業者へお問い合わせください。)

ケーブルテレビ(CATV)インターネット

1 イーサネットケーブルで本機とケーブルモデムを接続します。
(☞109ページ)

2 ネットワークの設定ー「LAN回線(アドレス指定)」または「LAN回線(PPPoE)の設定をします。(☞130、132ページ)

ご利用のケーブルテレビ会社に応じてどちらかを選びます。詳しくはご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

ADSL

1 イーサネットケーブルで本機とADSLモデムを接続します。(☞109ページ)

2 ネットワークの設定ー「LAN回線(アドレス指定)」または「LAN回線(PPPoE)」の設定をします。(☞130、132ページ)

ご利用のADSL事業者またはプロバイダに応じてどちらかを選びます。詳しくはご利用のADSL事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

本機以外にパソコンなど、複数の端末をインターネット接続したい場合は、イーサネット(LAN)端子のあるブロードバンドルーターが必要です。ルーターを使用する場合は、本機のネットワーク設定を「LAN回線(アドレス指定)」にしてください。ルーターの設定についてはルーターの取扱説明書および110ページをご覧ください。ただし、ルーターによっては、本機でルーター本体の設定ができないものがあります。その場合はパソコンで設定してください。

ご注意

ご利用の回線事業者またはプロバイダによっては、複数の端末の設置を認めていないことがあります。設置を行う前に、必ずご利用の回線事業者またはプロバイダにご確認ください。

ISDN(フレッツISDNも含む)〈ルーターが必要です。〉

1 イーサネットケーブルで本機とダイヤルアップルーター(ISDNルーター)を接続します。(☞110ページ)

2 ネットワークの設定ー「LAN回線(アドレス指定)」の設定をします。
(☞130ページ)

本機でISDNを利用するには、イーサネット(LAN)端子のあるダイヤルアップルーター(ISDNルーター)またはISDN対応ブロードバンドルーターが必要です。また、東西NTT地域会社のフレッツISDNをご利用のときは、フレッツISDNに対応しているものをご使用ください。ルーターの設定については110ページをご覧ください。

ルーター本体の設定についてのご注意

ルーター本体の設定は本機のインターネットチャンネルで行います。本機で対応していない方法(例えばフロッピーディスクやCD-ROMを使用)や本機のインターネットチャンネルで表示できない形式のホームページで設定するタイプのルーターは、本機では設定できません。詳しくはルーターの取扱説明書をご覧になるか、ルーターの製造者にお問い合わせください。その場合、パソコンを使用して設定するか、本機で対応している方法で設定できるものをご使用ください。

次のページにつづく

ネットワークへの接続のしかたには、2通りあります。回線事業者やプロバイダとの契約を結んだときに送られてきた資料などをご覧になりながら、設定を行ってください。

LAN回線（アドレス指定）を使って接続する

ルーターを使用するときは必ずこの設定が必要です。
設定を行う前にイーサネットケーブルがつながっていることとベースステーションの電源が入っていることをご確認ください。
準備6から引き続き行うときは、1と2の操作は不要です。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 設定 **を選ぶ。**

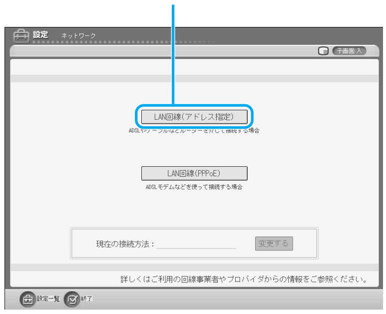
「設定 一覧」画面が表示されます。

3 ネットワーク **を選ぶ。**

「設定 ネットワーク」画面が表示されます。

4 LAN回線(アドレス指定) **を選ぶ。**

LAN回線（アドレス指定）

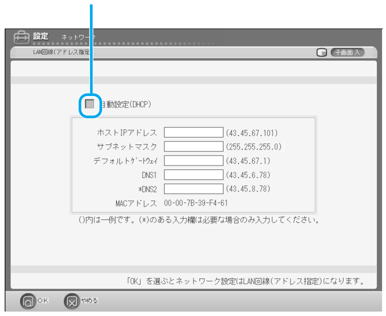


「LAN回線（アドレス指定）」画面が表示されます。

5 **お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使用する場合は、「自動設定（DHCP）」をチェックする。**

お使いのプロバイダがDHCPサーバーを使わない場合は「自動設定（DHCP）」をチェックをしないでください。この場合、各項目の横の空欄を選んで、プロバイダから指定された設定（数字）を入力します。

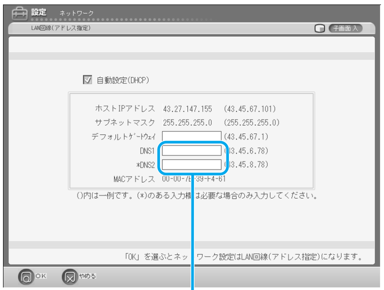
ここをチェックします。



「自動設定（DHCP）」をチェックすると、DHCPサーバーに接続され、「ホストIPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」がDHCPサーバーから自動的に割り当てられます。DHCPサーバーによってはDNSも自動的に割り当てられます。

6 DNS1、DNS2を入力する。

自動的に割り当てられた場合は入力する必要はありません。



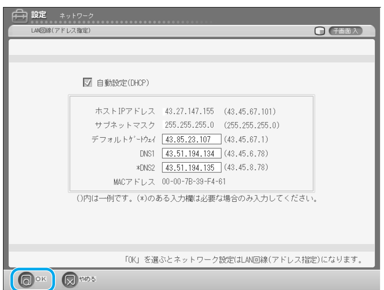
ここに入力します。

「DNS1」、「DNS2」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってプロバイダから指定された数字（0.0.0.0～255.255.255.255）を入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「DNS1」とはよばず、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」と、また、「DNS2」とよばず、「ネームサーバー」、「セカンダリDNSサーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

7  を選ぶ。

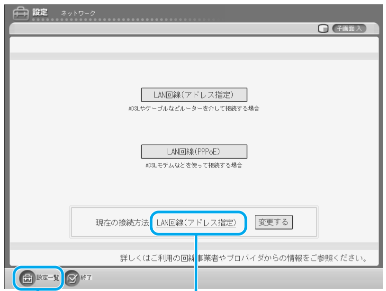


OK

「設定 ネットワーク」画面に戻ります。

「現在の接続方法：LAN回線（アドレス指定）」と表示されます。

8  を選んで設定画面に戻る。



設定一覧

LAN回線（アドレス指定）と表示される

設定を終了する場合は、を選んでください。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ご注意

「LAN回線（アドレス指定）」を正しく設定しても、いったん「LAN回線（PPPoE）」画面を表示して[OK]を選ぶと、その時点で接続方法が「LAN（PPPoE）」に切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」（☞135ページ）に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線（アドレス指定）」に戻してください。

インターネットとメールの設定

次のページにつづく

LAN回線（PPPoE）を使って接続する

（PPPoE：ピーピーピーオーイー）

設定を行う前にイーサネットケーブルがつながっていることとベースステーションの電源が入っていることをご確認ください。
準備6から引き続き行うときは、1と2の操作は不要です。

1 「インデックス」画面を表示する。

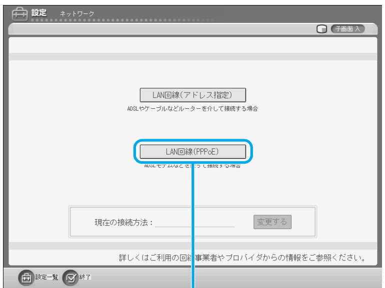
2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 ネットワーク を選ぶ。

「設定 ネットワーク」画面が表示されます。

4 LAN回線(PPPoE) を選ぶ。



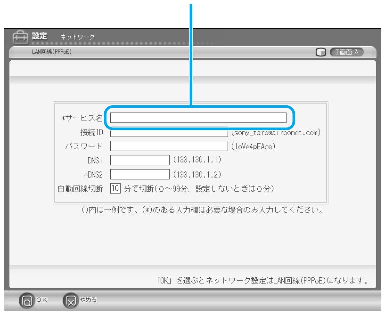
LAN回線（PPPoE）

「LAN回線（PPPoE）」画面が表示されます。

5 プロバイダのサービス名を入力する。

プロバイダによって必要な場合と不要な場合があります。プロバイダから入力の指示があるときのみ入力してください。

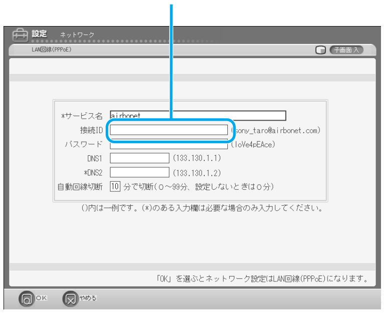
ここに入力します。



「サービス名」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角40文字以内で入力します。

6 接続IDを入力する。

ここに入力します。



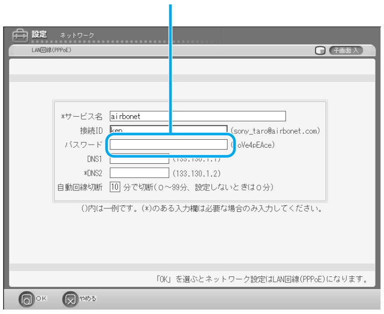
「接続ID」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角40文字以内で入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「接続ID」とはよばず、「ユーザー名」、「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

7 インターネット接続用パスワードを入力する。

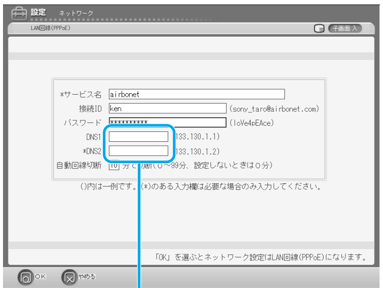
ここに入力します。



ご注意

お使いのプロバイダによっては、「パスワード」とはよばず、「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

8 DNS1、DNS2を入力する。



ここに入力します。

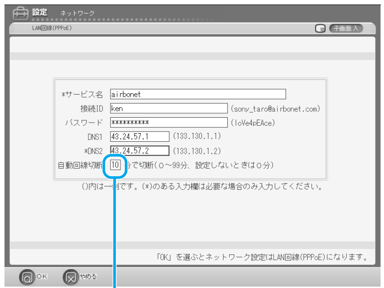
「DNS1」、「DNS2」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってプロバイダから指定された数字（0.0.0.0～255.255.255.255）を入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「DNS1」とはよばず、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」と、また、「DNS2」とはよばず、「ネームサーバー」、「セカンダリDNSサーバー」、「セカンダリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

9 自動的にネットワークとの接続を切断するまでの時間を入力する。

インターネットに接続してから自動的にネットワークとの接続を切るまでの時間を設定します。



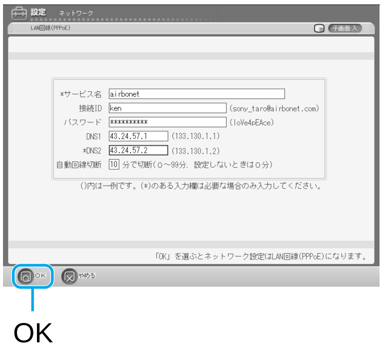
ここに入力します。

切断時間の空欄を選んで、キーボードを使って入力します。0分～99分まで入力できます。

自動的に切断しないときは0分に設定してください。

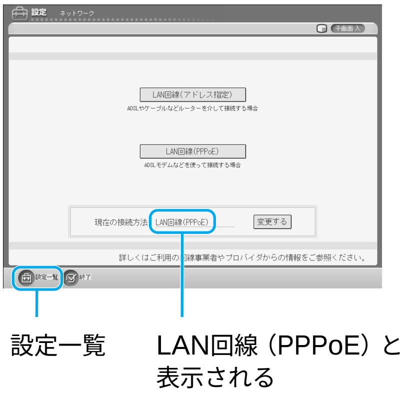
次のページにつづく

10 OK を選ぶ。



「設定 ネットワーク」画面に戻ります。
「現在の接続方法：LAN回線（PPPoE)」と表示されます。

11 設定一覧 を選んで設定画面に戻る。



設定を終了する場合は、終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ご注意

「LAN回線(PPPoE)」を正しく設定しても、いったん「LAN回線(アドレス指定)」画面を表示して[OK]を選ぶと、その時点で接続方法が「LAN(アドレス指定)」に切り換わってしまい、インターネットに接続できなくなります。この場合は、「接続方法を変更する」(☞135ページ)に従って、「現在の接続方法」を「LAN回線(PPPoE)」に戻してください。

接続方法を変更する

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 ネットワーク を選ぶ。

「設定 ネットワーク」画面が表示されます。

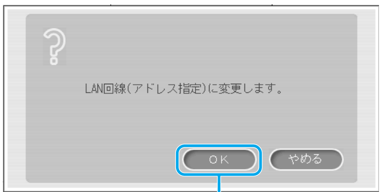
4 変更する を選ぶ。



ここを選びます。

変更内容を確認する画面が表示されます。

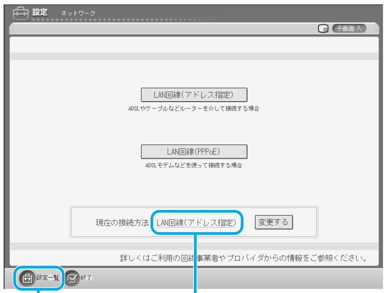
5 OK を選ぶ。



OK

「設定 ネットワーク画面」に戻ります。接続方法が切り換わり、「現在の接続方法」に変更した方法が表示されます。

6 設定一覧 を選んで設定画面に戻る。



設定一覧

選択した接続方法が表示される

設定を終了する場合は、終了を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

インターネットとメールの設定

準備8：インターネットの設定をする

準備7から引き続き行うときは、1と2の操作は不要です。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定を選ぶ。

「設定一覧」画面が表示されます。

3 インターネット/メールを選ぶ。

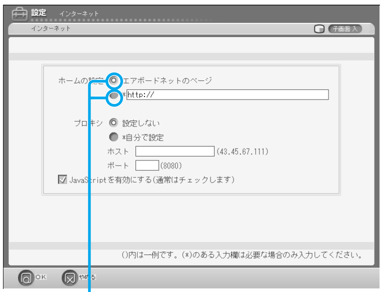
「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。



4 インターネットを選ぶ。

「設定 インターネット」画面が表示されます。

5 ホームを設定する。



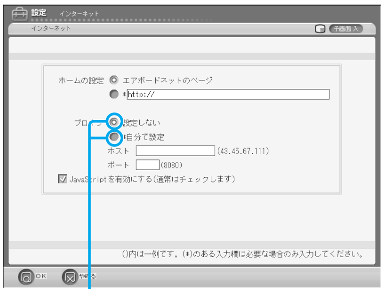
どちらかを選びます。

「エアボードネット」以外のホームページを設定する場合は、「エアボードネットのページ」の下の空欄を選んで、キーボードを使ってアドレスを入力します。

6 プロキシの設定を選ぶ。

ちょっと一言

お使いのプロバイダによって入力の要、不要が異なります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。



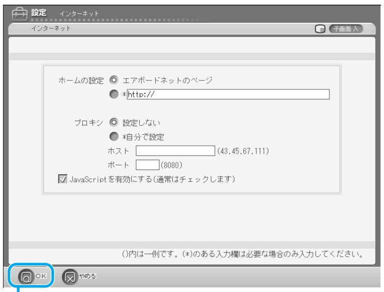
どちらかを選びます。

「自分で設定」を選んだ場合は、キーボードを使って「ホスト」は半角50文字以内で、「ポート」は半角10文字以内の数字で入力します。

ちょっと一言

JavaScriptを使ったホームページが正常に表示されない場合や、表示したくないときは、「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずしてください。

7 OK を選ぶ。



OK

「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。

8 設定一覧 を選んで設定画面に戻る。

設定を終了する場合は、終了 を選んでください。
「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

準備9：メールの設定をする

準備8から引き続き行うときは、1と2の操作は不要です。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 「設定一覧」画面から 設定 を選ぶ。

「設定一覧」画面が表示されます。

3 インターネット/メール を選ぶ。

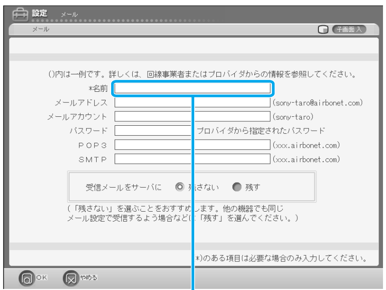
「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。

4 メール を選ぶ。

「設定メール」画面が表示されます。

5 名前を入力する。

ご自分が送るメールの差出人の欄にこの名前が表示されます。



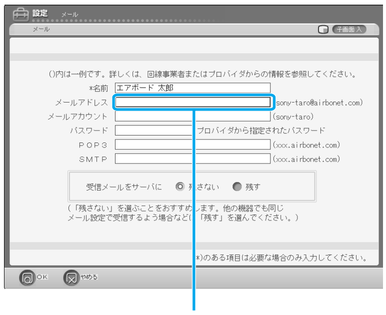
ここに入力します。

「名前」の横の空欄を選んで、キーボードを使って全角20文字以内で入力します。

ちょっと一言

通常はご自分の名前を入力します。

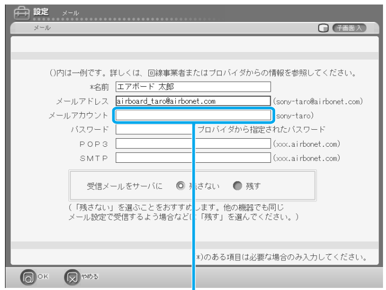
6 メールアドレスを入力する。



ここに入力します。

「メールアドレス」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角40文字以内で入力します。

7 メールアカウントを入力する。



ここに入力します。

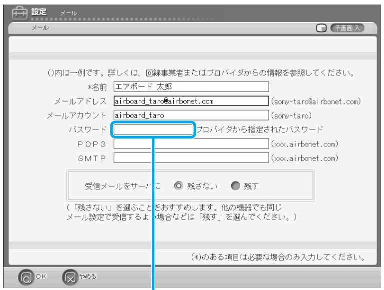
「メールアカウント」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角60文字以内で入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「メールアカウント」とはよばず、「POPアカウント」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

8 メール用パスワードを入力する。

プロバイダから指定されたパスワードを入力します。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。



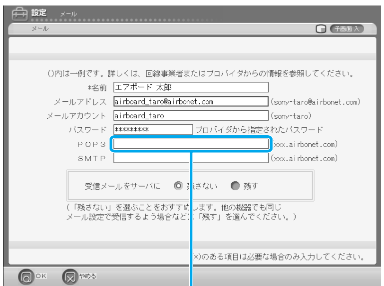
ここに入力します。

「パスワード」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角20文字以内で入力します。入力した文字は＊で表示されます。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「パスワード」とはよばず、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

9 POPサーバーを入力する。



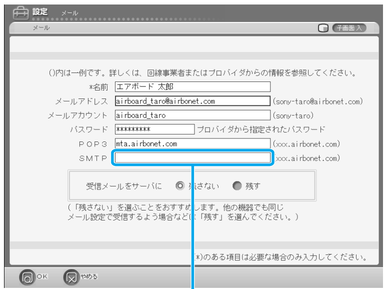
ここに入力します。

「POP3」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角100文字以内で入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「POP3」とはよばず、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

10 SMTPサーバーを入力する。



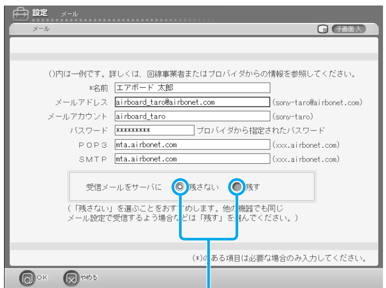
ここに入力します。

「SMTP」の横の空欄を選んで、キーボードを使って半角100文字以内で入力します。

ご注意

お使いのプロバイダによっては、「SMTP」とはよばず、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」とよばれていることがあります。詳しくは、お使いのプロバイダからの資料などをご覧ください。

11 受信メールをサーバーに残すか、残さないかを選ぶ。



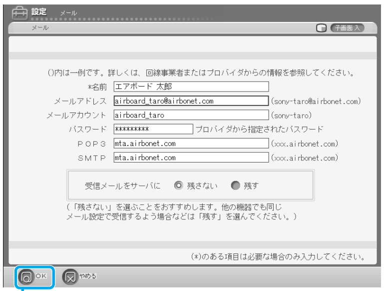
どちらかを選びます。

通常は「残さない」を選びます。

お買い上げ時には「残さない」に設定されています。

次のページにつづく

12 OK を選ぶ。



OK

「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。

13 終了 または 設定一覧 を選ぶ。

– 終了 を選ぶと、「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

– 設定一覧 を選ぶと、その他本機をお使いの際の詳細設定を行うことができます。詳しくは、「その他の設定」（☞150ページ～158ページ）をご覧ください。

［ミーメール］用“メモリースティック”を作成する

メールユーザーを追加し、自分専用のメールチャンネル［ミーメール］として使うことができます。［ミーメール］を使うには、“メモリースティック”が必要です。［ミーメール］用“メモリースティック”には、メールの基本設定情報が記録されます。
この“メモリースティック”を本機に挿入することで、メールチャンネルが自分専用になります。

ご注意

- ［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するときに、“メモリースティック”の中に別の人の［ミーメール］や、整理箱上にメールデータがすでにあるときは、そのメールは消去されます。［ミーメール］用“メモリースティック”を作成する前に、もう1度“メモリースティック”の内容を確認してください。
- ［ミーメール］用“メモリースティック”に入っている設定情報などをパソコンなどを使ってコピーすることはできません。
［ミーメール］用“メモリースティック”を作成するには、本機でもう1度［ミーメール］の設定をしてください。

1 “メモリースティック”を挿入する。

2 「インデックス」画面を表示する。

3 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

4 メモリースティック を選ぶ。

「設定　メモリースティック」画面が表示されます。

5 ミーメール作成 を選ぶ。

ミーメール作成

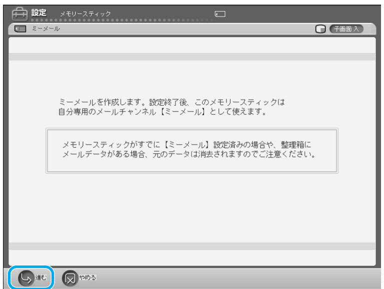


「ミーメール」画面が表示されます。

ご注意

「ミーメール」画面に表示される注意書きは必ず、よくお読みください。

6 進む を選ぶ。



進む

ミーメール用ネットワーク設定画面が表示されます。

7 設定方法を選ぶ。

「本体の設定を使用する」か、「ミーメール用に別途設定する」かどちらかの設定を選びます。

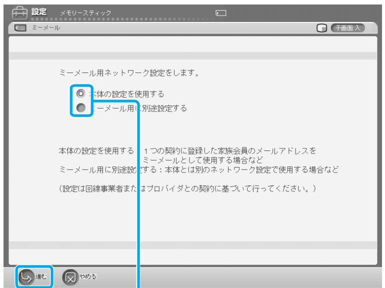
「本体の設定を使用する」

1つのインターネット接続契約で、家族会員に登録したメールアドレスをミーメールで利用する場合などは、こちらを選びます。

「ミーメール用に別途設定する」

本体のネットワークの設定とは別のインターネット接続設定で使いたい場合などは、こちらを選びます。

どちらかを選択し、進む を選んでください。
（「本体の設定を使用する」を選択した場合、手順7～11の設定は必要ありません。手順12に進んでください。）



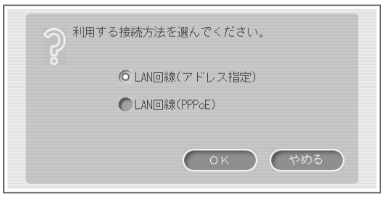
進む　どちらかを選びます。

ご注意

ソニーIDT-LF1で作成したミーメール用“メモリースティック”を本機に挿入したときは、ネットワークの設定は「本体の設定を使用する」になります。この場合、ミーメールに設定されているプロバイダによっては、メールの送受信ができないことがあります。

次のページにつづく

8 本機が使用している接続の種類を選ぶ。



9 OK を選ぶ。

選んだ接続方法に応じた「設定 ネットワーク」画面が表示されます。

10 各項目を入力する。



「準備7：ネットワークの設定をする」（☞130ページ～135ページ）をご覧ください。

11 OK を選ぶ。


OK

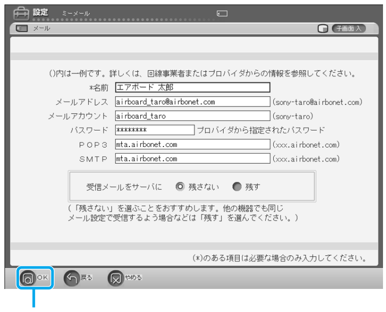
「 メール」画面が表示されます。

12 各項目を入力する。



「準備9：メールの設定をする」の手順5～11（☞138ページ～139ページ）をご覧ください。

13 OK を選ぶ。


OK

メッセージが表示されます。

14 OK を選ぶ。

［ミーメール］用"メモリースティック"が作成されると、(通常"メモリースティック")表示が([ミーメール]専用"メモリースティック")表示に変わります。

ご注意

ミーメール作成追加に失敗したときは、「メモリースティック書き込み中にエラーが起きました。」というメッセージが表示されます。［OK］を押して、もう1度手順5（☞141ページ）からやり直してください。

15 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

メールチャンネルのセキュリティパスワードを設定する

ここでは、本機のメールチャンネルを他の人に見られないようにパスワードを設定する方法を説明します。

ご注意

入力したパスワードは必ず控えてください。パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要ですのでご注意ください。

ご注意

本機を［ミーメール］で使用しているときは、この設定はできません。また［ミーメール］には、セキュリティのパスワードはかけられません。

1 「インデックス」画面を表示する。

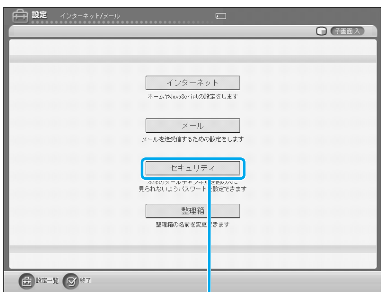
2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 インターネット/メール を選ぶ。

「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。

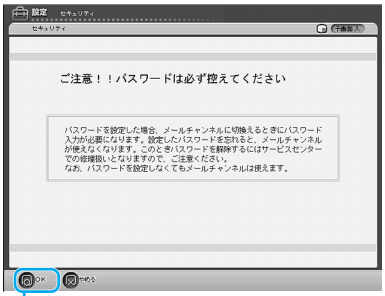
4 セキュリティ を選ぶ。



セキュリティ

「設定 セキュリティ」画面が表示されます。

5 OK を選ぶ。

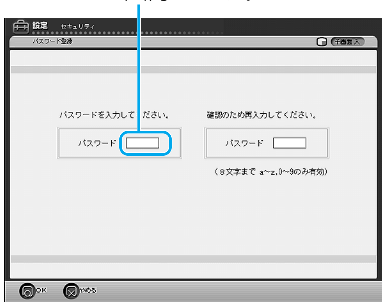


OK

「パスワード登録」画面が表示されます。

6 パスワードを入力する。

ここに入力します。

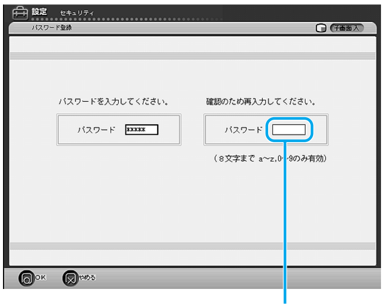


キーボードを使って半角8文字以内で入力します。入力した文字は＊で表示されます。

インターネットとメールの設定

次のページにつづく

7 確認のため、もう1度同じパスワードを入力する。

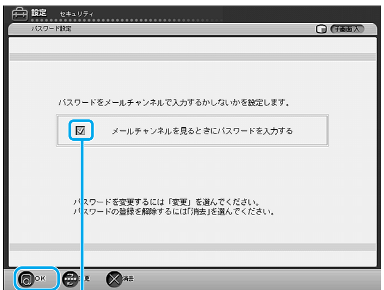


8 OKを選ぶ。



「パスワード設定」画面が表示されます。

9 「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」がチェックされていることを確認してから、OKを選ぶ。



「設定 インターネット/メール」画面に戻ります。

10 終了を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定画面に戻ります。

パスワードを消去するには

「メールチャンネルのセキュリティパスワードを変更する」の手順7（☞145ページ）で**［消去］**を選ぶ。

メールチャンネルのセキュリティパスワードを変更する

ここでは、設定したパスワードを変更する方法を説明します。

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 インターネット/メール を選ぶ。

「設定 インターネット/メール」画面が表示されます。

4 セキュリティ を選ぶ。

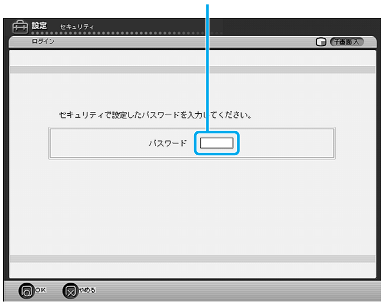


セキュリティ

「設定 セキュリティ」画面が表示されます。

5 変更前のパスワードを入力する。

ここに入力します。



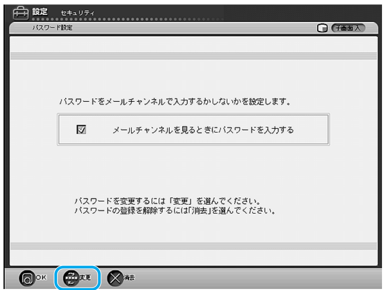
6 OK を選ぶ。



OK

「パスワード設定」画面が表示されます。

7 変更 を選ぶ。



変更

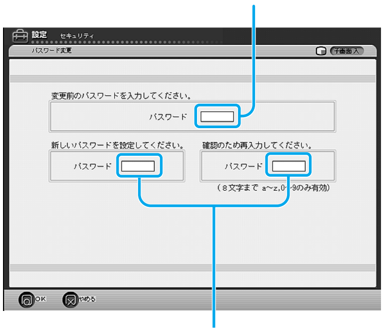
「パスワード変更」画面が表示されます。

インターネットとメールの設定

次のページにつづく

8 変更前のパスワードと、新しいパスワードを入力する。

変更前のパスワードを入力します。



新しいパスワードを入力します。

ご注意

入力したパスワードは必ず控えてください。パスワードを忘れるとメールチャンネルが使えなくなり、修理が必要ですのでご注意ください。

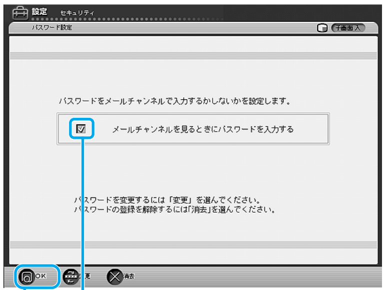
9 OK を選ぶ。



OK

「パスワード設定」画面が表示されます。

10 「メールチャンネルを見るときにパスワードを入力する」がチェックされていることを確認してから、OK を選ぶ。



OK　ここを確認します。

「設定 インターネット/メール」画面に戻ります。

11 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定画面に戻ります。

メールの自動送受信を設定する

ここではモニターのスタンバイ時に1日3回まで自動的に電子メールの送受信ができるよう設定する方法を説明します。

ご注意

［ミーメール］を使っているときは、メールの自動送受信は使えません。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

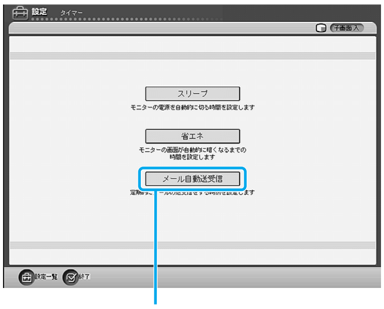
2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **タイマー を選ぶ。**

「設定 タイマー」画面が表示されます。

4 **メール自動送受信 を選ぶ。**



メール自動送受信

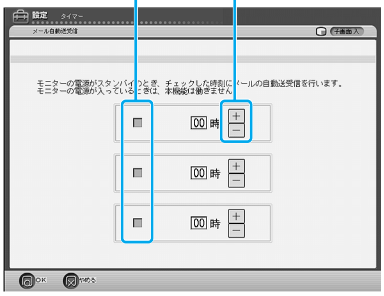
「メール自動送受信」画面が表示されます。

5 **＋ または － を使って時刻を設定してから、時刻をチェックする。**

ご注意

時刻をチェックしないと、メールの自動送受信はできません。

ここをチェックする　＋/－



6 **OK を選ぶ。**



OK

「設定 タイマー」画面に戻ります。

7 **終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定画面に戻ります。

インターネットとメールの設定

次のページにつづく

モニターの電源を切ると、スタンバイランプが赤く点灯し、メールの自動送受信設定が有効になります。
PPPoEで接続しているときは、メールの自動送受信中、モニター上部の回線ランプが緑色に点灯します。新着メールがあるときは、モニター左側にあるメール自動送受信ランプが赤く点灯します。

1度設定したメールの自動送受信設定をやめるには

「メールの自動送受信を設定する」の手順5で、設定をやめたい時刻のチェックをはずしてから【OK】を選ぶ。

ご注意

- メールの自動送受信はモニターのスタンバイランプが赤く点灯しているときのみ行われます。モニターのバッテリーの残量がなくなるとメールの自動送受信は行われません。自動送受信するときは必ずモニターをベースステーションに戻してください。
- 以下のとき、メールの自動送受信は働きません。
  - モニターのバッテリーの残量がなくなっている
  - ベースステーションの電源が切れている
  - ベースステーションの電源コードが抜かれている
  - ［ミーメール］用"メモリースティック"が挿入されている
  - モニターが圏外にある
- メール自動送受信中にモニター上部にある**［電源ボタン］**を押すとメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。
- 通信エラーやアクセスポイントが混雑していて自動送受信ができなかったときは、最大2回、10分おきに再度メールの自動送受信を行います。自動送受信できないときは、モニターのスタンバイが解除されたときに画面上部に「メール自動送受信失敗」と表示されます。

Chapter 11
その他の設定

省エネタイマーの設定時間を変更する

本機を数分間使わないときは、電源を切らずに省エネタイマーが働いて本機のバッテリーの消費電力を少なくします。省エネタイマーが働くと、画面は真っ暗になります。

ご注意

省エネタイマーはテレビチャンネルやビデオチャンネルをご覧になっているときや、子画面が表示されているときは実行されません。

1 「インデックス」画面を表示する。

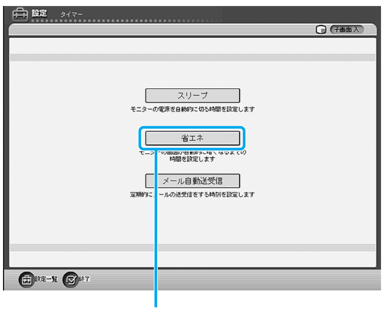
2 設定を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 タイマーを選ぶ。

「設定 タイマー」画面が表示されます。

4 省エネを選ぶ。

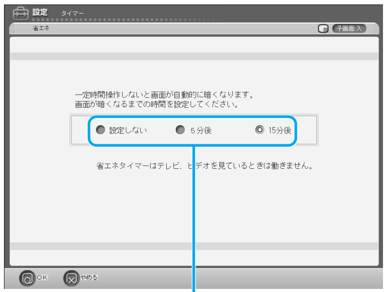


省エネ

「省エネ」画面が表示されます。

5 タイマーを実行する時間を変更する。

「設定しない」、「5分後」、または「15分後」のいずれかを選びます。



ここから選びます。

6 OKを選ぶ。



OK

「設定 タイマー」画面に戻ります。

7 終了を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定画面に戻ります。

本機を何も操作しないまま設定時間になると、画面が真っ暗になります。以下のいずれかを行うと省エネタイマーは解除され、画面は元に戻ります。

－ 画面に触れる
－ モニターの上部または右側にあるボタンを押す
－ 接続した市販のキーボードを操作する

キーボードの設定を変更する

ここでは予測変換用または連文節変換用のキーボードの設定を選ぶ方法を説明します。市販のキーボードのみを使う場合は、「画面上のキーボードを消したいときは」(☞103ページ)をご覧ください。

1 「インデックス」画面を表示する。

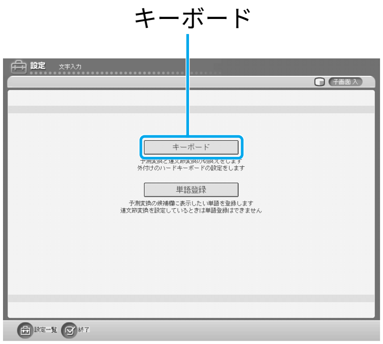
2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 文字入力 を選ぶ。

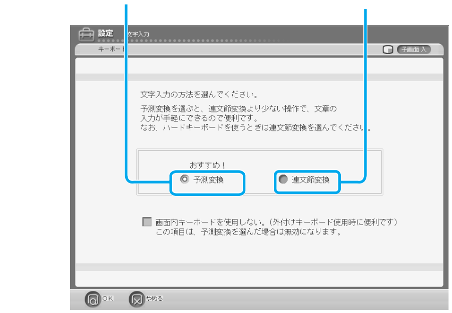
「設定 文字入力」画面が表示されます。

4 キーボード を選ぶ。

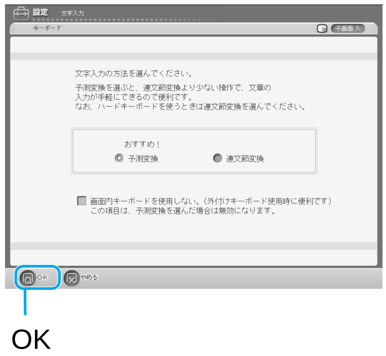


「設定 キーボード」画面が表示されます。

5 キーボードを選ぶ。



6 OK を選ぶ。



「設定 文字入力」画面に戻ります。

7 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定画面に戻ります。

操作音を消す

ここでは本機を操作するときの操作音を消す方法を説明します。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **操作音 を選ぶ。**

「設定 操作音」画面が表示されます。

4 **「切」を選ぶ。**



ここを選びます。

5 **OK を選ぶ。**



OK

「設定 一覧」画面に戻ります。

6 **終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ご注意

操作音を「切」に設定した場合でも、電源を入れたときの起動音やモニターをベースステーションに置いたときの充電開始の音は鳴ります。

操作音を出すには

「操作音を消す」の手順4で「入」を選ぶ。

画面を調整する

画面の1点を選んだときに、選んだところが反応しないなどの不具合が起きたときは、画面を再調整します。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

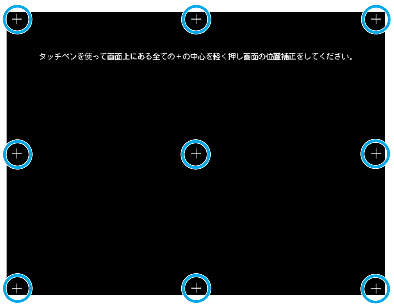
2 **設定 を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 **ペン位置補正 を選ぶ。**

補正画面が表示されます。

4 **画面上の9か所の＋を選ぶ。**



＋印の中央を選びます。

選び終わると、「設定 一覧」画面に戻ります。

ご注意

画面上の＋をすべて選び終わるまで、本機のその他の操作はできません。

5 **終了 を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

“メモリースティック”を初期化する

本機を使って"メモリースティック"を初期化するときは、以下の操作に従ってください。

ご注意

- 本機で“メモリースティック”を初期化すると、“メモリースティック”に記録されているデータはすべて削除されます。[**ミーメール**] 用“メモリースティック”も初期化すると [**ミーメール**] ではなくなります。初期化する前に事前に内容を確認してください。
- 必要なとき以外は、“メモリースティック”を初期化しないでください。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 設定 **を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 メモリースティック **を選ぶ。**

「設定 メモリースティック」画面が表示されます。

4 初期化 **を選ぶ。**



初期化

初期化中は“メモリースティック”を絶対に抜かないでください。

5 終了 **を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

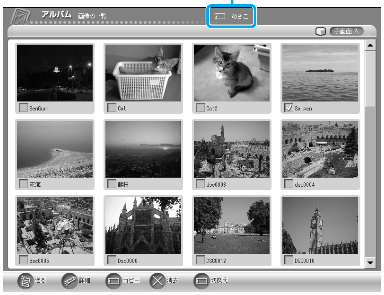
引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧 を選んで設定画面に戻ります。

その他の設定

“メモリースティック”にラベルを付ける

本機では“メモリースティック”に名前（ラベル）を登録することができます。
ラベルを付けると、画面上部のの横にラベルが表示されます。

ラベルが表示されます。



1　**「インデックス」画面を表示する。**

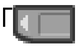
2　**設定を選ぶ。**

「設定 一覧」画面が表示されます。

3　**メモリースティックを選ぶ。**

「設定 メモリースティック」画面が表示されます。

4　**ラベルを選ぶ。**

「 ラベル作成」画面が表示されます。

5　**「ラベル」の横の空欄を選んで、キーボードを使ってラベル名を入力する。**



ここに入力する。

6　**OKを選ぶ。**

7　**終了を選ぶ。**

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

引き続き他の設定を行う場合は、設定一覧を選んで設定画面に戻ります。

手動でワイヤレスチャンネルを変更する

本機は、ワイヤレスの通信状態の悪い状態が数秒間続くと、自動的に最適なワイヤレスチャンネルに変更しますが、以下のとき、手動でワイヤレスチャンネルを変更します。

- テレビの画像の乱れが気になる
- 手動で最適なワイヤレスチャンネルを設定したい
- 本機の近くに同じ周波数を使っている機器がある

1 「インデックス」画面を表示する。

2 設定 を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

3 ワイヤレス通信 を選ぶ。

「設定 ワイヤレス通信」画面が表示されます。

4 [自動選択]のチェックをはずす。



このチェックをはずします。

5 画面を見ながら受信状態の最適なワイヤレスチャンネルを選ぶ。



ここから選びます。

メッセージが表示されます。

ご注意

圏外表示の出ないところで行ってください。

6 戻る を選ぶ。



戻る

「設定 一覧」画面に戻ります。

7 終了 を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ちょっと一言

- 本機では2.4GHz帯の無線周波数を使用しています。Achには1チャンネル、Bchには6チャンネル、Cchには11チャンネルが割り当てられています。「自動選択」をチェックしていると、本機が自動的に最適なワイヤレスチャンネルを選択します。
- 近距離で本機を2台以上使用する場合は、「自動選択」のチェックをはずしてそれぞれ別のワイヤレスチャンネルを選んでください。

近くで無線LANを使用するときは

近くで「2.4GHz、IEEE802.11b」準拠の無線LANを使用するときは、本機のワイヤレス通信の「自動選択」をチェックした状態で、無線LANのアクセスポイントのチャンネルを1、6、11のいずれかに設定してください。
それでも本機の画像などが正しく表示されないときは、本機のワイヤレス通信の「自動選択」のチェックをはずし、無線LANで設定しているチャンネル以外のチャンネルに変更してください。
たとえば、無線LANのアクセスポイントが1チャンネルであれば、本機はBchまたはCchに設定します。

メモリ残量を確認する

本機や“メモリースティック”に残っているメモリの容量を確認できます。

1 **「インデックス」画面を表示する。**

2 

を選ぶ。

「設定 一覧」画面が表示されます。

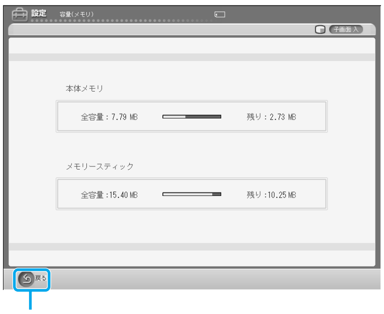
3 

を選ぶ。

「設定 容量（メモリ）」画面が表示されます。

4 

を選ぶ。



戻る

「設定 一覧」画面に戻ります。

5 

を選ぶ。

「インデックス」画面を表示する前に表示していた画面に戻ります。

ご注意

- “メモリースティック”表面に記載されている容量と実際に使用できる容量は異なります。画面上の「全容量」に表示された容量分のみ使用できます。
- 本体メモリや“メモリースティック”の中には、設定データなどお客様自身で消去できないデータも含まれています。

Chapter 12
その他

故障かな？と思ったら

本機共通

症状	対処のしかた
電源が突然切れた／いつの間にか消えていた	• スリープを設定していませんか？スリープ設定を解除してください。（☞35ページ） • バッテリーでの使用可能時間は、テレビチャンネル使用時で約40分、インターネットやメールチャンネル使用時で約60分です。（いずれも満充電時の時間です。） • バッテリーの寿命ではありませんか？バッテリーの寿命は、充電放電300回程度です。バッテリーを交換してください。
画面が突然暗くなった	• インターネット/メール/アルバムチャンネルのとき：省エネタイマーにより画面のバックライトが消えています。画面に触れるか、いずれかのボタンを押すなど何らかの操作をすると画面が明るくなります。省エネタイマーを解除することもできます。 • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。
画面が暗い	モニター左側面にある[☼（**明るさ調整）つまみ**]を回して明るさの調整をしてください。
画面内のボタンが反応しない	• 「インデックス」画面やメッセージダイアログが出ていませんか？「インデックス」画面やメッセージダイアログが出ているときは「インデックス」画面やメッセージダイアログ内のボタン以外は選べません。 • 薄く表示されているボタンは選べません。（例えば“メモリースティック”が入っていないと使えない機能は薄く表示されています。）
選んだものと違うボタンが反応する	画面で触れた位置と画面の位置がずれています。ペン位置補正をしてください。（☞154ページ）
何の操作も受けつけなくなってしまった	モニターの電源を切ってからバッテリーをはずし、再度つけ直してください。別売りのACパワーアダプターをご使用のときは電源コードを一度抜いてください。 それでも直らないときは、ベースステーションの電源コードも一度抜いてつなぎ直してください。
パスワードがエラーになってしまう	アルファベットの大文字、小文字は合っていますか？大文字、小文字は区別されます。
バッテリーがすぐになくなる	• バッテリーの故障または寿命かもしれません。 • バッテリーでの使用可能時間は、テレビチャンネル使用時で約40分、インターネットやメールチャンネル使用時で約60分です。（いずれも満充電時の時間です。）
モニターの[**切断ボタン**]を押しても反応しない	• LAN（アドレス指定）で接続しているときは、常時接続のため、[**切断ボタン**]は使えません。 • ブロードバンドルーターやダイヤルアップルーターをお使いの場合は、ルーターの切断ボタンを押して切断するか、ルーターの設定画面をインターネットチャンネルで表示し、画面上で切断してください。
ファンの音がうるさいい	本機のモニターとベースステーションには、内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンをそれぞれ内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。ベースステーションの冷却ファンはベースステーション内部の温度により、回転したり停止したりしますが故障ではありません。
圏外表示が出ている	• ベースステーションの電源は入っていますか？ • 近くで電子レンジを使っていませんか？ 電子レンジ使用中は本機のワイヤレス通信が電波の干渉を受けますが、使用をやめると干渉はなくなります。 • ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞157ページ）。 • 無線LANを近くで使用していませんか？ 無線LANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞157ページ）

文字入力

症状	対処のしかた
市販のキーボードを接続したのに入力ができない	• 一部のPS/2キーボード、PS/2以外の規格（USBやADB）のキーボードは使えません。 • 文字入力方法が予測変換になっていませんか？市販のキーボードを使用するには、設定画面で連文節変換に設定し直してください。 • キーボードのコネクターをしっかり差し込んでください。 • 画面上のキーボードを1度閉じてから再度表示させてください。
キーボードが切り換えられない	半角英数しか入力できない欄を入力するときにはキーボードの切り換えができません。
市販のキーボードのキーが使えない	本機では一部使用できないキーがあります。
市販のキーボードのタブ（Tab）キーが使えない	本機ではタブ（Tab）キーによる文字入力欄の移動はできません。
画面上にキーボードが表示されない	「画面内キーボードを使用しない」にチェックしてませんか？ キーボードの設定を確認してください。

テレビ／ビデオチャンネル共通

症状	対処のしかた
画像が映らない（真っ黒なまま）	• ベースステーションの電源が入っているか確認してください。 • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。
斑点や点模様が走る	• ワイヤレス通信が電波の干渉を受けています。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞157ページ）。 • 無線LANを近くで使用していませんか？ 無線LANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞157ページ）
色がつかない、おかしい	画質を調整してください。（☞32ページ）
画像は出るが音が出ない	• 音量が下がりきっていないか確認してください。 • 画面に「消音」の表示がでているときは［**消音ボタン**］か［**音量＋ボタン**］を選んで表示を解除してください。 • ヘッドホンがつながっていませんか？
画像が停止したまま動かない	• 画面メモが有効になっていませんか？［**メモ解除**］を選んでください。（☞34ページ） • ワイヤレス通信が途切れています。圏外表示の出ないところへ移動するか、ワイヤレスチャンネルを変更してください。（☞157ページ） • 無線LANを近くで使用していませんか？ 無線LANのアクセスポイントの設定を変更してください。（☞157ページ）
画像が乱れる	電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは、本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

次のページにつづく

テレビチャンネル

画像が出ない

症状	対処のしかた
テレビのチャンネルが1つも映らない	• アンテナケーブルをしっかりつないでください。（☞108ページ） • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • 自動CH設定で近隣の違う地域を選び直してみてください。（☞118ページ）
特定のチャンネルだけが映らない	チャンネル設定変更をして受信周波数を調整してください。（☞119ページ）
ケーブルテレビのチャンネルが正しく映らない	本機では、C13〜C35チャンネルにのみ対応しています。それ以外のチャンネルをご覧になりたいときは、ホームターミナルを本機のビデオ入力端子に接続してください。

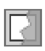
きれいに写らない

症状	対処のしかた
画像が二重三重になる	• アンテナケーブルをしっかりつないでください。（☞108ページ） • アンテナの位置、方向、角度を調節してください。
雪が降るような画面、薄い画面	アンテナがこわれていたり曲がったりしていないか確認してください。
縞状のノイズが多い/雑音が多い	• テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。（☞108ページ） • アンテナケーブルは他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
ブロック状に見えることがある	• 画像処理によるもので、故障ではありません。症状がひどいときは、ワイヤレスの通信が電波の干渉を受けている可能性があります。ワイヤレスチャンネルを変更するか、電波の干渉のない場所へ移動してください。（☞157ページ） • 無線LANを近くで使用していませんか？ 無線LANのアクセスポイントを変更してください。（☞157ページ）

ビデオチャンネル

症状	対処のしかた
つないだ機器の画像が出ない	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • 赤、白、黄色の配線を確認して、接続コードをしっかりつないでください。（☞39ページ） • つないだ機器のボタンを使って操作してみてください。（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。） • パソコン用モニターなどのノンインターレース信号は表示できません。
画面上のリモコンで操作できない	• AVマウスをベースステーションのAVマウス端子に正しくつないでください。（☞41ページ） • AVマウスがリモコン受光部に向けて正しく設置されているか確認してください。（☞41ページ） • リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは離して置いてください。 • 本機で、つないだ機器の設定をやり直してください。（画面上のリモコンで操作できない機種や一部機能が操作できない機種もあります。）（☞41ページ）

インターネットチャンネル

症状	対処のしかた
インターネットに接続できない	• イーサネットケーブルをしっかりつないでください。（☞109～111ページ） • アクセスポイントが混んでいるかもしれません。少し時間を置いてもう1度接続し直してください。 • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • 「現在の接続方法」は合っていますか？（☞135ページ） • ネットワークの設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。 • イーサーネットケーブルの種類（クロスケーブル、ストレートケーブル）は合っていますか？ • ルーターやADSLモデムの設定は正しいですか？ • 同時に1つの端末しかインターネットに接続できない契約でパソコンで先に接続しているときは接続できません。 **ADSLで接続している場合** • スプリッターのDSLポートとTEL (TELEPHONE) ポートを間違えていませんか？（☞109ページ） **ISDNで接続している場合** • ご家庭の電話が使用中など他で同じ電話回線を使用していないか確認してください。
接続していたのに突然切れた	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • ミーメールの設定によっては、ミーメール用“メモリースティック”の抜き差しで切断される場合があります。 **ルーターを使用している場合** • ルーターの自動回線切断機能が働いたのではありませんか？
ホームページを表示している画面で欠けているところがある	• ページによって画面が欠けてしまうことがあります。**［更新］**を選んで再読込をしてください。 • 画像ファイルのリンクが切れているホームページの場合は、画像が正しく表示されません。
文字が正しく表示されない	• **［更新］**を選んで再読込してください。 • **［戻る］**、**［進む］**などを選んで、いったん違う画面を表示した後、もう1度そのホームページへ戻ってみてください。それでも正しく表示されない場合は、電源をいったん切ってから入れ直してください。 • 本機で対応していない言語を表示している場合は、文字が正しく表示されません。
開けないリンクがある	• 本機ではフォーマットが対応していないファイル（音声、ムービーファイル、エクセル、PDF形式などのファイル）は表示できません（html、JPEG、GIF、PNGのみ対応）。また、プラグインに対応したホームページは表示できません。 • JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。
一部の画像が表示されない	• 画像を選んでから**［更新］**を選んで再読み込みしてください。 • で表示されるファイルは本機では表示できません。 • サイズが巨大な画像の場合は表示できないことがあります。 • 本機では、JPEG、GIF、PNG以外の画像ファイルを表示できません。 • 回線が混んでいて転送に時間がかかる場合があります。そのまま待つか、しばらくたってからやり直してください。

接続しているのにホームページが表示されない	• アクセスポイントが混んでいる場合があります。少し時間を置いてもう1度接続し直してください。ISDNで接続している場合は、1度切断してください。 • アドレスを確認してください。 • JavasScriptを使っているホームページを表示する場合、正しく表示されなかったり、何度も読み込みを繰り返したりすることがあります。「設定 インターネット」画面で「JavaScriptを有効にする」のチェックをはずして無効にすると正しく表示されることがあります。(通常は「JavaScriptを有効にする」にチェックをつけ、有効にしておいてください。)(☞136ページ) • JavaScriptで作られたホームページの一部は本機で表示できないことがあります。
マークしたいホームページがマークできない	• フレームに対応したホームページの中には、アドレスがそのページのものではないときがあります。（フレームに対応した表示をしないことがあります。） • ホームページの読込み中はマークできません。読込みが終了したことを確認してからマークしてください。
ボタンが反応しない	ホームページの読み込み中はボタンが反応しにくくなることがあります。ホームページの読み込みが完了してからボタンを選んでください。
ホームページに「入会／登録」とでてきたら	ホームページの中には会員制のものがあります。また会員制のホームページには無料と有料のものがあります。「入会／登録」はお客様ご自身でご判断ください。 尚、ホームページによっては本機では「入会／登録」ができないものがあります。
[ホーム] を選んでも何も表示されない	「ホーム」を設定していないときは、**[ホーム]** を選んでも何も表示されません。ホームページの場所（アドレス）を直接入力してください。(☞53ページ)
ホームページの中に?という表示が出る	本機ではShockwave等のプラグインには対応していません。プラグインを使用したホームページでは、画面の一部に?が表示されます。
「このホームページは読込みできませんでした。」というメッセージダイアログが表示される	次のいずれかの可能性があります。 • 本機で対応していない形式のファイルを使用したホームページである。 • ウェブサイトのサーバーに接続できなかった。 ウェブサイトのサーバーに接続できなかった場合は、時間をおいて再度接続してみてください。
リストを選んでも画面が反応しない ボタンを選んでもページが表示されない	本機で対応していないホームページですので、表示されません。
「SSLサーバーの認証エラーです。証明書の有効期限が切れています。」というメッセージダイアログが表示される	日時の設定をしてください。(☞128ページ)

メールチャンネル

症状	対処のしかた
メールの送受信ができない	• 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • メールの設定が間違っていませんか？プロバイダからの情報を確認してください。 • メールアドレス入力欄に入力できる文字数は、[To]、[Cc] それぞれ2000文字です。メールを送る相手先のアドレスが多数あるときは、メールを何回かに分けて送ってください。 • **[ミーメール]** でネットワークの設定を「本体の設定を使用する」にしてメールの送受信をする場合、プロバイダによってはできないことがあります。 • ネットワークの設定は正しいですか？ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

セキュリティのパスワードを忘れてしまった	いったんセキュリティパスワードを設定すると消去や変更にもそのパスワードの入力が必要です。エアボード カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
「画像の選択」画面で、あるはずの画像が表示されない	• 画像を保存してある場所は合っていますか？**[切換え]** を選んで、本機と“メモリースティック”を切り換えてください。 • 画像のファイルサイズが制限を越えている場合、「画像の選択」画面には表示されません。 • アルバムでの付いている画像はサイズオーバー（約4MB以上）のため添付できません。
受信メールの添付ファイルがで表示される	本機では表示できないファイルです。対応しているソフトウェアの入っているパソコンに転送すれば表示できます。
受信メールの文字が正しく表示されない	受信したメールに特殊な文字が使用されていると正しく表示できません。またHTML形式など特殊なメールも正しく表示することができません。差出人に確認してください。
メールの自動送受信ができない	• モニターがスタンバイ状態でないと行われません。スタンバイ状態にしてください。（☞29ページ） • ［ミーメール］用“メモリースティック”が挿入されているときは行われません。［ミーメール］用　“メモリースティック”を抜いてください。（☞23ページ） • 圏外表示が出ていませんか？圏外表示の出ないところへ移動してください。 • ベースステーションの電源が入っていないときは、自動送受信は行われません。ベースステーションの電源を入れてください。
メールに添付された画像にが表示される	• 本機で表示できないJPEG、GIF、BMP、PNG以外の画像ファイルです。 • 画像が壊れています。
見覚えのない英文メールが届いた	• 世の中に存在しないメールアドレスに誤って送ってしまった場合、そのようなメールが送られてきます。メールアドレスを確認してください。

アルバムチャンネル

症状	**対処のしかた**
画面にが表示される	• 本機で表示できないJPEG、GIF、BMP、PNG以外の画像ファイルです。JPEG、GIF、BMP、PNGの画像ファイルでも、ファイルサイズが大きい場合は表示できないことがあります。 • 画像が壊れています。
保存されているはずの画像が表示されない	• 画像を保存してある場所は合っていますか？**[切換え]** を選んで、本機と“メモリースティック”を切り換えてください。 • パソコンから“ メモリースティック ”に保存した画像のときは、正しいフォルダに保存したか確認してください。（☞80ページ）

• インターネットの接続についてのご質問は、ご利用の回線事業者やプロバイダにお問い合わせください。
• よくある質問についてのページ　http://www.airbonet.com/it_tv/faq

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合の悪いときはエアボード カスタマーサポートセンターへ

エアボード カスタマーサポートセンターにご相談ください。エアボード カスタマーサポートセンターについては、本取扱説明書裏面をご覧ください。
インターネットの接続については、ご利用の回線事業者またはプロバイダにお問い合わせください。

修理について

当社ではパーソナルITテレビの修理は引取修理を行っています。
その際、モニターとベースステーションを合わせて引き取らせていただきます。
当社指定業者がお客様宅にうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、本取扱説明書裏面の「ご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、テレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、エアボード カスタマーサポートセンターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意を頂いた上で回収させて頂きますので、ご協力ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名： IDT-LF1E
製造番号：本体底面または保証書に記載されています
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

五十音順

あ

@（アットマーク）（☞60ページ）
インターネットのメールアドレスを記述するとき、ドメイン名とユーザー名を区切るときに使います。

アドレス（☞53ページ）
インターネットのホームページのアドレス。URLとも言います。

アドレス帳（☞71、72ページ）
メールアドレスを登録しておくところ。

イーサネット（☞109ページ）
米国のゼロックス社が開発したローカルエリアネットワーク(LAN)のモデルの1つ。現在、ローカルエリアネットワークを構成するために広く普及しています。

インターネット（☞50ページ）
世界中のコンピューターが接続された通信網。メールや情報検索サービスなどが利用できます。

引用符（☞66ページ）
届いたメールの本文を返信の中に含めるときに行頭に付く記号。相手の質問に対する返事というように区別できます。

か

かな入力（☞84、86ページ）
キーボード上の「かな」で文字を入力する方法。

画面メモ（☞34、40ページ）
テレビチャンネルやビデオチャンネルの画面を静止する機能。テレビ番組のメールアドレスやホームページのアドレスを書き留めるときに便利です。

区点コード（☞96、176ページ）
日本工業規格（JIS）が一般に使用する文字に定めたコード番号。本機はJIS漢字コード第1水準と第2水準に対応しています。旧字体や難漢字は第2水準を使って表示できます。

圏外表示（☞18ページ）
ワイヤレス通信ができないため、本機が利用できない地域であることを示すマーク。「圏外」と表示されているときは、テレビが映らなかったり、メールの送受信ができません。

子画面（☞31ページ）
インターネットチャンネルやメールチャンネル、アルバムチャンネルなどを表示中に、同時に表示可能な小さなテレビまたはビデオ画面。

さ

自動CH設定（☞118ページ）
自動的にお住まいの地域のテレビのチャンネルを受信できるよう設定する機能。

受信箱（☞61、65ページ）
受信メールが保存されているところ。

省エネタイマー（☞150ページ）
数分間本機を使用しないときに、本機の消費電力を少なくする機能。あらかじめ設定した時間が過ぎるとモニターの画面が暗くなります。

常時接続（☞17ページ）
インターネットに常につながっている状態のことを常時接続といいます。料金定額のため、接続時間を気にすることなくインターネットを楽しめます。

初期化（☞155ページ）
「フォーマット」とも言います。“メモリースティック”を初期化すると、“メモリースティック”に保存してあるインターネットのホームページや整理箱などが消去されてしまうので注意が必要です。

署名（☞63ページ）
メールの本文の末尾にあって、名前や連絡先、メールアドレスなどを記述するメッセージ。署名はあってもなくても構いませんが、最低限の情報を入れることが一般的となっています。

スプリッター（☞109ページ）
電話線に混在している音声通話とADSLの情報を2つに分けるために使用します。音声通話よりもADSLが使用する周波数帯の方が高いため、ADSLの情報を分離できるようになっています。

スリープ（☞28、35、38ページ）
モニターの電源を、あらかじめ設定した時間で自動的に切る機能。テレビやビデオを見ながらおやすみになりたいときに便利です。

整理箱（☞70ページ）
送受信メールを保存しておくところ。“メモリースティック”を挿入しているときにのみ表示されます。整理箱を使ってメッセージ内容や送信人にあわせて分けられます。

セキュリティ（☞143ページ）
本機のメールチャンネルに保存している受信メールや送信メールを他の人に読まれないようにするための機能。

接続ID（☞132ページ）
インターネットに接続するときに使用します。パスワードと組み合わせて、利用者本人であることを確認します。

全角（☞84ページ）
漢字、ひらがな、カタカナの文字の種類。

次のページにつづく

送信箱（☞61、63ページ）
すでに送ったメールや途中保存したメール、送信待ちのメールが保存されているところ。

た

題名（☞61、62ページ）
メールの内容を示すためにつけるタイトル。受信したメールに返信するときは、冒頭に「RE:」（Reply＝返事、の略）が追加され、受信したメールに対する返事であることが分かります。受信したメールを他の人に転送するときは、冒頭に「FW:」（Forward＝転送、の略）が追加され、届いたメールを転送していることが分かります。

ダイヤルアップルーター（ISDNルーター）（☞110ページ）
ISDNでインターネットに接続する場合、ターミナルアダプターという機器を使うのが一般的ですが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ダイヤルアップルーターという機器を使います。

ダウンロード（☞50ページ）
サーバーから送られてくるホームページなどの情報を本機に取り込むことです。ダウンロードすることで、最新のホームページを表示できます。

チャンネル（☞20、28、38、51、61、78、157ページ）
本機で利用できる機能のことをチャンネルと言います。本機では、テレビチャンネル、ビデオチャンネル、インターネットチャンネル、メールチャンネル、アルバムチャンネルの5つのチャンネルが利用できます。
また、ワイヤレス通信に使用する無線周波数帯のことをワイヤレスチャンネルと言います。

転送（☞69ページ）
届いたメールを別の人に送ること。題名に転送であることを示す「FW:」が追加されます。

添付（☞61、74、79ページ）
メールのメッセージと一緒にファイルを送ること。本機ではメールに画像を添付することができます。

は

パスワード（☞133、139ページ）
プロバイダと契約したり、メールを送受信するときに入力する暗証番号。

半角（☞84ページ）
全角文字を、横方向に半分の大きさにした文字の種類。本機では、「小文字キーボード」や「大文字キーボード」で入力するアルファベットや数字は半角となります。
メールやホームページのアドレスは半角で入力する必要があります。

反転（☞97、98、99ページ）
文字列をなぞること。画面からタッチペンを離さないまま、反転したい文字列の最初から最後までをなぞります。黒い帯の上に文字列が白く表示されます。

フレッツISDN（☞129ページ）
東西NTT地域会社が提供するISDN回線による常時接続サービス（IP接続サービス）の名称。月々の定額料金を支払うとインターネットを無制限に利用できます。

プロキシ（☞136ページ）
ファイアウォール（外部からの不正侵入防御壁）内にいるコンピューターが外部へアクセスできるようにしたり、インターネットのホームページなどを高速に表示したりできるプログラムまたはサーバー。

ブロードバンド（☞17ページ）
広域の周波数帯域を使用して、大容量の映像・音声データを高速で送受信できる回線の総称。現在、ブロードバンドと言われるものには、ADSL、CATV、FTTHなどがあります。

ブロードバンドルーター（☞110, 111ページ）
ADSLやケーブルテレビでインターネットに接続する場合、ADSLモデムやケーブルモデムという機器を使いますが、複数の端末からインターネットに接続するときは、ブロードバンドルーターという機器を使います。

プロバイダ（☞50、60、130、132ページ）
「インターネットサービスプロバイダ（ISP）」とも言います。
インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者。

文節（☞101、102ページ）
意味をこわさない程度に文を短く区切ったもの。

返信（☞66ページ）
届いたメールに返事を書くこと。題名に返信であることを示す「RE:」が、文面の行頭には「>」（引用符）が追加されます。

ホームページ（☞50、52、55ページ）
組織や個人が一般に情報を公開しているインターネットのページ。このページにリンクが張られている場合、リンクを選ぶと、あらかじめ指定された別のページを表示することができます。

ホームページアドレス（☞53ページ）
ホームページの場所。

ま

ミーメール（☞76、140ページ）
“メモリースティック”にメールユーザー追加の設定（ネットワークとメールの設定）をすることにより、本機に“メモリースティック”を挿入するだけで、記録された設定に基づいてインターネットやメールができます。

マーク（☞51、55、56ページ）
インターネットでお気に入りのホームページや頻繁に見るホームページの登録。1度登録すると、ホームページを見たいときにアドレスを毎回入力する必要がなくなり便利です。

メール（☞60、62、65ページ）
「Eメール」や「電子メール」とも言います。
インターネットなどのネットワークを使ってメッセージをやりとりするシステム。実際の郵便と比べて、相手にメッセージが届くまでの時間がかからず、手軽に読んだり書いたりできます。再編集や保存が簡単です。

メールアドレス
（☞60、66、68、69、71、138ページ）
「Eメールアドレス」や「電子メールアドレス」とも言います。
メールを送る相手先の宛名。通常の郵便になぞらえて、「アドレス」と言っていますが、国名や番地は書きません。メールアドレスは、世界に1つだけのものなので、使う人がどこにいようとメールは配信され、読めます。

"メモリースティック"（☞23、76、140、155、156ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクよりも容量が大きいIC記録メディア。本機では"メモリースティック"を使って［ミーメール］を作成したり、届いたメールに添付された画像をコピーできます。

や

予測候補（☞85、86、87、89、90ページ）
予測入力機能で入力した文字に対して予測される単語や語句。キーボード画面上部に表示されます。

予測入力（POBox）機能（☞85ページ）
入力した頭文字から単語全体を予測したり、入力した単語から文脈を予測する入力機能。学習機能があり、使えば使うほど、入力の手間が省けて便利に入力できます。

ら

リンク（☞50ページ）
表示しているホームページに関連のあるページのアドレスが埋め込まれているところ。

ルーター（☞110, 111ページ）
ネットワーク間を中継する装置のことで、相互のネットワークのプロトコルやアドレスの変換を行います。
最近では、ISDN回線に接続するためのダイヤルアップルーターや、ADSLやCATVに接続するためのブロードバンドルーターもあります。単に「ルーター」と言ったとき、これらの機器を指すこともあります。

ローマ字入力（☞84、89ページ）
キーボード上に表示されているアルファベットの組み合わせでひらがなを入力する方法。

アルファベット順

A

ADSL（☞16、109ページ）
Asymmetric Digital Subscriber Line（非対称ディジタル加入者回線）の略。
ブロードバンド回線の1つ。従来の銅線のアナログ電話回線を使用しますが、音声信号とは別の高周波帯域を利用するため、大容量のデータ伝送が可能です。上り方向（ユーザーの端末から送信する方向）の通信速度は16〜640 kbpsと遅いのですが、下り方向（電話局からユーザーの端末へ流す方向）は1.5〜7 Mbpsと高速のため、「非対称」の名前がついています。インターネットやダウンロードには有効です。

AV**マウス**（☞39、41、107ページ）
ビデオなどを操作するために、本機から出される信号をビデオに送る機器。

C

Cc（☞63ページ）
Carbon copyの略。メールの受取人を表す言葉。メッセージの主たる宛先を「To」に表示するのに対して、「Cc」に表示する受取人は、そのメッセージに対して「2次的」な意味あいがあります。

Cookie（☞52ページ）
ホームページ運営者がホームページを閲覧している端末を識別するための情報。オンラインショッピングなどのように利用者を識別する場合によく使われます。

D

DHCP（☞130ページ）
Dynamic Host Configuration Protocol（動的ホスト構成プロトコル）の略。
インターネットの接続に必要な設定値を端末に自動的に割り当てるための仕組み。

DNS（☞131、133ページ）
「プライマリDNS」、「ドメインネームサーバー」、「DNSサーバー」などとも言います。
ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーでIPアドレスで特定されています。

次のページにつづく

I

IPアドレス（☞130ページ）
TCP/IP（伝送制御プロトコル/インターネットプロトコル）ネットワークで使用される識別情報。
通常は、3桁の数字4組を点で区切ったものです（192.168.239.1など）。

ISDN（☞16、110ページ）
Integrated Services Digital Network（総合サービスデジタルネットワーク）の略。
通信速度64 kbps（128 kbps）のデジタル電話回線。現在、インターネット接続に広く利用されています。

J

JavaScript（☞136ページ）
ホームページを作成するための言語の中の1つ。本機の設定で「JavaScriptを有効にする」をチェックするとJavaScript対応のホームページを見ることができます。ただし、本機で対応していないJavaScriptが使われているホームページの場合は、表示できない、読み込みが終了しないなどの症状が起きることがあります。そのときは、チェックをはずしてJavaScriptを無効にすると、表示できる場合があります。

L

LAN（☞130、132ページ）
Local Area Network (ローカルエリアネットワーク)の略。
オフィスや学校、ビルの中などの限定された地域に置かれたコンピューターやプリンター、ファクシミリなどを相互接続して通信できるように構成されたネットワークの総称。

M

MACアドレス
Media Access Control の略。LAN回線などの配線の上につながっている機器を識別するために各機器ごとに割り当てられている番号です。ケーブルテレビ会社によってはMACアドレスの届け出が必要な場合があります。本機のMACアドレスは「LAN回線（アドレス指定）」の設定画面に表示されています。

P

POP3（☞139ページ）
Post Office Protocol Version 3の略。「ポップスリー」と読みます。メールを受け取るときに必要なプロトコル。

POBox（☞85ページ）
Predictive Operation Based On Exampleの略。本機のキーボードの予測入力機能のこと。

PPPoE（☞132ページ）
Point-to-Point Protocol over Ethernetの略。「ピーピーピーオーイー」と読みます。ADSLを使ってインターネットに接続するときに使います。

S

SMTP（☞139ページ）
Simple Mail Transfer Protocolの略。「エスエムティーピー」と読みます。メールを送るときに必要なプロトコル。

SSL
Secure Socket Layerの略。
インターネット上で情報を安全にやり取りするための規格。クレジットカードなどの情報をやり取りするようなホームページでよく使用されます。
SSLには、ホームページ作成者の身元を確認する機能と安全に情報をやりとりするために、情報を暗号化する機能があります。本機ではSSLの情報を確認できます。

T

To（☞63、68、73ページ）
メールの主たる受取人を表す言葉。

U

URL（☞53ページ）
Uniform Resource Locatorの略。「ユーアールエル」と読みます。インターネット上の情報（ホームページ）のアドレス。インターネットチャンネルでアドレスを入力すると、特定のホームページを表示できます。ただし、1文字でも間違えると、閲覧したいホームページは表示されません。

主な仕様

システム

受信方式	NTSC方式
受信チャンネル	VHF 1～12チャンネル UHF 13～62チャンネル CATV C13～C35チャンネル
選局方式	PLLシンセサイザー方式
画面寸法	10.4型、21.12 × 15.84 cm、 26.42 cm（幅 × 高さ、対角）
表示方式	透過型TN液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ） アクティブマトリックス駆動方式
有効画素率	99.99 %
有効画素数	水平　800 ドット 垂直　600 ライン
使用スピーカー	4 × 2.8 cm　楕円 × 2
音声出力	実用最大 1W × 2（JEITA）、8 Ω

Webブラウザ

HTML	HTML 3.2（HTML 4.0の一部）、 フレーム対応、JavaScript、SSL （V2/3）
イメージファイル	GIF、JPEG、PNG
漢字コード	JIS、シフトJIS、EUC

電子メール

送信プロトコル	SMTP
受信プロトコル	POP3

入出力端子

ベースステーション

VHF/UHF端子	VHF/UHF 75 Ω型コネクター
ビデオ入力端子	映像：ピンジャック、1 Vp-p、75Ω、 不平衡、同期負 音声：ピンジャック、1チャンネル、 500 mVrms、インピーダンス 47 kΩ
DC IN端子	DC（13.5 V）
ETHER端子	10BASE-Tコネクター
AVマウス出力	ミニジャック

モニター

DC IN端子	DC（13.5 V）
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック 負荷インピーダンス 16 Ω以上
キーボード端子	PS/2

ACパワーアダプター（ベースステーション部）

電源	AC100 V、50/60 Hz
定格出力	DC OUT:DC13.5 V、3.3 A
動作温度	0 °C～35 °C
保存温度	−10 °C～+60 °C
最大外形寸法	約110 × 28 × 45 mm（幅 × 高さ × 奥行き、最大突起部含まず）
質量	210 g

バッテリー

公称電圧	DC7.4 V
容量	1800 mAh
種類	リチウムイオン蓄電池
最大外形寸法	約58.1 × 23.3 × 139.7 mm （幅 × 高さ × 奥行き）
動作温度	0 °C～35 °C
保存温度	−20 °C～+45 °C

電源部・その他

消費電力	ベースステーション： 約16 W（テレビ視聴時） 約0.7 W （電源オフ、ACアダプター装着時） モニター： 約24 W（テレビ視聴時） 約10 W（電源オフ、バッテリー充電時）
動作温度	0 °C～35 °C
保存温度	−10 °C～+45 °C
最大外形寸法	ベースステーション： 23.9 × 12.0 × 14.8（cm） （幅 × 高さ × 奥行き） モニター： 32.0 × 20.4 × 3.9（cm） （幅 × 高さ × 奥行き）（突起部含まず）
質量	ベースステーション：約1.0 kg モニター：約1.5 kg （バッテリー装着時）
通信距離	屋内約30 m（ただし周辺環境の条件によって変わります）
準拠規格	IEEE802.11 b
使用周波数帯	2.4 GHz
変調方式	DS-SS
電源	ACパワーアダプター使用時： 100 V、50/60 Hz バッテリー使用時：1800 mAh
バッテリー使用可能時間	通常使用時：約60分 テレビ視聴時：約40分
付属品	ベースステーション用 ACパワーアダプター（1） 電源コード（1） バッテリー（1） タッチペン（1） アンテナ分配器（1） AVマウス（1） クリーニングクロス（1） 取扱説明書（1）／保証書（1） 「ご使用上のご注意」シール

別売りアクセサリー

小型IC記録メディア“メモリースティック”
ヘッドホン
映像・音声コード
プラグアダプター PC-230M
AVマウス延長ケーブル RK-G131（3 m）
L型バッテリー BP-LF2
モニター用ACパワーアダプター AC-LF1M
AVマウス VM-50
アンテナ接続ケーブル EAC-315など
パーソナルITテレビ用防滴バック FJK-LF1

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

使用上のご注意

落とさないでください

本機に強いショックを与えないでください。故障の原因となることがあります。また、液晶パネルのガラスが割れることがあります。

取り扱いについて

- 本機を雨または湿気にさらさないでください。モニターボタンの隙間から内部に水が入り込み、故障の原因となります。
- 本機の電源が入っているときに停電があった場合は、電源を入れ直してください。
- 必ず、付属のACパワーアダプターを使用して電源（AC100V）につないでください。
- 本機を開けたり分解しないでください。
- （財）テレコムエンジニアリングセンターより技術基準適合証明を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。
- （財）電気通信端末機器審査協会より技術的条件適合認定を受けておりますので、容易に開けられない構造になっております。

> 通信不良によるお客様の損害につきまして、当社は一切その責任を負いかねます。
> 通信内容が漏れたことに対しても、当社は一切その責任を負いかねます。

置き場所について

次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温になる場所：炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所：変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所：海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- 本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。（防滴パック未使用時）
- できるだけ床から離し、本機どうしの間に障害物の少ない場所を選んで設置してください。
- 安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下してけがの原因になります。
- 誤って足で踏んだり、上から物を落としたりすることがないような場所に設置してください。
- ゴムやプラスチック製品など、熱に弱いものの上に置いて使用しないでください。本機の熱により、変形、変色の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで使うと、映像の乱れや雑音の原因となることがあります。このような場合は、テレビやラジオから離れた場所でお使いください。
- お子さまの手の届かない場所に設置してください。はずれたつまみを飲み込むなど、思わぬ事故の原因になり、危険です。
- 本機を病院内に設置して使用しないでください。ME機器の誤動作の原因となることがあります。
- 電子レンジを本機と同時にご使用になりますと、通信に影響を与えることがあります。
- 本機と同じ無線周波数を使用する他の無線機器を同時に使用すると、転送速度の低下や伝送エラーが発生することがあります。
- 電子レンジ使用中は、本機のワイヤレス通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機をご使用ください。電子レンジを使用していないときは本機が電子レンジの干渉を受けることはありません。

動画表示について

テレビやビデオを見ているとき、表示の一部がブロック状に見えることがありますが、画像処理によるもので、故障ではありません。

テレビの画質について

お住まいの地域によっては、テレビ受信チャンネルと本機のワイヤレスチャンネルの組み合わせにより、本機のテレビまたはご家庭のテレビ画面に、雪が降ったようなちらつき（画ノイズ）が出ることがあります。

対処のしかた

- 雪が降ったような画ノイズが本機のテレビ画像に出る場合
  本機のワイヤレス通信の設定で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
  (☞157ページ)
- 本機を使用すると、雪が降ったような画ノイズがご家庭のテレビ画面に出る場合
  本機のワイヤレス通信の設定で「自動選択」のチェックをはずしてから、画ノイズの出ないワイヤレスチャンネルに変更してください。
  （☞157ページ）
  それでも直らないときは、本機のモニターとベースステーションをご家庭のテレビおよびアンテナ接続ケーブルから離してご使用ください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

データのバックアップについて

修理時に本機のメモリーが壊れて、保存されていたメールのデータ、画像データ、設定データなどが再現不可能になることがあります。
修理に出される前に、本機に登録した設定内容などは、紙に控えてください。また、本機に保存した画像データは“メモリースティック”に控えとしてコピーしてください。
弊社の修理によりデータが万一消去、あるいは変更されたとしても、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面に傷をつけないようにしてください。
  液晶画面に触れるときは、付属のタッチペンを使用してください。
- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、液晶画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に液晶画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

“メモリースティック”についてのご注意

“メモリースティック”の挿入口に金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用していますが、この蛍光管には寿命があります。液晶画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはエアボード カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99 %以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

冷却ファンの音について

本機のモニターとベースステーションには、内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンをそれぞれ内蔵しています。冷却ファンが回転すると回転音が鳴ります。ベースステーションの冷却ファンはベースステーション内部の温度により、回転したり停止したりしますが故障ではありません。

結露について

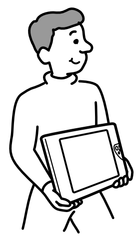
寒いときに暖房をつけた直後など、本機の内部の部品に露（水滴）がつき、正しく動作しないことがあります。バッテリーを取りはずしてから電源プラグを電源コンセントから抜いて、約2、3時間放置してください。正常に動作するようになります。

お手入れ

- お手入れをする前に、必ずベースステーションの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶画面の汚れをふきとるときは、付属のクリーニングクロスで軽くふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 液体状の洗剤などは使用しないでください。本機の内部に入って、故障の原因となることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブルなどをすべてはずしてください。
  落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、ベースステーションとモニターは別々に運んでください。それぞれ図のように左右側面の下を持ち支えるようにしてください。


モニターを運ぶとき


ベースステーションを運ぶとき

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。
  廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

ローマ字対照表

50音

あ	い	う	え	お
a	i	u	e	o
か	き	く	け	こ
k→a	k→i	k→u	k→e	k→o
さ	し	す	せ	そ
s→a	s→i (s→h→i)	s→u	s→e	s→o
た	ち	つ	て	と
t→a	t→i (c→h→i)	t→u	t→e	t→o
な	に	ぬ	ね	の
n→a	n→i	n→u	n→e	n→o
は	ひ	ふ	へ	ほ
h→a	h→i	h→u (f→u)	h→e	h→o
ま	み	む	め	も
m→a	m→i	m→u	m→e	m→o
や		ゆ	いぇ	よ
y→a		y→u	y→e	y→o
ら	り	る	れ	ろ
r→a	r→i	r→u	r→e	r→o
わ	うぃ		うぇ	を
w→a	w→i		w→e	w→o
ん				
n→n				

濁点／半濁点付き50音

が	ぎ	ぐ	げ	ご
g→a	g→i	g→u	g→e	g→o
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
z→a	z→i (j→i)	z→u	z→e	z→o
だ	ぢ	づ	で	ど
d→a	d→i (z→i)	d→u	d→e	d→o
ば	び	ぶ	べ	ぼ
b→a	b→i	b→u	b→e	b→o
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
p→a	p→i	p→u	p→e	p→o

小文字

ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
l→a (x→a)	l→i (x→i)	l→u (x→u)	l→e (x→e)	l→o (x→o)
ゃ		ゅ		ょ
l→y→a (x→y→a)		l→y→u (x→y→u)		l→y→o (x→y→o)

50音＋小文字の組み合わせ

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
k→y→a	k→y→i	k→y→u	k→y→e	k→y→o
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
s→h→a		s→h→u	s→h→e	s→h→o
(s→y→a)	(s→y→i)	(s→y→u)	(s→y→e)	(s→y→o)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
c→h→a		c→h→u	c→h→e	c→h→o
(c→y→a)	(c→y→i)	(c→y→u)	(c→y→e)	(c→y→o)
(t→y→a)	(t→y→i)	(t→y→u)	(t→y→e)	(t→y→o)
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
n→y→a	n→y→i	n→y→u	n→y→e	n→y→o
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
h→y→a	h→y→i	h→y→u	h→y→e	h→y→o
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
m→y→a	m→y→i	m→y→u	m→y→e	m→y→o
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
r→y→a	r→y→i	r→y→u	r→y→e	r→y→o
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
g→y→a	g→y→i	g→y→u	g→y→e	g→y→o
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
j→a	j→y→i	j→u	j→e	j→o
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
d→y→a	d→y→i	d→y→u	d→y→e	d→y→o
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
b→y→a	b→y→i	b→y→u	b→y→e	b→y→o
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
p→y→a	p→y→i	p→y→u	p→y→e	p→y→o

くぁ				
k→w→a				
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
t→s→a	t→s→i		t→s→e	t→s→o
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
f→a	f→i		f→e	f→o
ふゃ		ふゅ		ふょ
f→y→a		f→y→u		f→y→o
ぐぁ				
g→w→a				
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
t→h→a	t→h→i	t→h→u	t→h→e	t→h→o
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
d→h→a	d→h→i	d→h→u	d→h→e	d→h→o

小さい「つ」を入力するには

例：きっと→kitto
　　がっき→gakki

子音（例の場合、「t」や「k」）を2つ続けて入力すると小さい「つ」が入力されます。

区点コード表

区点コードの見かた

文字の左の数と上の数を加算した値が、その文字の区点コード番号になります。例えば「⑫」の区点コード番号は、「1300＋12」ですので「1312」となります。

本機のコード入力は、シフトJISコード第1水準漢字／非漢字および第2水準漢字に対応しています。

記号

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0100			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
0120	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
0140	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
0160	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
0180	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓						
0220							∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩						
0240			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃											
0260	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯					
1330			ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	˝	セント	パーセント	ミリバール	ページ	㎜	㎝
1350	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡			•			■	■	■	㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
1370	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼		≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿
1390	∵	∩	∪																	

数字

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0310							0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1300		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
1320	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ									

アルファベット

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0330				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z							a	b	c	d	e
0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
0390	z																			

ひらがな

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
0460	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
0480	ゐ	ゑ	を	ん																

カタカナ

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

ギリシア文字

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ										
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω													

ロシア文字

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
0740										а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я																		

罫線

区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
0800		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
0820	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							

次のページにつづく

第1水準漢字

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	1640	鞍	杏																		
イ	1640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭					
	1700		院	陰	隠	韻	吋														
ウ	1700							右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲							
エ	1720														荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩													
オ	1780								於	汚	甥	凹	央	奥	往	応					
	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音												
カ	1820									下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改					
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱					
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願					
キ	2060																企	伎	危	喜	器
	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄					
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
キ	2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京					
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀											
ク	2260										九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈					
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	2320	郡																			
ケ	2320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲					
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限					
コ	2420																乎	個	古	呼	固
	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向					
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込					
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
サ	2600																				些
	2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	2660	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			

次のページにつづく

第1水準漢字（つづき）

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
シ	2720																		仕	仔	伺
	2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時					
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周					
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	2920	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償					
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾					
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
ス	3140																			笥	諏
	3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾					
	3200		澄	摺	寸																
セ	3200					世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線					
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	3320	全	禅	繕	膳	糎															
ソ	3320						噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
タ	3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎					
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜										
	3420											他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只					
	3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	3540	暖	檀	段	男	談															
チ	3540						値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵					
	3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
ツ	3620																		津	墜	椎
	3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴														
テ	3660							亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓					
	3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
ト	3720																			兎	吐
	3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到					
	3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
	3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	3860	頓	呑	曇	鈍																

次のページにつづく

第1水準漢字（つづき）

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
ナ	3860					奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	3880	軟	難	汝																	
ニ	3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入					
	3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認												
ヌ	3900									濡											
ネ	3900										禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	3920	粘																			
ノ	3920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤					
ハ	3920																巴	把	播	覇	杷
	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦					
	4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ヒ	4040																				匪
	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美					
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶								
フ	4140													不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服					
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	4220	粉	糞	紛	雰	文	聞														
ヘ	4220							丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	4260	鞭																			
ホ	4260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋					
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	4360	本	翻	凡	盆																

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
マ	4360					摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満					
	4400		漫	蔓																	
ミ	4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
ム	4400																				務
	4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘											
メ	4420										冥	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	4440	免	棉	綿	緬	面	麺														
モ	4440							摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	4460	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁							
ヤ	4460														也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓									
ユ	4480												愉	愈	油	癒					
	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕											
ヨ	4520										予	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀											
ラ	4560										羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧												
リ	4580									利	吏	履	李	梨	理	璃					
	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
ル	4660	瑠	塁	涙	累	類															
レ	4660						令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯					
	4700		蓮	連	錬																
ロ	4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論							
ワ	4720														倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕								

その他

第2水準漢字

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
一	4800		弌	丐	丕																
丨	4800					个	丱														
丶	4800							丶	丼												
丿	4800									丿	乂	乖	乘								
乙	4800													亂							
亅	4800														亅	豫	亊	舒			
二	4800																		弍	于	亞
	4820	亟																			
亠	4820		亠	亢	亰	亳	亶														
人	4820							从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
	4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
	4860	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲					
	4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	4920	儡	儺	儷	儼	儻															
儿	4920						儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸								
入	4920													兩	兪						
八	4920															兮	冀				
冂	4920																	冂	囘	册	冉
	4940	冏	冑	冓	冕																
冖	4940					冖	冤	冦	冢	冩	冪										
冫	4940											冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
几	4960	几	處	凩	凭	凰															
凵	4960						凵	凾													
刀	4960								刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨					
	5000		辧																		
力	5000			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸			
勹	5000																		勹	匆	匈
	5020	甸	匍	匐	匏																
匕	5020					匕															
匚	5020						匚	匣	匯	匱	匳										
匸	5020											匸	區								
十	5020													卆	卅	丗	卉	卍	凖		
卜	5020																			卞	

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
卩	5020																				卩
	5040	卮	夘	卻	卷																
厂	5040					厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰									
厶	5040												厶	參	簒						
又	5040															雙	叟	曼	燮		
口	5040																			叮	叨
	5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨					
	5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
	5120	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	5160	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓												
囗	5180									囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉					
	5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜											
土	5200										圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
	5220	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
	5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	5260	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟													
士	5260								壯	壺	壹	壻	壼	壽							
夂	5260														夂						
夊	5260															夊	夐				
夕	5260																	夛	梦	夥	
大	5260																				夬
	5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩					
女	5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
	5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀									
子	5340												孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
	5360	學	斈	孺																	
宀	5360				宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	5380	寳																			
寸	5380		尅	將	專	對															
小	5380						尓	尠													
尢	5380								尢	尨											
尸	5380										尸	尹	屁	屆	屎	屓					
	5400		屐	屏	孱	屬															

次のページにつづく

第2水準漢字（つづき）

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
屮	5400						屮														
山	5400							乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	5420	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
	5460	巓	巒	巖																	
巛	5460				巛																
工	5460					巫															
己	5460						已	巵													
巾	5460								帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	5480	幟	幢	幤	幇																
干	5480					幵	并														
幺	5480							幺	麼												
广	5480									广	庠	廁	廂	廈	廐	廏					
	5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰						
廴	5500															廴	廸				
廾	5500																	廾	弃	弉	彝
	5520	彜																			
弋	5520		弋	弑																	
弓	5520				弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯								
彑	5520													彑	彖	彗	彙				
彡	5520																	彡	彭		
彳	5520																			彳	彷
	5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼						
心	5540															忖	忻	忤	忸	忱	忝
	5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚					
	5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	5620	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
	5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
	5660	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀											
戈	5680										戈	戉	戍	戌	戔	戛					
	5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳												
戸	5700									扁											

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
手	5700										扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
	5720	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	5740	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼					
	5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
	5820	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫											
攴	5820										攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
	5840	敞	敝	敲	數	斂	斃	變													
斗	5840								斛	斟											
斤	5840										斫	斷									
方	5840												旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	
无	5840																				无
	5860	旡																			
日	5860		旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
	5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼					
	5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩											
曰	5900										曰	曵	曷								
月	5900													朏	朖	朞	朦	朧	霸		
木	5900																			朮	朿
	5920	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
	5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
	5960	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍					
	6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
	6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
	6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
	6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣					
	6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
	6120	欖	鬱	欟																	
欠	6120				欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡			
止	6120																		歸		
歹	6120																			歹	歿
	6140	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱							
殳	6140														殳	殷	殼	毆			
毋	6140																		毋	毓	

次のページにつづく

第2水準漢字（つづき）

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
毛	6140																				毟
	6160	毬	毫	毳	毯	麾	氈														
氏	6160							氓													
气	6160								气	氛	氤	氣									
水	6160												汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾					
	6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
	6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
	6240	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
	6260	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
	6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					
	6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
	6320	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
	6340	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣							
火	6340														炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
	6360	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼					
	6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨													
爪	6400								爭	爬	爰	爲									
爻	6400												爻	爼							
爿	6400														爿	牀	牆				
片	6400																	牋	牘		
牛	6400																			牴	牾
	6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧													
犬	6420								犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
	6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
	6460	獺																			
玉	6460		珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
瓜	6500		瓠	瓣																	
瓦	6500				瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	
甘	6500																				甞
生	6520	甦																			
用	6520		甬																		
田	6520			甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
	6540	疊	疉	疂																	

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
疒	6540				疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
	6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰					
	6600		癲																		
癶	6600			癶	癸	發															
白	6600						皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚						
皮	6600															皰	皴	皸	皹	皺	
皿	6600																				盂
	6620	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯											
目	6620										盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
	6640	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
	6660	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚														
矛	6660							矜													
矢	6660								矣	矮											
石	6660										矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
	6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬					
	6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫									
示	6700												祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
	6720	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳													
禸	6720								禹	禺											
禾	6720										秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
	6740	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰						
穴	6740															穹	穽	窈	窗	窕	窘
	6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊									
立	6760												竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	6780	竦	竭	竰																	
竹	6780				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐					
	6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
	6820	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
	6840	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
	6860	籘	籟	籤	籖	籥	籬														
米	6860							籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
	6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶							

次のページにつづく

第2水準漢字（つづき）

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
糸	6880														紆	紂					
	6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
	6920	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
	6940	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
	6960	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜							
缶	6980														缸	缺					
	7000		罅	罌	罍	罎	罐														
网	7000							网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
	7020	羇																			
羊	7020		羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱						
羽	7020															翅	翆	翊	翕	翔	翡
	7040	翦	翩	翳	翹	飜															
老	7040						耆	耄	耋												
耒	7040									耒	耘	耙	耜	耡	耨						
耳	7040															耿	耻	聊	聆	聒	聘
	7060	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽										
聿	7060											聿	肄	肆	肅						
肉	7060															肛	肓	肚	肭	冐	肬
	7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋					
	7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
	7120	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
	7140	臠																			
臣	7140		臧																		
至	7140			臺	臻																
臼	7140					臾	舁	舂	舅												
臼	7140									與	舊										
舌	7140											舍	舐	舗							
舟	7140														舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
	7160	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮											
艮	7160										艱										
色	7160											艷									

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
艸	7160												艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙					
	7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
	7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
	7240	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
	7260	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
	7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
	7320	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
虍	7340	虍	乕	虔	號	虧															
虫	7340						虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
	7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
	7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
	7420	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
血	7440	衄	衂																		
行	7440			衒	衙	衞	衢														
衣	7440							衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
	7460	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞					
	7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷												
襾	7500									襾	覃	覈	覊								
見	7500													覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
	7520	覺	覽	覿	觀																
角	7520					觚	觜	觝	觧	觴	觸										
言	7520											訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
	7540	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	7560	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫					
	7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚						
谷	7600															谺	豁	谿			
豆	7600																		豈	豌	豎
	7620	豐																			
豕	7620		豕	豢	豬																
豸	7620					豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘					

次のページにつづく

第2水準漢字（つづき）

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
貝	7620																戝	貭	貪	貽	貲
	7640	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
	7660	賍	贔	贖																	
赤	7660				赧	赭															
走	7660						赱	赳	趁	趙											
足	7660										跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊					
	7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
	7720	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡													
身	7720								躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈						
車	7720															軋	軛	軣	軼	軻	軫
	7740	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
	7760	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤													
辛	7760								辜	辟	辣	辭	辯								
	7760													辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
辶	7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸					
	7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
	7820	邊	邉	邏																	
邑	7820				邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰				
酉	7820																	酊	酖	酘	酣
	7840	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁				
釆	7840																	釉	釋		
里	7840																			釐	
金	7840																				釖
	7860	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
	7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
	7920	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
	7940	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿			
門	7940																		閂	閇	閊
	7960	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	7980	關	闡	闥	闢																
阜	7980					阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞					
	8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴				
隶	8000																	隶	隸		
隹	8000																			隹	雎
	8020	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕													

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
雨	8020								雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
	8040	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉												
靑	8040									靜											
非	8040										靠										
面	8040											靤	靦	靨							
革	8040														勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
	8060	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈						
韋	8060															韋	韜				
韭	8060																	韭	齏	韲	
音	8060																				竟
	8080	韶	韵																		
頁	8080			頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰					
	8100		顱	顴	顳																
風	8100					颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆									
	8100												飩	飫	餃	餉	餒				
食	8100																	餔	餘	餡	餝
	8120	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕				
首	8120																	馗	馘		
香	8120																			馥	
馬	8120																				馭
	8140	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
	8160	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	8160																	骭	骰	骼	髀
	8180	髏	髑	髓	體																
高	8180					髞															
髟	8180						髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷					
	8200		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣												
鬥	8200									鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮						
鬯	8200															鬯					
鬲	8200																鬲				
鬼	8200																	魄	魃	魏	魍
	8220	魎	魑	魘																	
魚	8220				魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
	8240	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
	8260	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸						

その他

次のページにつづく

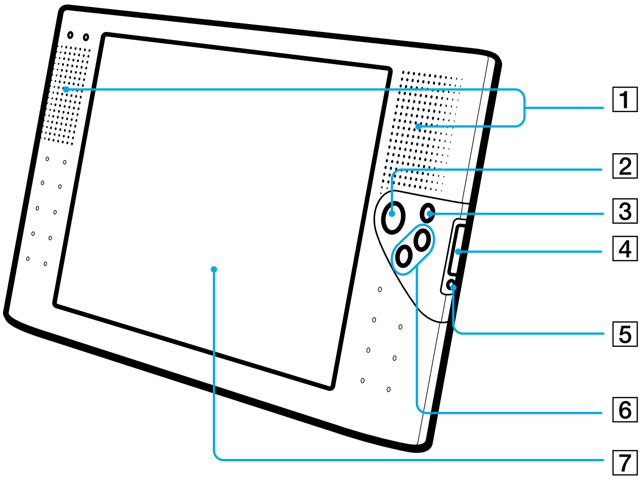
第2水準漢字（つづき）

部首	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
鳥	8260															梟	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
	8280	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
	8300		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
	8320	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞					
鹵	8320																鹵	鹹	鹽		
鹿	8320																			麁	麈
	8340	麋	麌	麒	麕	麑	麝														
麥	8340							麥	麩	麸	麪	麭									
麻	8340												靡								
黄	8340													黌							
黍	8340														黎	黏	黐				
黒	8340																	黔	黜	點	黝
	8360	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷													
黹	8360								黹	黻	黼										
黽	8360											黽	鼇	鼈							
鼓	8360														皷	鼕					
鼠	8360																鼡	鼬			
鼻	8360																		鼾		
齊	8360																			齊	
齒	8360																				齒
	8380	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶								
龍	8380													龕							
龜	8380														龜						
龠	8380															龠					
	8400		堯	槇	遙	瑤	凜	熙													

各部の名前

本体

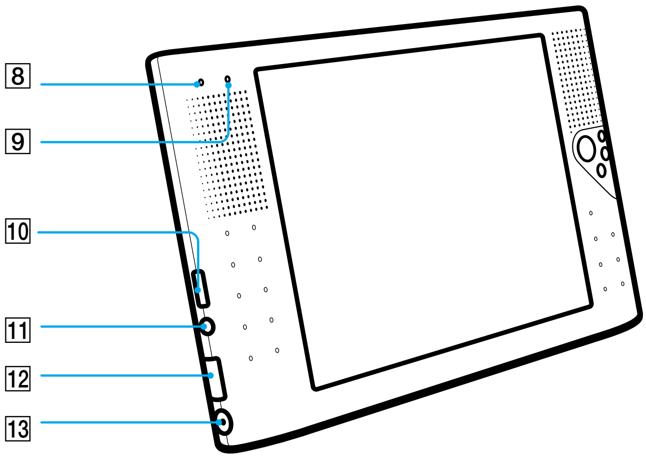
モニター右側



1 スピーカー
2 インデックスボタン（☞20ページ）
「インデックス」画面を表示します。
3 ジャンプボタン（☞29ページ）
1つ前のチャンネルを表示します。
4 メモリースティックスロット
（☞23ページ）
“メモリースティック”を挿入します。
5 “メモリースティック”用ランプ
（☞23ページ）
6 チャンネル＋/－ボタン
（☞20、29ページ）
チャンネルを切り換えます。
7 液晶画面（☞9、11、173ページ）

モニター左側

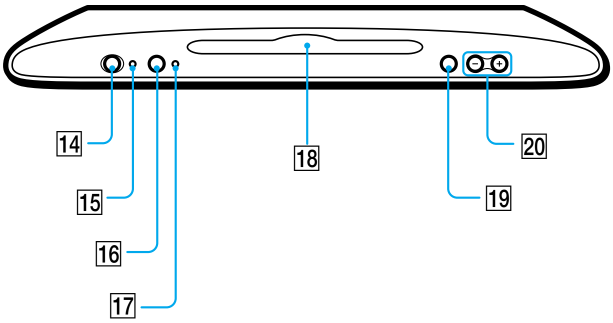
8 メール自動送受信ランプ（☞148ページ）
9 充電ランプ（☞19ページ）
10 ☼（明るさ調整）つまみ（☞32ページ）
画面のバックライトの明るさを調整します。
11 🎧（ヘッドホン端子）
市販のヘッドホンをつなぎます。
12 キーボード端子（PS/2端子）
（☞103ページ）
市販のキーボードをつなぎます。
13 DC IN端子
ACパワーアダプター（別売り）をつなぎます。



その他

次のページにつづく

モニター上部



14 電源ボタン（☞20、29、113ページ）
モニターの電源の入/切を行います。

15 スタンバイランプ
（☞20、29、113ページ）

16 切断ボタン
（☞51ページ）

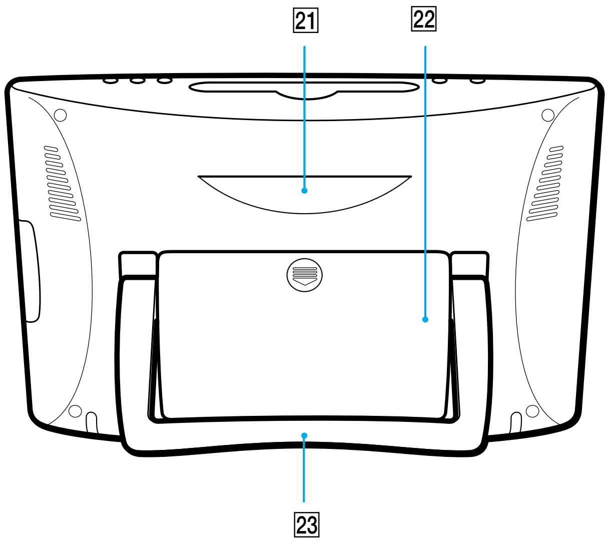
17 回線ランプ（☞51ページ）

18 タッチペン収納部
付属のタッチペンを収めます。

19 消音ボタン（☞29ページ）
音を消します。

20 音量＋/－ボタン（☞29ページ）
音量を調節します。

モニター背面



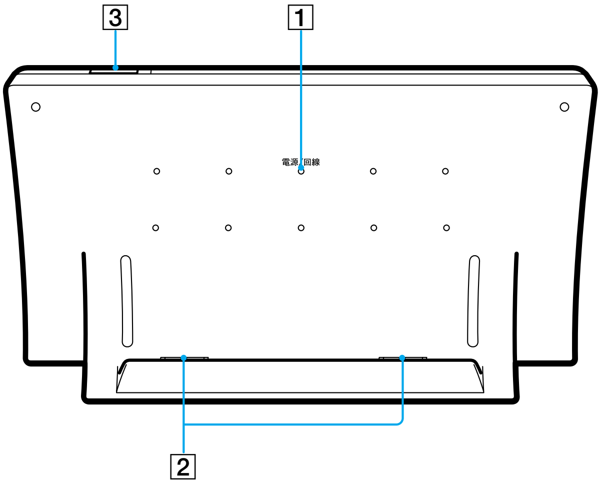
21 手がけ部（☞18ページ）
モニターをベースステーションから取りはずしたり、置くときに持ちます。

22 バッテリー収納部（☞112ページ）
バッテリー収納部のふたを取りはずして、バッテリーを取り付けます。

23 モニタースタンド（☞7、18ページ）
モニターを立てるときに使います。

ベースステーション

ベースステーション正面

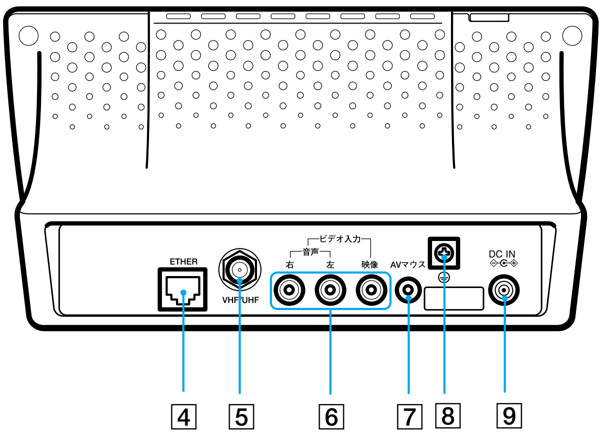


1 電源/回線ランプ（☞29、113ページ）

2 モニター接続端子（☞18ページ）
モニターを置きます。

3 電源スイッチ（☞29、113ページ）
ベースステーションの電源の入/切を行います。

ベースステーション背面



4 ETHER（イーサネット）端子
（☞109、110、111ページ）
イーサネットケーブルをつなぎます。

5 VHF/UHF端子（☞108ページ）
アンテナ接続ケーブルまたは分配器をつなぎます。

6 ビデオ入力（音声・映像）端子
（☞39ページ）
音声・映像コードをつなぎます。

7 AVマウス端子（☞39、41ページ）
付属のAVマウスをつなぎます。

8 アース端子

9 DC IN端子（☞112ページ）
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

索引

五十音順

あ

か

さ

次のページにつづく

アルファベット順

ネットワークとメールの設定メモ

ネットワーク–– LAN回線（アドレス設定）

設定項目	設定値	例
1 □ 自動設定		☑（チェックする）
2 ホストIPアドレス		43.45.67.101
3 サブネットマスク		255.255.255.0
4 デフォルトゲートウェイ		43.45.67.1
5 DNS1		43.45.6.78
6 DNS2		43.45.8.78
MACアドレス		00-00-7B-39-F4-61（機種ごとに番号が異なります）

ネットワーク–– LAN回線（PPPoE）

設定項目	設定値	例
1 サービス名		エアボードネット
2 接続ID		sony_taro
3 パスワード		abZ42txc
4 DNS1		133.130.1.1
5 DNS2		133.130.1.2

メール

設定項目	設定値	例
1 名前		曽似　太郎
2 メールアドレス		sony_taro@airbonet.com
3 メールアカウント		sony_taro
4 パスワード（プロバイダからのパスワード）		abZ42txc
5 POPサーバー（POP3）		mta.airbonet.com
6 SMTPサーバー		mta.airbonet.com

ケーブルモデムやADSLモデムの設定、インターネットへの接続、メールボックスの容量など、ネットワークへの接続についてのお問い合わせは、ご利用の回線事業者またはプロバイダへお問い合わせください。

ご案内

パーソナルITテレビIDT-LF1Eをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この度ソニーでは、お買い上げいただいたパーソナルITテレビのご相談窓口「エアボード カスタマーサポートセンター」を開設いたしましたので、ご案内させていただきます。

エアボード カスタマーサポートセンター

●ナビダイヤル 0570-05-0005
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
●携帯電話・PHSでのご利用は 0191-32-2951
受付時間：月～金　午前9時～午後6時　（ただし、年末、年始、祝日を除く）
●メールアドレス .... support@airbonet.com

万一不具合が生じた時には
製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合や、エアボードに関するご不明な点のお問い合わせ先は、上記の「エアボード カスタマーサポートセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客さまのお宅まで指定宅配便で取りにお伺いしますので、先ずお電話をください。

ソニー株式会社　〒141-0001　**東京都品川区北品川6-7-35**

エアボードのホームページのご案内
エアボードに関するさまざまな情報がご覧になれます。
● http://www.sony.co.jp/sd/airboard

http://www.sony.co.jp/
この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan